

e-お菓子ねっと

E D I 標準フォーマット

本資料は、2019年5月にリリース予定の「**軽減税率対応**」版になります。

①現行フォーマットは、以下のバージョンのフォーマット集を参照下さい。

・E D I 標準フォーマット : Ver 1.8

②今後、軽減税率制度の情報公開により、フォーマットの一部を見直す可能性があります。

第2.0版

2018/xx/xx

e-お菓子ねっと

全国菓子卸商業組合連合会

全日本菓子協会

更新履歴

版数	更新年月日	更新概要	ページ	
1.0	2015/10/19	新システム化に伴い全面刷新		
1.1	2016/11/11	V2フォーマット見直し(カナ項目新設)対応 V1・02発注、19返品通知、22出荷報告 V1・11入庫予定、12受領 V1・33請求、34支払 V1・42販売報告 V2・03発注、13入庫予定、14受領、 V2・18返品通知、23出荷報告 V2・35請求明細、36支払明細 V2・43販売報告	の一次店名カナ、二次店名カナ、届け先名カナ、摘要欄、商品名 の届け先名カナ、摘要欄、商品名 の請求(支払)先、請求(支払)元、届け先名カナ の一次店名カナ、二次店名カナ、届け先名カナ のV2からのコンバート方法(日本語区分判定により編集元を切替)を変更 のV2からのコンバート方法(日本語区分判定により編集元を切替)を変更 のV2からのコンバート方法(日本語区分判定により編集元を切替)を変更 のV2からのコンバート方法(日本語区分判定により編集元を切替)を変更 に一次店カナ名、二次店カナ名、届け先カナ名、摘要カナ、商品名カナ に請求先(元)カナ名、一次店カナ名、二次店カナ名、届け先カナ名、摘要カナ、商品名カナ に一次店カナ名、二次店カナ名、届け先カナ名、商品名カナ を追加、項目追加に伴い予備欄の桁数を変更 を追加、項目追加に伴い予備欄の桁数を変更 を追加、項目追加に伴い予備欄の桁数を変更	3,4,9,10,11,12 5,6,7,8 13,15 17 31,32,34,36,38,40, 42,43,45,47 48,49,50,53,54,56 58,59
1.2	2016/11/11	請求・支払のV1・V2相互連携対応 V1・33請求、34支払 V2・35請求明細、36支払明細	V1→V2連携時のチェック仕様追記、V1←V2連携時のコンバート仕様追記 V2←V1連携時のコンバート仕様追記、V2・明細型→V1連携不可のチェック仕様追加	13,14,15,16 48,49,50,51,53,54,55,56
1.3	2016/11/11	V2→V1連携時の次店コードチェック仕様見直し対応 V1・11入庫予定、12受領 V1・22出荷報告、42販売報告 V2・13入庫予定、14受領 V2・23出荷報告、43販売報告	の届け先コードのV2からのコンバート方法(GLN時は下8桁、その他は上8桁編集)を変更 の二次店コード、届け先コードのV2からのコンバート方法(GLN時は下8桁、その他は上8桁編集)を変更 の届け先コードのチェック仕様見直し(統一取引先コードのみ可 → 全て可) の二次店コード、届け先コードのチェック仕様見直し(統一取引先コードのみ可 → 全て可)	5,7 11,17 34,38 45,58
1.4	2016/11/25	請求・支払のV1・V2相互連携対応 V1・34支払 V2・35請求明細、36支払明細	振込IDのV2フォーマット対応項目を追記 請求金額合計、支払金額合計、請求金額、支払金額の変更欄に「1.2」を追記(項目桁数変更のため)	16 49,50,54,55
1.5	2017/04/20	請求・支払のV1・V2相互連携対応 V2・35請求明細、36支払明細 V2フォーマット見直し対応 V2・43販売報告	集計明細区分=集計の場合のチェック仕様を変更(明細時:必須+コード、集計時:属性) トレーラレコードの伝票枚数の設定要領を変更 トレーラレコードの伝票枚数→明細件数変更の変更履歴記載漏れ追記	42,46 43,47 59
1.6	2017/10/12	V2・出荷報告	卸発注伝票NOの項目説明を修正	36
1.7	2018/05/08	トレーラレコードのレコード件数に関する記述修正 V1・出荷報告	トレーラレコードの「レコード件数」項目の修正、注記追加 賞味期限製造年月日の項目説明の誤りを修正(YMMDD)→(YYMMDD)	4,6,8,10,12,14,16,18 32,36,40,43,47,52,57,59 6
1.8	2018/07/19	入庫予定・賞味期限製造年月日のコンバート仕様の変更 V1・入庫予定 V2・入庫予定	賞味期限製造年月日のV2コンバート元を卸最新在庫日付から実入庫製品日付に変更 卸最新在庫日付、実入庫製品日付のV1からのコンバート要領を変更	6 35
1.9	2018/09/14	軽減税率対応 目次、V1・33請求、V1・34支払 V1・レコード構成 V1・51販促金案内・支払 当資料に追加 V1・52販促金請求 当資料に追加 V1・22出荷報告 V2・23出荷報告 V2・36支払明細 V2・35請求明細、36支払明細	V1・33請求、V1・34支払の利用停止期限を追記 V1・51販促金案内・支払、V1・52販促金請求のレコード構成追記 明細レコードに 請求消費税率、支払消費税率 を追加、項目追加に伴い予備欄の桁数を変更 トレーラレコードに 登録番号と下記項目の税率別内訳繰返(繰返=3回) を追加、 項目追加に伴い 符号(請求金額合計)～支払消費税額合計の項目説明を変更、予備桁数を変更 請求消費税率、符号(請求金額)、請求金額、符号(請求消費税額)、請求消費税額、 支払消費税率、符号(支払金額)、支払金額、符号(支払消費税額)、支払消費税額 明細レコードに 請求消費税率、支払消費税率 を追加、項目追加に伴い予備欄の桁数を変更 トレーラレコードに 登録番号と下記項目の税率別内訳繰返(繰返=3回) を追加、 項目追加に伴い 符号、請求金額合計の項目説明を変更、予備桁数を変更 請求消費税率、符号(請求金額)、請求金額、符号(請求消費税額)、請求消費税額 明細レコードに 税率区分1、税率区分2 を追加、項目追加に伴い予備桁数を変更 ヘッダー/明細レコードの 消費税率のV1からのコンバート要領を変更 コントロールレコードに 支払確認期限区分、支払確認期限日付、支払確認期限日数 を追加、項目追加に伴い予備桁数を変更 ヘッダー/明細レコードの 卸最新在庫日付区分、卸最新在庫日付を資産譲渡日付区分、資産譲渡日付 に変更 トレーラレコードに 登録番号と下記項目の税率別内訳繰返(繰返=3回) を追加、 項目追加に伴い 今回請求金額符号～請求金額合計、今回支払金額符号～支払金額合計の項目説明を変更、予備桁数を変更 消費税率、今回請求金額符号、今回請求金額、請求基本控除符号、請求基本控除、請求品種控除符号、請求品種控除、請求機能控除符号、 請求機能控除、請求控除その他符号、請求控除その他、請求消費税符号、請求消費税、税込請求金額符号、税込請求金額、 今回支払金額符号、今回支払金額、支払基本控除符号、支払基本控除、支払品種控除符号、支払品種控除、支払機能控除符号、 支払機能控除、支払控除その他符号、支払控除その他、支払消費税符号、支払消費税、税込支払金額符号、税込支払金額、予備 V1からのコンバート要領に、V1フォーマットの利用停止期限を追記 配信分割機能停止に伴い下記項目のコンバート仕様のセンター設定・集計記述 を削除 レコード件数、伝票枚数、請求金額合計符号、請求金額合計、支払金額合計符号、支払金額合計 「+:整数」⇒「+:正数」、「4捨5入」⇒「四捨五入」の誤記訂正	13,15 2 19~,21 22 23~,25 26 12 45 53 50,55 52,57 48,53 51,56

(次頁に続く)

(前頁の続き)

版数	更新年月日	更新概要	ページ		
2.0	2018/11/29	軽減税率対応見直し V1・22出荷報告 V1・51販促金案内・支払 V2・23出荷報告 V2・35請求明細、36支払明細 V2→V1コンバート要領の改善 V1・02発注 V1・11在庫予定 V1・12受領 V1・19返品通知 V1・22出荷報告 V1・42販売報告 全般	明細レコードの コントロールレコードに ヘッダー/明細レコードの ヘッダー/明細レコードの トレーラレコードの ヘッダーレコードの ヘッダーレコードの ヘッダーレコードの ヘッダーレコードの ヘッダーレコードの ヘッダーレコードの ヘッダー/明細レコードの明細行NOの項目説明 伝票内明細数→明細行NO	税率区分1、税率区分2 の必須欄に「○」を追記 支払確認期限区分/日付/日数 の3項目を追加、項目追加に伴い予備桁数を変更 消費税区分、消費税率 の必須欄に「○」を追記 消費税区分、消費税率 の必須欄に「○」を追記 税率別内訳 のV1からのコンバート仕様見直し「属性初期値」→「ALL SPACE」 一次店コード,二次店コード,届け先コード のV2からのコンバート要領改善 (属性初期値、8桁未満対応) 届け先コード のV2からのコンバート要領改善 (属性初期値、8桁未満対応) 届け先コード のV2からのコンバート要領改善 (属性初期値、8桁未満対応) 一次店コード,二次店コード,届け先コード のV2からのコンバート要領改善 (属性初期値、8桁未満対応) 一次店コード,二次店コード,届け先コード のV2からのコンバート要領改善 (属性初期値、8桁未満対応) 一次店コード,二次店コード,届け先コード のV2からのコンバート要領改善 (属性初期値、8桁未満対応) 32,35,39,43,46,50,55,59	12 19 45 49,54 52,57 3 5 7 9 11 17 32,35,39,43,46,50,55,59

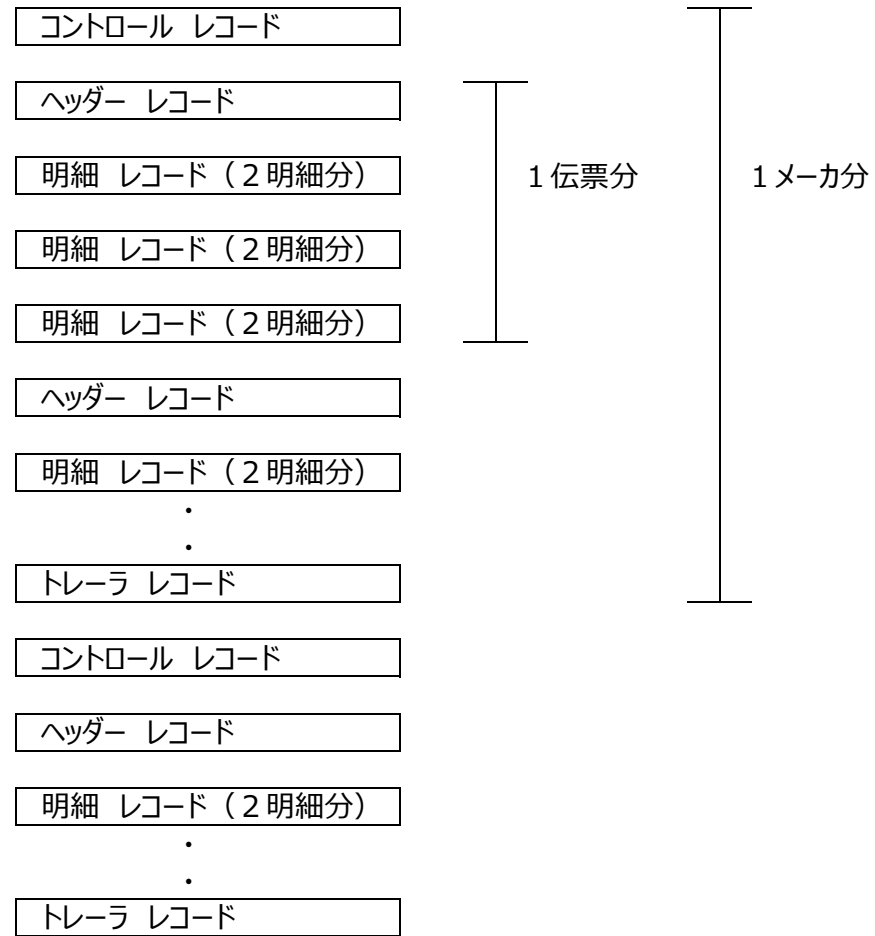
目次

1.	V1・EDI標準フォーマット		
1.1	V1・レコード構成	1	
1.2	V1・レコードフォーマット		
(1)	02発注データ	3	
(2)	11在庫予定データ	5	
(3)	12受領データ	7	
(4)	19返品通知データ	9	
(5)	22出荷報告(直送)データ	11	
(6)	33請求データ	13	※ 2019年10月1日の軽減税率制度実施後は、利用停止となります。
(7)	34支払データ	15	※ 2019年10月1日の軽減税率制度実施後は、利用停止となります。
(8)	42販売報告(店出し)データ	17	
(9)	51販促金案内・支払	19	
(10)	52販促金請求	23	
(11)	64取引先コード照会	27	
(12)	67取引先コード照会結果	28	
2.	V2・EDI標準フォーマット		
2.1	V2・レコード構成	29	
2.2	V2・レコードフォーマット		
(1)	03発注データ	30	
(2)	13在庫予定データ	33	
(3)	14受領データ	37	
(4)	18返品通知データ	41	
(5)	23出荷報告データ	44	
(6)	35請求明細データ	48	
(7)	36支払明細データ	53	
(8)	43販売報告データ	58	

1. V1・EDI標準フォーマット

1.1 V1・レコード構成

(1) 02発注/11入庫予定/12受領/ (256バイト/レコード)
19返品通知/22出荷報告



※ 伝票の並び：任意
※ 明細レコードがショートブロック（レコード中1明細）の場合、オールスペースを設定する

(2) 33請求/34支払 (256バイト/レコード)



※ 伝票の並び：任意
※ 明細レコードがショートブロック（レコード中1明細）の場合、オールスペースを設定する

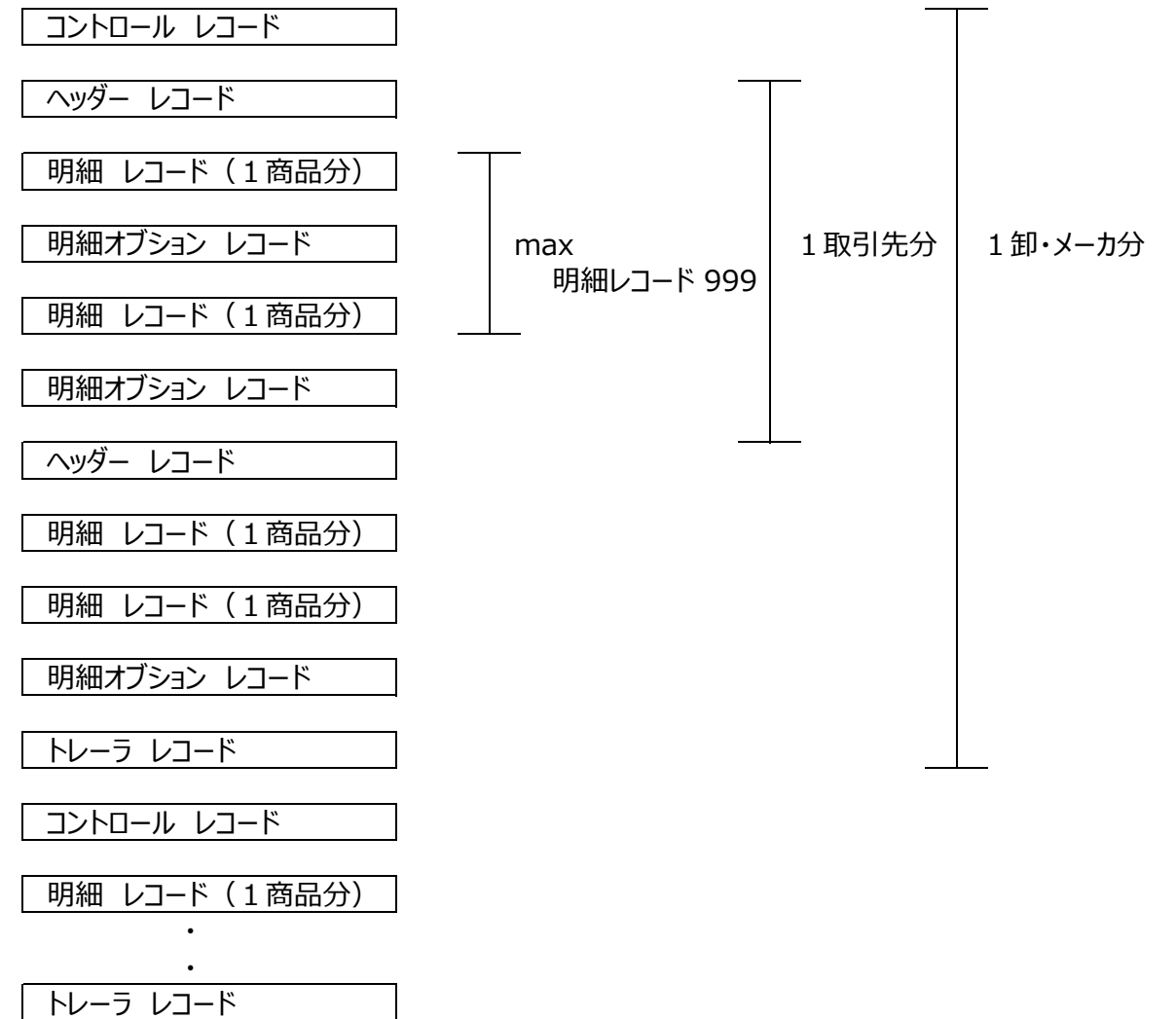
(3) 4 2 販売報告

(2 5 6バイト/レコード)



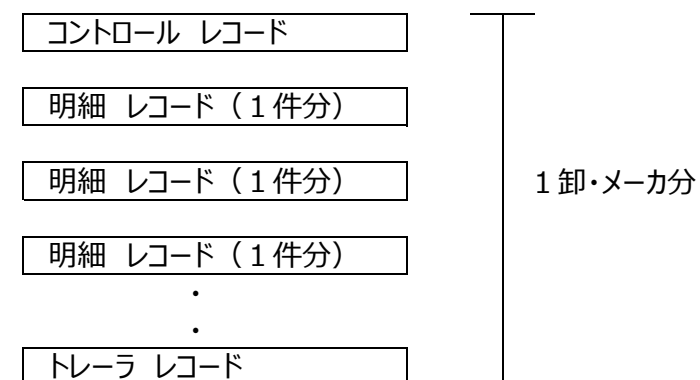
- ※ 伝票の並び : 任意
- ※ 明細レコードがショートブロック (レコード中 5 商品未満) の場合、オールスペースを設定する

(4) 5 1 販促金案内・支払 / 5 2 販促金請求 (2 5 6バイト/レコード)



- ※ 送信先毎に、先頭にコントロール・レコード 1 件、最後にトレーラー・レコード 1 件を作成する
- ※ ヘッダー・レコード (取引先情報) の後には、最低 1 件の明細レコードを作成する
- ※ 1 つのヘッダー・レコード (取引先情報) の後には、最大 9 9 9 件の明細レコードを作成する可能性がある
- ※ 明細オプション・レコードの作成は任意であるが、必ず、明細レコードの後に 1 件のみ作成する

(5) 6 4 取引先コード照会 / 6 7 取引先コード照会結果 (2 5 6バイト/レコード)



1. 2 V1・レコードフォーマット

(1) V1.02 発注

① コントロールレコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック	V1 → V2 センタチェック	V1 ← V1 コンバート	V1 ← V2 コンバート	V2フォーマット				
														項番	項目	開始	属性	整数
	1	データ種別	1	9	2		◎	02:受発注データ	02	コード	コード	○	"02"固定					
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(メーカー)の統一取引先コード		センター登録	センター登録		○	2	送信先コード	3	9	8
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(卸)の統一取引先コード		センター登録	センター登録		○	3	送信元コード	11	9	8
	4	レコード区分	19	9	1		◎	1:コントロールレコード	1	コード	コード		○	4	レコード区分	19	9	1
	5	データ作成日	20	9	8		○	本データを作成した日付 (西暦 YYYYMMDD)			必須+日付	○	○	5	データ作成日	20	9	8
	6	送信先名	28	X	20		○	送信先(メーカー)のカナ名称				○	○	7	送信先名	34	X	20
	7	送信元名	48	X	20		○	送信元(卸)のカナ名称			必須	○	○	8	送信元名	54	X	20
	8	直接送信先コード	68	9	8			送信先と異なる場所へ送信する場合にセット。セット不要の場合"00000000"		センター登録	センター登録	○	○	9	直接送信先コード	74	9	8
	9	直接送信先カナ名	76	X	20			送信先と異なる場所へ送信する場合にセット。セット不要の場合スペース				○	○	10	直接送信先名	82	X	20
	10	予備	96	X	161			新フォーマット連携エリア間のデータ連携				○	○	13	連携エリア	1181	X	20

② ヘッダーレコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック	V1 → V2 センタチェック	V1 ← V1 コンバート	V1 ← V2 コンバート	V2フォーマット				
														項番	項目	開始	属性	整数
	1	データ種別	1	9	2		◎	02:受発注データ	02	共通部チェック	共通部チェック	○	"02"固定					
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(メーカー)の統一取引先コード		(コントロール同値、軽症1-)	(コントロール同値、軽症1-)		○	2	送信先コード	3	9	8
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(卸)の統一取引先コード					○	3	送信元コード	11	9	8
	4	レコード区分	19	9	1		◎	2:ヘッダーレコード	2				"2"固定					
	5	卸伝票NO	20	9	6		○	発注NO			必須+属性(入)	○	下6桁	6	卸発注伝票NO	21	9	8
	6	店入直送区分	26	9	1		○	店(倉)入れまたは直送等の区分	1:店入 2:直送		必須+コード	○	"1"."3" → "1" その他 → "2"	7	店入直送区分	29	9	1
	7	取引コード	27	9	2		○	業界統一取引コード	11:店入売上 41:直送返品 12:店入売上訂正 42:直送返品訂正 21:店入返品 51:割戻し金 22:店入返品訂正 52:相殺 31:直送売上 32:直送売上訂正		必須+コード	○	○	8	取引コード	30	9	2
	8	納品日	29	9	8		○	卸売業が指定した納品日(着荷日) (西暦 YYYYMMDD)			必須+日付	○	○	9	納品日/引取日	32	9	8
	9	納入時間	37	9	4			卸売業が指定した納品時間(時分) (HHMM)				○	○	10	納入時間(自)	40	9	4
	10	明細行数	41	9	2		○	伝票内明細数			属性(入)	○	○	13	明細行数	56	9	2
2.0	11	一次店コード	43	9	8		○	該当する統一取引先コード			必須	○	8桁以上:上8桁	14	一次店コード	58	X	13
2.0	12	二次店コード	51	9	8		○	該当する統一取引先コード				○	8桁未満:前ゼロ+有効桁	15	二次店コード	71	X	13
2.0	13	届け先コード	59	9	8		○	該当する統一取引先コード (一次店、二次店と重複しても必ずセットする)				○		17	届け先コード	97	X	13
	14	専用伝票日付	67	9	8			納品伝票が専用伝票の場合にセット (西暦 YYYYMMDD、セット不要の場合はゼロ)			日付	○	○	19	専用伝票日付	123	9	8
	15	専用伝票NO	75	9	9			納品伝票が専用伝票の場合にセット (セット不要の場合はゼロ)			属性(入)	○	○	20	専用伝票NO	131	9	9
	16	伝票合計金額符号	84	X	1		○	伝票の合計金額の符号	+ :正数 - :負数			"△" → "+"	"△" → "+"	21	伝票合計金額符号	140	X	1
	17	伝票合計金額	85	9	8		○	伝票の合計金額 (卸店入価格)		属性(入)	属性(入)	○	○	22	伝票合計金額	141	9	8
	18	二次店納入合計符号	93	X	1			正味納入金額の符号	+ :正数 - :負数			"△" → "+"	"△" → "+"	23	二次店納入合計金額符号	149	X	1
	19	二次店納入合計金額	94	9	8			正味納入金額		属性(入)	属性(入)	○	○	24	二次店納入合計金額	150	9	8
1.1	20	一次店カナ名	102	X	30		○	一次店名				○	日本語区分(一次店)が 漢字 : 一次店カナ名 その他 : 一次店名	25	一次店名	158	X/N	40
	56	一次店カナ名												56	一次店カナ名	631	X	30
1.1	21	二次店カナ名	132	X	30			二次店名				○	日本語区分(二次店)が 漢字 : 二次店カナ名 その他 : 二次店名	26	二次店名	198	X/N	40
	57	二次店カナ名												57	二次店カナ名	661	X	30
1.1	22	届け先カナ名	162	X	30		○	届け先名				○	日本語区分(届け先)が 漢字 : 届け先カナ名 その他 : 届け先名	28	届け先名	278	X/N	40
	58	届け先カナ名												58	届け先カナ名	691	X	30
	23	メーカー所属組織名	192	X	10			スペース				○	○	33	メーカー所属組織名	462	X	10
	24	伝票区分	202	9	1		○	伝票発行の区分 0:菓子統一伝票 1:チェーンストア統一伝票 (OCR、タイプ用で伝票Noが印刷されていないもの) 2:専用伝票 (専用伝票(チェーンストア統一伝票手書用を含む)で専用伝票No.をレコード中に表示できるもの) 3:専用伝票だが、レコード中に元伝票Noを表示できないもの 4:チェーンストア統一伝票 (ターンアラウンド用) 8:伝票レス			コード(新)	○	○	34	伝票区分	472	9	1
	25	定番特売区分	203	X	1		○	定番発注/特売発注の区分	0:定番 1:特売			○	"0"."1"以外 → "0"	35	定番特売区分	473	X	1
1.1	26	摘要欄	204	X	30			伝票の摘要欄の内容				○	日本語区分(摘要)が 漢字 : 摘要カナ その他 : 摘要	43	摘要	569	X/N	50
	59	摘要カナ												59	摘要カナ	721	X	30
	27	メーカーコード	234	X	9		○	国コード2桁を含むメーカーコード (7桁の場合左詰め後ろスペース)				○	○	32	メーカーコード	453	X	9
	28	予備	243	X	14			新フォーマット連携エリア間のデータ連携(卸伝票NO8桁化対応)				○	ヘッダー連携エリア上10桁 + 卸発注伝票NO上2桁	61	ヘッダー連携エリア 卸発注伝票NO	781	X	20
														6		21	9	8

③ 明細レコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック	V1 → V2 センタチェック	V1 ← V1 コンバート	V1 ← V2 コンバート	V2フォーマット					
														項番	項目	開始	属性	整数	小数
	1	データ種別	1	9	2		◎	02：受発注データ	02	共通部チェック	共通部チェック	○	"02"固定						
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(メーカー)の統一取引先コード		(コントロール同値、軽症エラー)	(コントロール同値、軽症エラー)	○	○	2	送信先コード	3	9	8	
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(卸)の統一取引先コード				○	○	3	送信元コード	11	9	8	
	4	レコード区分	19	9	1		◎	4：明細レコード	4				"4"固定						
	明細部繰返(117バイト×2明細) ※明細レコードがショートブロック(レコード中1明細)の場合、ALL SPACEを設定する。																		
	5	行NO	20	9	2		○	明細行NO	01~06		属性(入)	○	○	62	明細行NO	801	9	2	
	6	専用伝票行NO	22	9	2			専用伝票の行NO			属性(入)	○	○	63	専用伝票行NO	803	9	2	
	7	商品コード識別区分	24	X	1		○	品番(商品コード)の識別区分	0:統一商品コード 1:ITFコード(14桁) 2:ITFコード(拡張16桁) 3:JANコード(標準:13桁) 4:JANコード(短縮:8桁) 6:GTINコード(14桁)		必須+コード(新) "2"は連携不可	○	○	64	商品コード識別区分	805	9	1	
	8	品番	25	X	16		○	統一商品コード、ITFコード、JANコードまたはGTINコード(左詰め)				○	○	65	品番	806	X	16	
1.1	9	商品名	41	X	25		○	商品名				○	日本語区分(商品名)が漢字：商品名カナ その他：商品名	66	商品名	822	X/N	40	
												○	○	92	商品名カナ	1011	X	25	
	10	包装区分	66	9	1		○	数量の発注単位の区分 (1:ケース発注時) (2:ボール発注時) (3:バラ発注時)	1:ケース発注 3:バラ発注 2:ボール発注			○	○	67	包装区分	862	9	1	
	11	内容	67	9	4	2	○	包装区分に準じた設定 (ボール内バラ数 /ボール内バラ数 /ゼロ)			属性(入)	○	○	68	ボール内バラ数	863	9	4	2
	12	ケース内ボール数	73	9	2		○	包装区分に準じた設定 (ケース内ボール数 /ゼロ /ゼロ)			属性(入)	○	○	69	ケース内ボール数	869	9	2	
	13	数量符号	75	X	1		○	数量の符号	+ :正数 - :負数		コード	"△" → "+" (有効明細時)	"△" → "+"	70	数量符号	871	X	1	
	14	数量	76	9	7		○	包装区分に準じた設定 (ケース数量 /ゼロ /ゼロ)			属性(入)	○	○	71	ケース数量	872	9	7	
	15	ボール数量	83	9	7		○	包装区分に準じた設定 (ゼロ /ボール数量 /ゼロ)			属性(入)	○	○	72	ボール数量	879	9	7	
	16	バラ数量	90	9	7	2	○	バラ数量			属性(入)	○	○	73	バラ数量	886	9	7	2
	17	単価	99	9	6	2	○	卸店入価格 (バラ単価)			属性(入)	○	○	74	卸店入価格	895	9	6	2
	18	二次店納入価格	107	9	6	2	○	二次卸店等への納入価格 (バラ単価)			属性(入)	○	○	75	二次店納入価格	903	9	6	2
	19	金額符号	115	X	1		○	金額の符号	+ :正数 - :負数		コード	"△" → "+" (有効明細時)	"△" → "+"	76	金額符号	911	X	1	
	20	金額	116	9	8		○	卸店入金額		属性(入)	属性(入)	○	○	77	卸店入金額	912	9	8	
	21	二次店納入金額	124	9	8			二次卸店等への納入金額		属性(入)	属性(入)	○	○	78	二次店納入金額	920	9	8	
	22	卸最新在庫日付	132	X	5			賞味期限または製造年月日 (YMMDD)				○	下5桁	84	卸最新在庫日付	935	9	8	
	23	予備2	254	X	3			新フォーマット連携エリア間のデータ連携				○	○ (1レコード目より設定)	94	明細連携エリア	1191	X	10	

④ トレーラレコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック	V1 → V2 センタチェック	V1 ← V1 コンバート	V1 ← V2 コンバート	V2フォーマット					
														項番	項目	開始	属性	整数	小数
	1	データ種別	1	9	2		◎	02：受発注データ	02	共通部チェック	共通部チェック	○	"02"固定						
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(メーカー)の統一取引先コード		(コントロール同値、軽症エラー)	(コントロール同値、軽症エラー)	○	○	2	送信先コード	3	9	8	
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(卸)の統一取引先コード				○	○	3	送信元コード	11	9	8	
	4	レコード区分	19	9	1		◎	9：トレーラレコード	9				○	4	レコード区分	19	9	1	
1.7	5	レコード件数	20	9	6		○	コントロールレコードとトレーラレコードで括られたレコードの総件数 (コントロールレコードとトレーラレコードは含まない) ・データ送信側では、自身のフォーマットのレコード件数を設定する。 ・データ受信側では、当項目と実際のレコード件数の整合性チェックには利用しない。 ※下記【トレーラレコード連携時の留意事項】を参照のこと		属性	属性(入)	※センター集計値	※センター集計値	5	レコード件数	20	9	6	
	6	伝票枚数	26	9	6			伝票枚数		属性	属性(入)	※センター集計値	※センター集計値	6	伝票枚数	26	9	6	
	7	合計金額符号	32	X	1			合計金額の符号	+ :正数 - :負数		コード	"△" → "+"	"△" → "+"	7	合計金額符号	32	X	1	
	8	合計金額	33	9	10			卸店入価格で全明細行の金額合計		属性(入)	属性(入)	※センター集計値	※センター集計値	8	合計金額	33	9	10	
	9	予備	43	X	214			レイアウト拡張時の予備領域 (利用禁止)				○	属性初期値						
												※ 配信分割時							

◎：システムチェック有り
○：業務必須

※【トレーラレコード連携時の留意事項】
・データ受信企業は、異なるフォーマット(例：卸様V2・EDI⇔メーカー様V1・EDI)でデータ連携する場合、「レコード件数」項目と実際のレコード件数で不一致が発生し、自社システムへ取り込めない場合があります。
・データ受信企業は、トレーラレコードの「レコード件数」項目と実際のレコード件数(物理レコード件数)の整合性チェックを行っている場合は、整合性チェックを除外して下さい。また、データの整合性チェックが必要な場合は、「レコード件数」項目ではなく「伝票枚数」項目をご利用下さい。

スペース混在 全スペース 数値以外混在(サイン付)
属性：軽症エラー 軽症エラー 軽症エラー ※V1レイアウト時
重症エラー 重症エラー 重症エラー ※V2レイアウト時
属性(入)：軽症エラー 軽症エラー 重症エラー
属性(入)：重症エラー 正常 重症エラー
属性(入)：正常 正常 重症エラー
V2連携時、属性9タイプのALL SPACE・ALL LOW-VALUEは、ALL ZERO変換後、センタチェック&コンバート実施

(2) V1・11入庫予定

① コントロールレコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック	V1 → V2 センタチェック	V1 ← V1 コンバート	V1 ← V2 コンバート	V2フォーマット					
														項番	項目	開始	属性	整数	小数
	1	データ種別	1	9	2		◎	11:入庫予定データ	11	コード	コード	○	"11"固定						
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(卸)の統一取引先コード		センター登録	センター登録		○	2	送信先コード	3	9	8	
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(メーカ)の統一取引先コード		センター登録	センター登録		○	3	送信元コード	11	9	8	
	4	レコード区分	19	9	1		◎	1:コントロールレコード	1	コード	コード		○	4	レコード区分	19	9	1	
	5	データ作成日	20	9	8		○	本データを作成した日付 (西暦 YYYYMMDD)			必須+日付	○	○	5	データ作成日	20	9	8	
	6	送信先名	28	X	20		○	送信先(卸)のカナ名称				○	○	7	送信先名	34	X	20	
	7	送信元名	48	X	20		○	送信元(メーカ)のカナ名称			必須	○	○	8	送信元名	54	X	20	
	8	直接送信先コード	68	9	8			送信先と異なる場所へ送信する場合にセット。セット不要の場合"00000000"		センター登録	センター登録	○	○	9	直接送信先コード	74	9	8	
	9	直接送信先カナ名	76	X	20			送信先と異なる場所へ送信する場合にセット。セット不要の場合スペース				○	○	10	直接送信先名	82	X	20	
	10	予備	96	X	161			レイアウト拡張時の予備領域 (利用禁止)				○	属性初期値						

② ヘッダーレコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック	V1 → V2 センタチェック	V1 ← V1 コンバート	V1 ← V2 コンバート	V2フォーマット					
														項番	項目	開始	属性	整数	小数
	1	データ種別	1	9	2		◎	11:入庫予定データ	11	共通部チェック	共通部チェック	○	"11"固定						
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(卸)の統一取引先コード		(コントロール同値、軽症17)	(コントロール同値、軽症17)		○	2	送信先コード	3	9	8	
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(メーカ)の統一取引先コード					○	3	送信元コード	11	9	8	
	4	レコード区分	19	9	1		◎	2:ヘッダーレコード	2				○	"2"固定					
	5	卸伝票NO	20	9	6		○	発注NO			属性(λ)	○	下6桁	6	卸発注伝票NO	21	9	8	
	6	メーカ伝票NO	26	9	6			メーカ伝票NO			属性(λ)	○	下6桁	7	メーカ伝票NO	29	9	8	
	7	元伝NO	32	9	6			元伝NO				○	下6桁	30	元伝NO	187	9	8	
	8	取引コード	38	9	2		○	業界統一取引コード	11:店入売上 12:店入売上訂正 21:店入返品 22:店入返品訂正 31:直送売上 32:直送売上訂正		必須+コード	○	○	9	取引コード	38	9	2	
	9	納品日	40	9	8		○	発注伝票の納品日 (西暦 YYYYMMDD)			日付	○	○	10	納品日	40	9	8	
	10	出荷日	48	9	8		○	出荷日 (西暦 YYYYMMDD)			日付	○	○	11	出荷日	48	9	8	
	11	着荷日	56	9	8		○	納品予定日 (西暦 YYYYMMDD)			日付	○	○	12	着荷日	56	9	8	
	12	納入時間	64	9	4			納入予定時間 (HHMM)			時刻	○	○	13	納入予定時間	64	9	4	
	13	明細行数	68	9	2		○	伝票内明細数			属性(λ)	○	○	21	明細行数	95	9	2	
2.0 1.3	14	届け先コード	70	9	8		○	該当する統一取引先コード				○	GLN時:下8桁 GLN以外8桁以上:上8桁 GLN以外8桁未満:前8桁+有効桁	25	届け先コード	136	X	13	
1.1	15	届け先カナ名	78	X	30		○	届け先名				○	日本語区分(届け先)が漢字:届け先カナ その他:届け先名	38 65	届け先名 届け先カナ名	333 597	X/N X	40 30	
	16	伝票合計金額符号	108	X	1		○	伝票の合計金額の符号	+:正数 -:負数		コード	○	"△" → "+"	31	伝票合計金額符号	195	X	1	
	17	伝票合計金額	109	9	8		○	伝票の合計金額 (卸店入価格)		属性(λ)	属性(λ)	○	○	32	伝票合計金額	196	9	8	
	18	定番特売区分	117	X	1		○	定番発注/特売発注の区分	0:定番 1:特売			○	"0"."1"以外→"0"	47	定番特売区分	579	X	1	
1.1	19	摘要欄	118	X	30			伝票の摘要欄の内容				○	日本語区分(摘要)が漢字:摘要カナ その他:摘要	42 66	摘要 摘要カナ	508 627	X/N X	50 30	
	20	メーカコード	148	X	9		○	国コード2桁を含むメーカコード (7桁の場合左詰め後ろスペース)				○	○	43	メーカコード	558	X	9	
	21	予備	157	X	100			レイアウト拡張時の予備領域 (卸発注伝票NO 8桁化対応)				○	卸発注伝票NO上2桁	6	卸発注伝票NO	21	9	8	

③ 明細レコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック	V1 → V2 センタチェック	V1 ← V1 コンバート	V1 ← V2 コンバート	V2フォーマット					
														項番	項目	開始	属性	整数	小数
	1	データ種別	1	9	2		◎	1 1 : 入庫予定データ	11	共通部チェック	共通部チェック	○	"11"固定						
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(卸) の統一取引先コード		(コントロール同値、 軽症エラー)	(コントロール同値、 軽症エラー)		○	2	送信先コード	3	9	8	
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(メーカー) の統一取引先コード					○	3	送信元コード	11	9	8	
	4	レコード区分	19	9	1		◎	4 : 明細レコード	4				"4"固定						
明細部繰返 (118バイト × 2明細) ※明細レコードがショートブロック(レコード中1明細)の場合、ALL SPACEを設定する。																			
	5	行NO	20	9	2		○	明細行NO	01~06			○	○	69	明細行NO	801	9	2	
	6	商品コード識別区分	22	X	1		○	品番(商品コード)の識別区分	0:統一商品コード 1:ITFコード(14桁) 2:ITFコード(拡張16桁) 3:JANコード(標準:13桁) 4:JANコード(短縮:8桁) 6:GTINコード(14桁)		必須+コード(新) "2"は連携不可	○	○	71	商品コード識別区分	805	9	1	
	7	品番	23	X	16		○	統一商品コード、ITFコード、JANコードまたはGTINコード(左詰め)				○	○	72	品番	806	X	16	
1.1	8	商品名	39	X	25		○	商品名				○	日本語区分(商品名)が 漢字:商品名カナ その他:商品名	73	商品名	822	X/N	40	
														126	商品名カナ	1116	X	25	
	9	包装区分	64	9	1		○	数量の発注単位の区分 (1:ケース発注時) (2:ボール発注時) (3:バラ発注時)	1:ケース発注 3:バラ発注 2:ボール発注			○	○	74	包装区分	862	9	1	
	10	内容	65	9	4	2	○	包装区分に準じた設定 (ボール内バラ数 /ボール内バラ数 /ゼロ)			属性(ス)	○	○	75	ボール内バラ数	863	9	4	2
	11	ケース内ボール数	71	9	2		○	包装区分に準じた設定 (ケース内ボール数 /ゼロ /ゼロ)			属性(ス)	○	○	76	ケース内ボール数	869	9	2	
	12	数量符号	73	X	1		○	数量の符号	+ : 正数 - : 負数		コード	○	"△" → "+"	77	数量符号	871	X	1	
	13	数量	74	9	7		○	包装区分に準じた設定 (ケース数量 /ゼロ /ゼロ)			属性(ス)	○	○	78	ケース数量	872	9	7	
	14	ボール数量	81	9	7		○	包装区分に準じた設定 (ゼロ /ボール数量 /ゼロ)			属性(ス)	○	○	79	ボール数量	879	9	7	
	15	バラ数量	88	9	7	2	○	バラ数量			属性(ス)	○	○	80	バラ数量	886	9	7	2
	16	単価	97	9	6	2	○	卸店入価格 (バラ単価)			属性(ス)	○	○	81	卸店入価格	895	9	6	2
	17	二次店納入価格	105	9	6	2		二次卸店等への納入価格 (バラ単価)			属性(ス)	○	○	82	二次店納入価格	903	9	6	2
	18	金額符号	113	X	1		○	金額の符号	+ : 正数 - : 負数		コード	○	"△" → "+"	83	金額符号	911	X	1	
	19	金額	114	9	8		○	卸店入金額			属性(サ)	○	○	84	卸店入金額	912	9	8	
	20	二次店納入金額	122	9	8			二次卸店等への納入金額			属性(サ)	○	○	85	二次店納入金額	920	9	8	
	21	欠品区分	130	9	1		○	商品欠品区分	0:正常 3:未発売 1:品切れ 4:商品コード訂正 2:終売		コード(旧)	○	○	87	欠品区分	929	9	2	
	22	商品添付区分	131	X	1		○	添付商品扱いの区分 (相対運用)	△:売上 2:見本 1:現物添付 3:景品		コード(旧)	○	○	86	商品添付区分	928	X	1	
1.8	23	賞味期限製造年月日	132	X	6			賞味期限または製造年月日 (YYMMDD)			日付	○	実入庫製品日付下6桁	96	実入庫製品日付	955	9	8	
	24	予備2	256	X	1			レイアウト拡張時の予備領域 (利用禁止)				○	属性初期値						

④ トレーラレコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック	V1 → V2 センタチェック	V1 ← V1 コンバート	V1 ← V2 コンバート	V2フォーマット					
														項番	項目	開始	属性	整数	小数
	1	データ種別	1	9	2		◎	1 1 : 入庫予定データ	11	共通部チェック	共通部チェック	○	"11"固定						
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(卸) の統一取引先コード		(コントロール同値、 軽症エラー)	(コントロール同値、 軽症エラー)		○	2	送信先コード	3	9	8	
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(メーカー) の統一取引先コード					○	3	送信元コード	11	9	8	
	4	レコード区分	19	9	1		◎	9 : トレーラレコード	9				○	4	レコード区分	19	9	1	
1.7	5	レコード件数	20	9	6		○	コントロールレコードとトレーラレコードで括られたレコードの総件数 (コントロールレコードとトレーラレコードは含まない) ・データ送信側では、自身のフォーマットのレコード件数を設定する。 ・データ受信側では、当項目と実際のレコード件数の整合性チェックには利用しない。※下記【トレーラレコード連携時の留意事項】を参照のこと		属性	属性(ス)	※センター集計値	※センター集計値	5	レコード件数	20	9	6	
	6	伝票枚数	26	9	6			伝票枚数		属性	属性(ス)	※センター集計値	※センター集計値	6	伝票枚数	26	9	6	
	7	合計金額符号	32	X	1			合計金額の符号	+ : 正数 - : 負数		コード	※センター設定	"△" → "+" ※センター設定	7	合計金額符号	32	X	1	
	8	合計金額	33	9	10			卸店入価格で全明細行の金額合計		属性(サ)	属性(ス)	※センター集計値	※センター集計値	8	合計金額	33	9	10	
	9	予備	43	X	214			レイアウト拡張時の予備領域 (利用禁止)				○	属性初期値						
												※配信分割時							

◎:システムチェック有り
○:業務必須

※【トレーラレコード連携時の留意事項】
・データ受信企業は、異なるフォーマット(例:卸様V2・EDI⇔メーカー様V1・EDI)でデータ連携する場合、「レコード件数」項目と実際のレコード件数で不一致が発生し、自社システムへ取り込めない場合があります。
・データ受信企業は、トレーラレコードの「レコード件数」項目と実際のレコード件数(物理レコード件数)の整合性チェックを行っている場合は、整合性チェックを除外して下さい。また、データの整合性チェックが必要な場合は、「レコード件数」項目ではなく「伝票枚数」項目をご利用下さい。

スペース混在 全スペース 数値以外混在(サイン付)
属性 : 軽症エラー 軽症エラー 軽症エラー ※V1レイアウト時
重症エラー 重症エラー 重症エラー ※V2レイアウト時
属性(サ) : 軽症エラー 軽症エラー 重症エラー
属性(ス) : 重症エラー 正常 重症エラー
属性(サ) : 正常 正常 重症エラー

V2連携時、属性9タイプのALL SPACE・ALL LOW-VALUEは、
ALL ZERO変換後、センタチェック&コンバート実施

(3) V1・12受領

① コントロールレコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック	V1 → V2 センタチェック	V1 ← V1 コンバート	V1 ← V2 コンバート	V2フォーマット					
														項番	項目	開始	属性	整数	小数
	1	データ種別	1	9	2		◎	1 2 : 受領データ	12	コード	コード	○	"12"固定						
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(メーカ) の統一取引先コード		センター登録	センター登録		○	2	送信先コード	3	9	8	
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(卸) の統一取引先コード		センター登録	センター登録		○	3	送信元コード	11	9	8	
	4	レコード区分	19	9	1		◎	1 : コントロールレコード	1	コード	コード		○	4	レコード区分	19	9	1	
	5	データ作成日	20	9	8		○	本データを作成した日付 (西暦 YYYYMMDD)			必須		○	5	データ作成日	20	9	8	
	6	送信先名	28	X	20		○	送信先(メーカ) のカナ名称				○	○	7	送信先名	34	X	20	
	7	送信元名	48	X	20		○	送信元(卸) のカナ名称			必須	○	○	8	送信元名	54	X	20	
	8	直接送信先コード	68	9	8			送信先と異なる場所へ送信する場合にセット。セット不要の場合"00000000"		センター登録	センター登録	○	○	9	直接送信先コード	74	9	8	
	9	直接送信先カナ名	76	X	20			送信先と異なる場所へ送信する場合にセット。セット不要の場合スペース				○	○	10	直接送信先名	82	X	20	
	10	予備	96	X	161			レイアウト拡張時の予備領域 (利用禁止)				○	属性初期値						

② ヘッダーレコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック	V1 → V2 センタチェック	V1 ← V1 コンバート	V1 ← V2 コンバート	V2フォーマット					
														項番	項目	開始	属性	整数	小数
	1	データ種別	1	9	2		◎	1 2 : 受領データ	12	共通部チェック	共通部チェック	○	"12"固定						
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(メーカ) の統一取引先コード		(コントロール同値、軽症17)	(コントロール同値、軽症17)		○	2	送信先コード	3	9	8	
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(卸) の統一取引先コード					○	3	送信元コード	11	9	8	
	4	レコード区分	19	9	1		◎	2 : ヘッダーレコード	2				○	"2"固定					
	5	卸伝票NO	20	9	6		○	発注NO			属性(1)	○	下6桁	6	卸発注伝票NO	21	9	8	
	6	メーカ伝票NO	26	9	6			メーカ伝票NO			属性(1)	○	下6桁	7	メーカ伝票NO	29	9	8	
	7	元伝NO	32	9	6			元伝NO				○	下6桁	30	元伝NO	187	9	8	
	8	取引コード	38	9	2		○	業界統一取引コード	11:店入売上 12:店入売上訂正 21:店入返品 22:店入返品訂正 31:直送売上 32:直送売上訂正		コード	○	○	9	取引コード	38	9	2	
	9	納品日	40	9	8		○	発注伝票の納品日 (西暦 YYYYMMDD)			日付	○	○	10	納品日	40	9	8	
	10	出荷日	48	9	8		○	出荷日 (西暦 YYYYMMDD)			日付	○	○	11	出荷日	48	9	8	
	11	受領日	56	9	8		○	受領した日付 (西暦 YYYYMMDD)			日付	○	○	12	受領日	56	9	8	
	12	受領時間	64	9	4			受領した時間 (HHMM)			時刻	○	○	13	受領時間	64	9	4	
	13	明細行数	68	9	2		○	伝票内明細数			属性(1)	○	○	21	明細行数	95	9	2	
2.0 1.3	14	届け先コード	70	9	8		○	該当する統一取引先コード				○	GLN時:下8桁 GLN以外8桁以上:上8桁 GLN以外8桁未満:前8桁+有効桁	25	届け先コード	136	X	13	
1.1	15	届け先カナ名	78	X	30		○	届け先名				○	日本語区分(届け先)が 漢字 : 届け先カナ その他 : 届け先名	38 63	届け先名 届け先名カナ	333 597	X/N X	40 30	
	16	伝票合計金額符号	108	X	1		○	伝票の合計金額の符号	+ : 正数 - : 負数		コード	○	"△" → "+"	31	伝票合計金額符号	195	X	1	
	17	伝票合計金額	109	9	8		○	伝票の合計金額 (卸店入価格)		属性(1)	属性(1)	○	○	32	伝票合計金額	196	9	8	
	18	定番特売区分	117	X	1		○	定番発注/特売発注の区分	0:定番 1:特売			○	"0"."1"以外→"0"	47	定番特売区分	579	X	1	
1.1	19	摘要欄	118	X	30			伝票の摘要欄の内容				○	日本語区分(摘要)が 漢字 : 摘要カナ その他 : 摘要	42 64	摘要 摘要カナ	508 627	X/N X	50 30	
	20	メーカコード	148	X	9		○	国コード2桁を含むメーカコード (7桁の場合左詰め後ろスペース)				○	○	43	メーカコード	558	X	9	
	21	予備	157	X	100			レイアウト拡張時の予備領域 (卸発注伝票NO 8桁化対応)				○	卸発注伝票NO上2桁	6	卸発注伝票NO	21	9	8	

③ 明細レコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック 共通部チェック (コントロール同値、 軽症エラー)	V1 → V2 センタチェック 共通部チェック (コントロール同値、 軽症エラー)	V1 ← V1 コンバート	V1 ← V2 コンバート	V2フォーマット					
														項番	項目	開始	属性	整数	小数
	1	データ種別	1	9	2		◎	1 2 : 受領データ	12			○	"12"固定						
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(メーカ) の統一取引先コード					○	2	送信先コード	3	9	8	
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(卸) の統一取引先コード					○	3	送信元コード	11	9	8	
	4	レコード区分	19	9	1		◎	4 : 明細レコード	4				"4"固定						
		明細部繰返 (117バイト × 2明細) ※明細レコードがショートブロック(レコード中1明細) の場合、ALL SPACEを設定する。																	
	5	行NO	20	9	2		○	明細行NO	01~06			必須+コード	○	67	明細行NO	801	9	2	
	6	専用伝票行NO	22	9	2			専用伝票の行NO				属性(ス)	○	68	専用伝票行NO	803	9	2	
	7	商品コード識別区分	24	X	1		○	業界統一取引コード	0:統一商品コード 1:ITFコード(14桁) 2:ITFコード(拡張16桁) 3:JANコード(標準:13桁) 4:JANコード(短縮:8桁) 6:GTINコード(14桁)			必須+コード(新) "2"は連携不可	○	69	商品コード識別区分	805	9	1	
	8	品番	25	X	16		○	統一商品コード、ITFコード、JANコードまたはGTINコード(左詰め)				○	70	品番	806	X	16		
1.1	9	商品名	41	X	25		○	商品名				○	71	商品名	822	X/N	40		
														124	商品名カナ	1116	X	25	
	10	包装区分	66	9	1		○	数量の発注単位の区分 (1:ケース発注時) (2:ボール発注時) (3:バラ発注時)	1:ケース発注 2:ボール発注 3:バラ発注			必須+コード	○	72	包装区分	862	9	1	
	11	内容	67	9	4	2	○	包装区分に準じた設定 (ボール内バラ数 /ボール内バラ数 /ゼロ)				属性(ス)	○	73	ボール内バラ数	863	9	4	2
	12	ケース内ボール数	73	9	2		○	包装区分に準じた設定 (ケース内ボール数 /ゼロ /ゼロ)				属性(ス)	○	74	ケース内ボール数	869	9	2	
	13	数量符号	75	X	1		○	数量の符号	+ :正数 - :負数			コード	○	75	数量符号	871	X	1	
	14	数量	76	9	7		○	包装区分に準じた設定 (ケース数量 /ゼロ /ゼロ)				属性(ス)	○	76	ケース数量	872	9	7	
	15	ボール数量	83	9	7		○	包装区分に準じた設定 (ゼロ /ボール数量 /ゼロ)				属性(ス)	○	77	ボール数量	879	9	7	
	16	バラ数量	90	9	7	2	○	バラ数量				属性(ス)	○	78	バラ数量	886	9	7	2
	17	単価	99	9	6	2	○	卸店入価格 (バラ単価)				属性(ス)	○	79	卸店入価格	895	9	6	2
	18	二次店納入価格	107	9	6	2	○	二次卸店等への納入価格 (バラ単価)				属性(ス)	○	80	二次店納入価格	903	9	6	2
	19	金額	115	X	1		○	金額の符号	+ :正数 - :負数			コード	○	81	金額符号	911	X	1	
	20	金額	116	9	8		○	卸店入金額				属性(サ)	○	82	卸店入金額	912	9	8	
	21	二次店納入金額	124	9	8		○	二次卸店等への納入金額				属性(サ)	○	83	二次店納入金額	920	9	8	
	22	数量違いフラグ	132	9	1		○	数量違い有無フラグ	1:数量違い有り 0:無し			コード(旧)	○	85	受領区分	929	9	2	
	23	商品添付区分	133	X	1		○	添付商品扱いの区分 (相対運用)	△:売上 2:見本 1:現物添付 3:景品			コード(旧)	○	84	商品添付区分	928	X	1	
	24	予備1	134	X	3			新フォーマット連携エリア間のデータ連携				○	126	明細連携エリア	1191	X	10		
	25	予備2	254	X	3			レイアウト拡張時の予備領域 (利用禁止)				○							

④ トレーラレコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック 共通部チェック (コントロール同値、 軽症エラー)	V1 → V2 センタチェック 共通部チェック (コントロール同値、 軽症エラー)	V1 ← V1 コンバート	V1 ← V2 コンバート	V2フォーマット					
														項番	項目	開始	属性	整数	小数
	1	データ種別	1	9	2		◎	1 2 : 受領データ	12			○	"12"固定						
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(メーカ) の統一取引先コード					○	2	送信先コード	3	9	8	
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(卸) の統一取引先コード					○	3	送信元コード	11	9	8	
	4	レコード区分	19	9	1		◎	9 : トレーラレコード	9				○	4	レコード区分	19	9	1	
1.7	5	レコード件数	20	9	6		○	コントロールレコードとトレーラレコードで括られたレコードの総件数 (コントロールレコードとトレーラレコードは含まない) ・データ送信側では、自身のフォーマットのレコード件数を設定する。 ・データ受信側では、当項目と実際のレコード件数の整合性チェックには利用しない。※下記【トレーラレコード連携時の留意事項】を参照のこと			属性	属性(ス)	※ センター集計値	※ センター集計値	5	レコード件数	20	9	6
	6	伝票枚数	26	9	6			伝票枚数				属性	属性(ス)	※ センター集計値	6	伝票枚数	26	9	6
	7	合計金額符号	32	X	1			合計金額の符号	+ :正数 - :負数			コード	※ センター設定	"△" → "+" ※ センター設定	7	合計金額符号	32	X	1
	8	合計金額	33	9	10			卸店入価格で全明細行の金額合計				属性(サ)	属性(ス)	※ センター集計値	8	合計金額	33	9	10
	9	予備	43	X	214			レイアウト拡張時の予備領域 (利用禁止)				○	※ センター集計値	※ センター集計値					
													※ 配信分割時						

◎ : システムチェック有り
○ : 業務必須

※【トレーラレコード連携時の留意事項】
・データ受信企業は、異なるフォーマット(例:卸様V2・EDI⇔メーカー様V1・EDI)でデータ連携する場合、「レコード件数」項目と実際のレコード件数で不一致が発生し、自社システムへ取り込めない場合があります。
・データ受信企業は、トレーラレコードの「レコード件数」項目と実際のレコード件数(物理レコード件数)の整合性チェックを行っている場合は、整合性チェックを除外して下さい。また、データの整合性チェックが必要な場合は、「レコード件数」項目ではなく「伝票枚数」項目をご利用下さい。

スペース混在 全スペース 数値以外混在(サイン付)
属性 : 軽症エラー 軽症エラー 軽症エラー ※V1レイアウト時
重症エラー 重症エラー 重症エラー ※V2レイアウト時
属性(サ) : 軽症エラー 軽症エラー 重症エラー
属性(ス) : 重症エラー 正常 重症エラー
属性(サ) : 正常 正常 重症エラー
V2連携時、属性9タイプのALL SPACE・ALL LOW-VALUEは、ALL ZERO変換後、センタチェック&コンバート実施

(4) V1.19 返品通知

① コントロールレコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック	V1 → V2 センタチェック	V1 ← V1 コンバート	V1 ← V2 コンバート	V2フォーマット					
														項番	項目	開始	属性	整数	小数
	1	データ種別	1	9	2		◎	19: 返品通知データ	19	コード	コード	○	"19"固定						
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(メーカー)の統一取引先コード		センター登録	センター登録		○	2	送信先コード	3	9	8	
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(卸)の統一取引先コード		センター登録	センター登録		○	3	送信元コード	11	9	8	
	4	レコード区分	19	9	1		◎	1: コントロールレコード	1	コード	コード		○	4	レコード区分	19	9	1	
	5	データ作成日	20	9	8		○	本データを作成した日付 (西暦 YYYYMMDD)			必須+日付		○	5	データ作成日	20	9	8	
	6	送信先名	28	X	20		○	送信先(メーカー)のカナ名称					○	7	送信先名	34	X	20	
	7	送信元名	48	X	20		○	送信元(卸)のカナ名称			必須		○	8	送信元名	54	X	20	
	8	直接送信先コード	68	9	8			送信先と異なる場所へ送信する場合にセット。セット不要の場合"00000000"		センター登録	センター登録		○	9	直接送信先コード	74	9	8	
	9	直接送信先カナ名	76	X	20			送信先と異なる場所へ送信する場合にセット。セット不要の場合スペース					○	10	直接送信先名	82	X	20	
	10	予備	96	X	161			レイアウト拡張時の予備領域 (利用禁止)					○						

② ヘッダーレコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック	V1 → V2 センタチェック	V1 ← V1 コンバート	V1 ← V2 コンバート	V2フォーマット					
														項番	項目	開始	属性	整数	小数
	1	データ種別	1	9	2		◎	19: 返品通知データ	19	共通部チェック	共通部チェック	○	"19"固定						
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(メーカー)の統一取引先コード		(コントロール同値、軽症17-)	(コントロール同値、軽症17-)		○	2	送信先コード	3	9	8	
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(卸)の統一取引先コード					○	3	送信元コード	11	9	8	
	4	レコード区分	19	9	1		◎	2: ヘッダーレコード	2				"2"固定						
	5	卸伝票NO	20	9	6		○	返品伝票NO			属性(入)		○	6	卸発注伝票NO	21	9	8	
	6	店入直送区分	26	9	1			店(倉)入れまたは直送等の区分	1:店入		コード		○	7	店入直送区分	29	9	1	
	7	取引コード	27	9	2		○	業界統一取引コード	11:店入売上 12:店入売上訂正 21:店入返品 22:店入返品訂正 31:直送売上 32:直送売上訂正		コード		○	8	取引コード	30	9	2	
	8	返品日	29	9	8		○	返品日 (西暦 YYYYMMDD)			必須+日付		○	9	返品日	32	9	8	
	9	明細行数	37	9	2		○	伝票内明細数			属性(入)		○	13	明細行数	56	9	2	
2.0	10	一次店コード	39	9	8			ゼロ					○	8桁以上:上8桁	14	一次店コード	58	X	13
2.0	11	二次店コード	47	9	8			ゼロ					○	8桁未満:前ゼロ+有効桁	15	二次店コード	71	X	13
2.0	12	届け先コード	55	9	8			ゼロ					○		17	届け先コード	97	X	13
	13	専用伝票日付	63	9	8			返品伝票が専用伝票の場合にセット (西暦 YYYYMMDD、セット不要の場合はゼロ)			日付		○	19	専用伝票日付	123	9	8	
	14	専用伝票NO	71	9	9			返品伝票が専用伝票の場合にセット (セット不要の場合はゼロ)			属性(入)		○	20	専用伝票NO	131	9	9	
	15	伝票合計金額符号	80	X	1		○	伝票の合計金額の符号	+ :正数 - :負数		コード		○	"△" → "+"	21	伝票合計金額符号	140	X	1
	16	伝票合計金額	81	9	8		○	伝票の合計金額 (卸店入価格)			属性(入)		○	22	伝票合計金額	141	9	8	
1.1	17	一次店カナ名	89	X	30			スペース					○	日本語区分(一次店)が 漢字 : 一次店カナ名 その他: 一次店名	25 56	一次店名 一次店カナ名	158 631	X/N X	40 30
1.1	18	二次店カナ名	119	X	30			スペース					○	日本語区分(二次店)が 漢字 : 二次店カナ名 その他: 二次店名	26 57	二次店名 二次店カナ名	198 661	X/N X	40 30
1.1	19	届け先カナ名	149	X	30			スペース					○	日本語区分(届け先)が 漢字 : 届け先カナ名 その他: 届け先名	28 58	届け先名 届け先カナ名	278 691	X/N X	40 30
	20	メーカー所属組織名	179	X	10			スペース					○		33	メーカー所属組織名	462	X	10
1.1	21	摘要欄	189	X	30			伝票の摘要欄の内容					○	日本語区分(摘要)が 漢字 : 摘要カナ その他: 摘要	43 59	摘要 摘要カナ	569 721	X/N X	50 30
	22	メーカーコード	219	X	9		○	国コード2桁を含むメーカーコード (7桁の場合左詰め後スペース)					○		32	メーカーコード	453	X	9
	23	予備	228	X	29			新フォーマット連携エリア間のデータ連携(卸発注伝票NO8桁化対応)					○	卸発注伝票NO上2桁	6	卸発注伝票NO	21	9	8

③ 明細レコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック	V1 → V2 センタチェック	V1 ← V1 コンバート	V1 ← V2 コンバート	V2フォーマット					
														項番	項目	開始	属性	整数	小数
	1	データ種別	1	9	2		◎	19：返品通知データ	19	共通部チェック	共通部チェック	○	"19"固定						
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(メーカー)の統一取引先コード		(コントロール同値、軽症エラー)	(コントロール同値、軽症エラー)	○	○	2	送信先コード	3	9	8	
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(卸)の統一取引先コード				○	○	3	送信元コード	11	9	8	
	4	レコード区分	19	9	1		◎	4：明細レコード	4				"4"固定						
	明細部繰返 (117バイト × 2明細) ※明細レコードがショートブロック(レコード中1明細)の場合、ALL SPACEを設定する。																		
	5	行NO	20	9	2		○	明細行NO	01~06		必須+コード	○	○	62	明細行NO	801	9	2	
	6	専用伝票行NO	22	9	2		○	専用伝票の行NO	00~99		コード	○	○	63	専用伝票行NO	803	9	2	
	7	商品コード識別区分	24	X	1		○	業界統一取引コード	0:統一商品コード 1:ITFコード(14桁) 2:ITFコード(拡張16桁) 3:JANコード(標準:13桁) 4:JANコード(短縮:8桁) 6:GTINコード(14桁)		必須+コード(新)	○	○	64	商品コード識別区分	805	9	1	
	8	品番	25	X	16		○	統一商品コード、ITFコード、JANコードまたはGTINコード(左詰め)				○	○	65	品番	806	X	16	
1.1	9	商品名	41	X	25		○	商品名をセット				○	日本語区分(商品名)が漢字：商品名カナ その他：商品名	66	商品名	822	X/N	40	
														92	商品名カナ	1011	X	25	
	10	包装区分	66	9	1		○	数量の発注単位の区分 (1:ケース発注時)(2:ボール発注時)(3:バラ発注時)	1:ケース発注 3:バラ発注 2:ボール発注		必須+コード	○	○	67	包装区分	862	9	1	
	11	内容	67	9	4	2	○	包装区分に準じた設定 (ボール内バラ数 /ボール内バラ数 /ゼロ)			属性(ス)	○	○	68	ボール内バラ数	863	9	4	
	12	ケース内ボール数	73	9	2		○	包装区分に準じた設定 (ケース内ボール数 /ゼロ /ゼロ)			属性(ス)	○	○	69	ケース内ボール数	869	9	2	
	13	数量符号	75	X	1		○	数量の符号	+ :正数 - :負数		コード	○	"△" → "+"	70	数量符号	871	X	1	
	14	数量	76	9	7		○	包装区分に準じた設定 (ケース数量 /ゼロ /ゼロ)			属性(ス)	○	○	71	ケース数量	872	9	7	
	15	ボール数量	83	9	7		○	包装区分に準じた設定 (ゼロ /ボール数量 /ゼロ)			属性(ス)	○	○	72	ボール数量	879	9	7	
	16	バラ数量	90	9	7	2	○	バラ数量			属性(ス)	○	○	73	バラ数量	886	9	7	
	17	単価	99	9	6	2	○	卸店入価格 (バラ単価)			属性(ス)	○	○	74	卸店入価格	895	9	6	
	18	二次店納入価格	107	9	6	2	○	二次卸店等への納入価格 (バラ単価)			属性(ス)	○	○	75	二次店納入価格	903	9	6	
	19	金額符号	115	X	1		○	金額の符号	+ :正数 - :負数		コード	○	"△" → "+"	76	金額符号	911	X	1	
	20	金額	116	9	8		○	卸店入金額		属性(サ)	属性(ス)	○	○	77	卸店入金額	912	9	8	
	21	二次店納入金額	124	9	8		○	二次卸店等への納入金額		属性(サ)	属性(ス)	○	○	78	二次店納入金額	920	9	8	
	22	返品区分	132	X	1			当面使用しない	△		コード	○	○	79	返品区分	928	X	1	
	23	予備1	133	X	4			レイアウト拡張時の予備領域 (利用禁止)				○	属性初期値						
	24	予備2	254	X	3			レイアウト拡張時の予備領域 (利用禁止)				○	属性初期値						

④ トレーラレコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック	V1 → V2 センタチェック	V1 ← V1 コンバート	V1 ← V2 コンバート	V2フォーマット				
														項番	項目	開始	属性	整数
	1	データ種別	1	9	2		◎	19：返品通知データ	19	共通部チェック	共通部チェック	○	"19"固定					
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(メーカー)の統一取引先コード		(コントロール同値、軽症エラー)	(コントロール同値、軽症エラー)	○	○	2	送信先コード	3	9	8
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(卸)の統一取引先コード				○	○	3	送信元コード	11	9	8
	4	レコード区分	19	9	1		◎	9：トレーラレコード	9				○	4	レコード区分	19	9	1
1.7	5	レコード件数	20	9	6		○	コントロールレコードとトレーラレコードで括られたレコードの総件数 (コントロールレコードとトレーラレコードは含まない) ・データ送信側では、自身のフォーマットのレコード件数を設定する。 ・データ受信側では、当項目と実際のレコード件数の整合性チェックには利用しない。※下記【トレーラレコード連携時の留意事項】を参照のこと		属性	属性(ス)	※センター集計値	※センター集計値	5	レコード件数	20	9	6
	6	伝票枚数	26	9	6			伝票枚数		属性	属性(ス)	※センター集計値	※センター集計値	6	伝票枚数	26	9	6
	7	合計金額符号	32	X	1			合計金額の符号	+ :正数 - :負数		コード	※センター設定	"△" → "+" ※センター設定	7	合計金額符号	32	X	1
	8	合計金額	33	9	10			卸店入価格で全明細行の金額合計		属性(サ)	属性(ス)	※センター集計値	※センター集計値	8	合計金額	33	9	10
	9	予備	43	X	214			レイアウト拡張時の予備領域 (利用禁止)				○	属性初期値					
													※ 配信分割時					

◎：システムチェック有り
○：業務必須

※【トレーラレコード連携時の留意事項】
・データ受信企業は、異なるフォーマット(例：卸様V2・EDI⇔メーカー様V1・EDI)でデータ連携する場合は、「レコード件数」項目と実際のレコード件数で不一致が発生し、自社システムへ取り込めない場合があります。
・データ受信企業は、トレーラレコードの「レコード件数」項目と実際のレコード件数(物理レコード件数)の整合性チェックを行っている場合は、整合性チェックを除外して下さい。また、データの整合性チェックが必要な場合は、「レコード件数」項目ではなく「伝票枚数」項目をご利用下さい。

スペース混在 全スペース 数値以外混在(サイン付)
属性：軽症エラー 軽症エラー 軽症エラー ※V1レイアウト時
重症エラー 重症エラー 重症エラー ※V2レイアウト時
属性(サ)：軽症エラー 軽症エラー 重症エラー
属性(ス)：重症エラー 正常 重症エラー
属性(サ)：正常 正常 重症エラー
V2連携時、属性9タイプのALL SPACE・ALL LOW-VALUEは、ALL ZERO変換後、センタチェック&コンバート実施

(5) V1・22出荷報告

① コントロールレコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック	V1 → V2 センタチェック	V1 ← V1 コンバート	V1 ← V2 コンバート	V2フォーマット					
														項番	項目	開始	属性	整数	小数
	1	データ種別	1	9	2		◎	22：出荷報告(直送)データ	22	コード	コード	○	"22"固定						
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(卸) の統一取引先コード		センター登録	センター登録		○	2	送信先コード	3	9	8	
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(メーカー) の統一取引先コード		センター登録	センター登録		○	3	送信元コード	11	9	8	
	4	レコード区分	19	9	1		◎	1：コントロールレコード	1	コード	コード		○	4	レコード区分	19	9	1	
	5	データ作成日	20	9	8		○	本データを作成した日付 (西暦 YYYYMMDD)			必須+日付		○	5	データ作成日	20	9	8	
	6	送信先名	28	X	20		○	送信先(卸) のカナ名称					○	7	送信先名	34	X	20	
	7	送信元名	48	X	20		○	送信先(メーカー) のカナ名称			必須		○	8	送信元名	54	X	20	
	8	直接送信先コード	68	9	8			送信先と異なる場所へ送信する場合にセット。セット不要の場合"00000000"		センター登録	センター登録		○	9	直接送信先コード	74	9	8	
	9	直接送信先カナ名	76	X	20			送信先と異なる場所へ送信する場合にセット。セット不要の場合スペース					○	10	直接送信先名	82	X	20	
	10	予備	96	X	161			レイアウト拡張時の予備領域 (利用禁止)					○						

② ヘッダーレコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック	V1 → V2 センタチェック	V1 ← V1 コンバート	V1 ← V2 コンバート	V2フォーマット					
														項番	項目	開始	属性	整数	小数
	1	データ種別	1	9	2		◎	22：出荷報告(直送)データ	22	共通部チェック	共通部チェック	○	"22"固定						
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(卸) の統一取引先コード		共通部チェック (コントロール同値、 軽症17-)	共通部チェック (コントロール同値、 軽症17-)		○	2	送信先コード	3	9	8	
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(メーカー) の統一取引先コード					○	3	送信元コード	11	9	8	
	4	レコード区分	19	9	1		◎	2：ヘッダーレコード	2				"2"固定						
	5	伝票NO	20	9	6		○	メーカー発行伝票NO			属性(入)	○	下6桁	7	メーカー伝票NO	29	9	8	
	6	店入直送区分	26	9	1		○	店(倉)入れまたは直送等の区分	1:店入 2:直送		必須+コード	○	"1"."3" → "1" その他 → "2"	8	店入直送区分	37	9	1	
	7	取引コード	27	9	2		○	業界統一取引コード	11:店入売上 41:直送返品 12:店入売上訂正 42:直送返品訂正 21:店入返品 51:割戻し金 22:店入返品訂正 52:相殺 31:直送売上 32:直送売上訂正		必須+コード	○	○	9	取引コード	38	9	2	
	8	取引年月日	29	9	8		○	納品年月日 (西暦 YYYYMMDD)			日付	○	○	10	取引年月日	40	9	8	
	9	予備	37	X	4			スペース (未使用)				○	属性初期値						
	10	明細行数	41	9	2		○	伝票内明細数			属性(入)	○	○	21	明細行数	95	9	2	
2.0	11	一次店コード	43	9	8		○	該当する統一取引先コード			必須	○	8桁以上:上8桁 8桁未満:前ゼロ+有効桁	22	一次店コード	97	X	13	
2.0	12	二次店コード	51	9	8			該当する統一取引先コード				○	GLN時:下8桁 GLN以外8桁以上:上8桁	23	二次店コード	110	X	13	
2.0 1.3	13	届け先コード	59	9	8		○	該当する統一取引先コード (一次店・二次店と重複の場合も必須)				○	GLN以外8桁未満:前ゼロ+ 有効桁	25	届け先コード	136	X	13	
	14	専用伝票日付	67	9	8			納品伝票が専用伝票の場合にセット (西暦 YYYYMMDD、セット不要の場合はゼロ)			日付	○	○	27	専用伝票日付	162	9	8	
	15	専用伝票NO	75	9	9			納品伝票が専用伝票の場合にセット (セット不要の場合はゼロ)			属性(入)	○	○	28	専用伝票NO	170	9	9	
	16	伝票合計金額符号	84	X	1		○	伝票合計金額の符号	+ :正数 - :負数		コード	"△" → "+"	"△" → "+"	31	伝票合計金額符号	195	X	1	
	17	伝票合計金額	85	9	8		○	伝票の合計金額 (卸店入価格)		属性(入)	属性(入)	○	○	32	#N/A	#N/A	##	##	##
	18	二次店納入金額符号	93	X	1			正味納入金額の符号	+ :正数 - :負数		コード	"△" → "+"	"△" → "+"	33	二次店納入合計金額符号	204	X	1	
	19	二次店納入合計金額	94	9	8			正味納入金額 (二次店が量販店等)		属性(入)	属性(入)	○	○	34	二次店納入合計金額	205	9	8	
1.1	20	一次店カナ名	102	X	30		○	一次店名				○	日本語区分(一次店)が 漢字 : 一次店カナ名 その他 : 一次店名	35	一次店名	213	X/N	40	
	63	一次店カナ名										○	漢字 : 一次店カナ名 その他 : 一次店名	63	一次店カナ名	597	X	30	
1.1	21	二次店カナ名	132	X	30			二次店名				○	日本語区分(二次店)が 漢字 : 二次店カナ名 その他 : 二次店名	36	二次店名	253	X/N	40	
	64	二次店カナ名										○	漢字 : 二次店カナ名 その他 : 二次店名	64	二次店カナ名	627	X	30	
1.1	22	届け先カナ名	162	X	30		○	届け先名				○	日本語区分(届け先)が 漢字 : 届け先カナ名 その他 : 届け先名	38	届け先名	38	X/N	40	
	65	届け先カナ名										○	漢字 : 届け先カナ名 その他 : 届け先名	65	届け先カナ名	657	X	30	
	23	元伝日付	192	9	8			メーカーで訂正した場合に元伝票の納品日をセット (西暦 YYYYMMDD)			日付	○	○	29	元伝年月日	179	9	8	
	24	元伝NO	200	9	6			メーカーで訂正した場合に元伝票の伝票NOをセット (前ゼロ)			属性(入)	○	下6桁	30	元伝NO	187	9	8	
1.1	25	摘要欄	206	X	30			伝票の摘要欄の内容				○	日本語区分(摘要)が 漢字 : 摘要カナ その他 : 摘要	42	摘要	508	X/N	50	
	66	摘要カナ										○	漢字 : 摘要カナ その他 : 摘要	66	摘要カナ	687	X	30	
	26	メーカー所属組織名	236	X	10			メーカーの伝票組織名				○	○	44	メーカー所属組織名	567	X	10	
	27	伝票区分	246	9	1		○	伝票発行の区分			コード(新)	○	○	45	伝票区分	577	9	1	
								0:菓子統一伝票 1:チェーンストア統一伝票 (OCR、タイプ用で伝票Noが印刷されていないもの) 2:専用伝票 (専用伝票(チェーンストア統一伝票手書用を含む)で 専用伝票No.をレコード中に表示できるもの) 3:専用伝票だが、レコード中に元伝票Noを表示できないもの 4:チェーンストア統一伝票 (ターンアラウンド用) 8:伝票レス											
	28	卸伝票NO	247	9	6			受発注データの伝票NO 直送返品時は返品NO 受発注データで受けた場合は必ずセット			属性(入)	○	下6桁	6	卸発注伝票NO	21	9	8	
	29	定番特売区分	253	X	1		○	定番発注/特売発注の区分	0:定番 1:特売			○	"0"."1"以外→"0"	47	定番特売区分	579	X	1	
	30	登録店区分	254	X	1		○	メーカーの登録店区分	0:登録店以外 1:登録店			○	○	46	登録店区分	578	X	1	
	31	予備	255	X	2			レイアウト拡張時の予備領域 (卸発注伝票NO 8桁化対応)				○	卸発注伝票NO上2桁	6	卸発注伝票NO	21	9	8	

③ 明細レコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック	V1 → V2 センタチェック	V1 ← V1 コンバート	V1 ← V2 コンバート	V2フォーマット					
														項番	項目	開始	属性	整数	小数
	1	データ種別	1	9	2		◎	2 2 : 出荷報告(直送)データ	22	共通部チェック	共通部チェック	○	"22"固定						
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(卸) の統一取引先コード		(コントロール同値、 軽症エラー)	(コントロール同値、 軽症エラー)	○	○	2	送信先コード	3	9	8	
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(メーカ) の統一取引先コード				○	○	3	送信元コード	11	9	8	
	4	レコード区分	19	9	1		◎	4 : 明細レコード	4				"4"固定						
明細部繰返 (117バイト × 2明細) ※明細レコードがショートブロック (レコード中1明細) の場合、ALL SPACEを設定する。																			
	5	行NO	20	9	2		○	明細行NO	01~06		属性(入)	○	○	69	明細行NO	801	9	2	
	6	専用伝票行NO	22	9	2		○	専用伝票の行NO			属性(入)	○	○	70	専用伝票行NO	803	9	2	
	7	商品コード識別区分	24	X	1		○	業界統一取引コード	0:統一商品コード 1:ITFコード(14桁) 2:ITFコード(拡張16桁) 3:JANコード(標準:13桁) 4:JANコード(短縮:8桁) 6:GTINコード(14桁)		必須+コード(新) "2"は連携不可	○	○	71	商品コード識別区分	805	9	1	
	8	品番	25	X	16		○	統一商品コード、ITFコード、JANコードまたはGTINコード (左詰め)				○	○	72	品番	806	X	16	
1.1	9	商品名	41	X	25		○	商品名				○	日本語区分(商品名)が 漢字 : 商品名カナ その他 : 商品名	73	商品名	822	X/N	40	
														126	商品名カナ	1116	X	25	
	10	包装区分	66	9	1		○	数量の発注単位の区分 (1:ケース発注時) (2:ボール発注時) (3:バラ発注時)	1:ケース発注 3:バラ発注 2:ボール発注		必須+コード	○	○	74	包装区分	862	9	1	
	11	内容	67	9	4	2	○	包装区分に準じた設定 (ボール内バラ数 /ボール内バラ数 /ゼロ)			属性(入)	○	○	75	ボール内バラ数	863	9	4	2
	12	ケース内ボール数	73	9	2		○	包装区分に準じた設定 (ケース内ボール数 /ゼロ /ゼロ)			属性(入)	○	○	76	ケース内ボール数	869	9	2	
	13	数量符号	75	X	1		○	数量の符号	+ : 正数 - : 負数		コード	"△" → "+" (有効明細時)	"△" → "+"	77	数量符号	871	X	1	
	14	数量	76	9	7		○	包装区分に準じた設定 (ケース数量 /ゼロ /ゼロ)			属性(入)	○	○	78	ケース数量	872	9	7	
	15	ボール数量	83	9	7		○	包装区分に準じた設定 (ゼロ /ボール数量 /ゼロ)			属性(入)	○	○	79	ボール数量	879	9	7	
	16	バラ数量	90	9	7	2	○	バラ数量			属性(入)	○	○	80	バラ数量	886	9	7	2
	17	単価	99	9	6	2	○	卸店入価格 (バラ単価、商品添付区分が1,2,3の場合はゼロ)			属性(入)	○	○	81	卸店入価格	895	9	6	2
	18	二次店納入価格	107	9	6	2	○	二次卸店等への納入価格 (バラ単価、商品添付区分が1,2,3の場合はゼロ)			属性(入)	○	○	82	二次店納入価格	903	9	6	2
	19	金額符号	115	X	1		○	金額の符号	+ : 正数 - : 負数		コード	"△" → "+" (有効明細時)	"△" → "+"	83	金額符号	911	X	1	
	20	金額	116	9	8		○	卸店入金額 (商品添付区分が1,2,3の場合はゼロ)		属性(入)	属性(入)	○	○	84	卸店入金額	912	9	8	
	21	二次店納入金額	124	9	8		○	二次卸店等への納入金額 (商品添付区分が1,2,3の場合はゼロ)		属性(入)	属性(入)	○	○	85	二次店納入金額	920	9	8	
	22	商品添付区分	132	X	1		○	添付商品扱いの区分 (相対運用)	△:売上 2:見本 1:現物添付 3:景品		コード(旧)	○	○	86	商品添付区分	928	X	1	
	23	予備1	133	X	4			新フォーマット連携エリア間のデータ連携				○	○	128	明細連携エリア	1191	X	10	
2.0	24	税率区分1	254	X	1		○	1明細目の税率区分	△/0:軽減税率 1:標準税率		コード	○	100 → "1", その他 → "△"	49	消費税率	581	9	2	1
1.9	25	税率区分2	255	X	1		○	2明細目の税率区分	△/0:軽減税率 1:標準税率		コード	○	100 → "1", その他 → "△"						
1.9	26	予備2	256	X	1			レイアウト拡張時の予備領域 (利用禁止)				○	属性初期値						

④ トレーラレコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック	V1 → V2 センタチェック	V1 ← V1 コンバート	V1 ← V2 コンバート	V2フォーマット					
														項番	項目	開始	属性	整数	小数
	1	データ種別	1	9	2		◎	2 2 : 出荷報告(直送)データ	22	共通部チェック	共通部チェック	○	"22"固定						
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(卸) の統一取引先コード		(コントロール同値、 軽症エラー)	(コントロール同値、 軽症エラー)	○	○	2	送信先コード	3	9	8	
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(メーカ) の統一取引先コード				○	○	3	送信元コード	11	9	8	
	4	レコード区分	19	9	1		◎	9 : トレーラレコード	9				○	4	レコード区分	19	9	1	
1.7	5	レコード件数	20	9	6		○	コントロールレコードとトレーラレコードで括られたレコードの総件数		属性	属性(入)	※ センター集計値	※ センター集計値	5	レコード件数	20	9	6	
	6	伝票枚数	26	9	6			伝票枚数		属性	属性(入)	※ センター集計値	※ センター集計値	6	伝票枚数	26	9	6	
	7	合計金額符号	32	X	1			合計金額の符号	+ : 正数 - : 負数		コード	"△" → "+"	"△" → "+"	7	合計金額符号	32	X	1	
	8	合計金額	33	9	10			卸店入価格で全明細行の金額合計		属性(入)	属性(入)	※ センター集計値	※ センター集計値	8	合計金額	33	9	10	
	9	予備	43	X	214			レイアウト拡張時の予備領域 (利用禁止)				○	属性初期値						
												※ 配信分割時							

◎ : システムチェック有り
○ : 業務必須

※【トレーラレコード連携時の留意事項】
・データ受信企業は、異なるフォーマット (例 : 卸様V2・EDI⇔メーカ様V1・EDI) でデータ連携する場合、「レコード件数」項目と実際のレコード件数で不一致が発生し、自社システムへ取り込めない場合があります。
・データ受信企業は、トレーラレコードの「レコード件数」項目と実際のレコード件数 (物理レコード件数) の整合性チェックを行っている場合は、整合性チェックを除外して下さい。また、データの整合性チェックが必要な場合は、「レコード件数」項目ではなく「伝票枚数」項目をご利用下さい。

スペース混在 全スペース 数値以外混在(サイン付)
属性 : 軽症エラー 軽症エラー 軽症エラー ※V1レイアウト時
重症エラー 重症エラー 重症エラー ※V2レイアウト時
属性(入) : 軽症エラー 軽症エラー 重症エラー
属性(入) : 重症エラー 正常 重症エラー
属性(入) : 正常 正常 重症エラー
V2連携時、属性9タイプのALL SPACE・ALL LOW-VALUEは、
ALL ZERO変換後、センタチェック&コンバート実施

(6) V1・33 請求 ※ 2019年10月1日の軽減税率制度実施後は、V1フォーマットは利用停止となります。

① コントロールレコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック	V1 → V2 センタチェック	V1 ← V1 コンバート	V1 ← V2 コンバート	V2フォーマット					
														項番	項目	開始	属性	整数	小数
	1	データ種別	1	9	2		◎	33: 請求データ	33	J-T	J-T	○	"33"固定						
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(卸) の統一取引先コード		センター登録	センター登録		○	2	送信先コード	3	9	8	
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(メーカ) の統一取引先コード		センター登録	センター登録		○	3	送信元コード	11	9	8	
	4	レコード区分	19	9	1		◎	1: コントロールレコード	1	J-T	J-T		○	4	レコード区分	19	9	1	
	5	データ作成日	20	9	8		○	データ作成日付 (西暦 YYYYMMDD)			必須+日付		○	5	データ作成日	20	9	8	
	6	対象期間(自)	28	9	8		○	請求データの対象期間(自) (西暦 YYYYMMDD)			日付		○	14	対象期間(自)	106	9	8	
	7	対象期間(至)	36	9	8		○	請求データの対象期間(至) (西暦 YYYYMMDD)			日付		○	15	対象期間(至)	114	9	8	
	8	請求先コード	44	9	8		○	請求先(卸) の統一取引先コード					○	16	請求先コード	122	X	13	
	9	請求元コード	52	9	8		○	請求元(メーカ) の統一取引先コード					○	17	請求元コード	135	X	13	
	10	送信先カナ名	60	X	20		○	送信先(卸) のカナ名称					○	7	送信先名	34	X	20	
	11	送信元カナ名	80	X	20		○	送信元(メーカ) のカナ名称			必須		○	8	送信元名	54	X	20	
1.1	12	請求先カナ名	100	X	20		○	請求先(卸) のカナ名称				○	日本語区分(請求先)が 漢字: 請求先カナ名 その他: 請求先名	19	請求先名	161	X/N	40	
														28	請求先カナ名	287	X	30	
1.1	13	請求元カナ名	120	X	20		○	請求元(メーカ) のカナ名称				○	日本語区分(請求元)が 漢字: 請求元カナ名 その他: 請求元名	20	請求元名	201	X/N	40	
														29	請求元カナ名	317	X	30	
	14	直接送信先コード	140	9	8			送信先と異なる場所へ送信する場合にセット。セット不要の場合"00000000" (例)総代理店		センター登録	センター登録		○	9	直接送信先コード	74	9	8	
	15	直接送信先カナ名	148	X	20			直接送信先名、セット不要の場合はスペース					○	10	直接送信先名	82	X	20	
	16	伝送区分	168	X	1		○	請求データの伝送区分	1: 全部送信 2: 違算分のみ送信		J-T		○	12	伝送区分	104	X	1	
	17	予備	169	X	88			新フォーマット連携エリア間のデータ連携					○	33	連携エリア	1181	X	20	

② 明細レコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック	V1 → V2 センタチェック	V1 ← V1 コンバート	V1 ← V2 コンバート	V2フォーマット					
														項番	項目	開始	属性	整数	小数
	1	データ種別	1	9	2		◎	33: 請求データ	33	共通部チェック	共通部チェック	○	"33"固定						
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(卸) の統一取引先コード		(コントロール同値、 軽症エリア)	(コントロール同値、 軽症エリア)		○	2	送信先コード	3	9	8	
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(メーカ) の統一取引先コード					○	3	送信元コード	11	9	8	
	4	レコード区分	19	9	1		◎	4: 明細レコード	4				○						
		明細部繰返 (118バイト × 2明細) ※明細レコードがショートブロック(レコード中1明細)の場合、ALL SPACEを設定する。																	
	5	届け先コード	20	9	8		○	届け先コード					○	GLN時、下8桁 その他、上8桁	21	届け先コード	122	X	13
	6	事業所コード	28	9	8			取引先コード					○	上8桁	18	一次店コード	83	X	13
	7	登録店区分	36	X	1		○	メーカの登録店区分	0: 登録店以外 1: 登録店		J-T		○	42	登録店区分	568	X	1	
	8	請求支払区分	37	9	2		○	請求支払区分	00: 今回分請求 20: 控除 10: 前回分請求		J-T(請求)		○	16	請求支払区分	79	9	2	
	9	店入直送区分	39	9	1		○	店(倉)入れまたは直送等の区分	1: 店入 2: 直送		J-T		○	"1"."3" → "1" その他 → "2"	8	店入直送区分	37	9	1
	10	取引コード	40	9	2		○	業界統一取引コード	11: 店入売上 41: 直送返品 12: 店入売上訂正 42: 直送返品訂正 21: 店入返品 51: 割戻し金 22: 店入返品訂正 52: 相殺 31: 直送売上 32: 直送売上訂正		J-T		○	9	取引コード	38	9	2	
	11	メーカ伝票年月日	42	9	8		○	メーカ伝票年月日 (西暦 YYYYMMDD)			日付		○	11	メーカ伝票年月日	48	9	8	
	12	メーカ伝票NO	50	9	6		○	メーカ伝票NO			属性(入)		○	7	メーカ伝票NO	29	9	8	
	13	卸伝票年月日	56	9	8		○	卸伝票年月日 (西暦 YYYYMMDD)			日付		○	10	卸伝票年月日	40	9	8	
	14	卸伝票NO	64	9	6		○	卸伝票NO			属性(入)		○	6	卸発注伝票NO	21	9	8	
	15	元伝年月日	70	9	8		○	元伝年月日 (西暦 YYYYMMDD)			日付		○	25	元伝年月日	165	9	8	
	16	元伝NO	78	9	6		○	元伝NO			属性(入)		○	26	元伝NO	173	9	8	
	17	請求金額符号	84	X	1		○	請求金額符号	+ : 正数 - : 負数				○	"△" → "+" (有効明細時)	79	請求金額符号	911	X	1
	18	請求金額	85	9	10		○	請求金額			属性(入)		○	80	請求金額	912	9	10	
	19	二次店コード	95	9	8			二次店の取引先コード					○	GLN時、下8桁 その他、上8桁	19	二次店コード	96	X	13
	20	予備	103	X	3			新フォーマット連携エリア間のデータ連携					○	125	明細連携エリア	1191	X	10	
1.1	21	届け先カナ名	106	X	30		○	届け先名					○	日本語区分(届け先)が 漢字: 届け先カナ名 その他: 届け先名	34	届け先名	323	X/N	40
														61	届け先カナ名	647	X	30	
	22	予備1	136	X	2			レイアウト拡張時の予備領域 (卸発注伝票NO 8桁化対応)					○	卸発注伝票NO上2桁	6	卸発注伝票NO	21	9	8
	23	予備2	256	X	1			レイアウト拡張時の予備領域 (利用禁止)					○	属性初期値					

③ トレーラレコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック	V1 → V2 センタチェック (コントロール同値、 軽症エラー)	V1 ← V1 コンバート	V1 ← V2 コンバート	V2フォーマット						
														項番	項目	開始	属性	整数	小数	
	1	データ種別	1	9	2		◎	33：請求データ	33				"33"固定							
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(卸) の統一取引先コード		共通部チェック	共通部チェック	○	○	2	送信先コード	3	9	8		
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(メーカ) の統一取引先コード					○	3	送信元コード	11	9	8		
	4	レコード区分	19	9	1		◎	9：トレーラレコード	9				○	4	レコード区分	19	9	1		
1.7	5	レコード件数	20	9	6		○	コントロールレコードとトレーラレコードで括られたレコードの総件数 (コントロールレコードとトレーラレコードは含まない) ・データ送信側では、自身のフォーマットのレコード件数を設定する。 ・データ受信側では、当項目と実際のレコード件数の整合性チェックには利用しない。※下記【トレーラレコード連携時の留意事項】を参照のこと		属性	属性(入)	※ センター集計値	※ センター集計値	5	レコード件数	20	9	6		
	6	伝票枚数	26	9	6			請求明細数		属性	属性(入)	※ センター集計値	※ センター集計値	6	伝票枚数	26	9	6		
	7	前回請求残高符号	32	X	1			前回請求残高符号	+：正数 -：負数			○	"△" → "+"	7	前回請求残高符号	32	X	1		
	8	前回請求残高	33	9	11			前回請求残高 (税込み金額)		属性(サ)	属性(入)	○	○	8	前回請求残高	33	9	11		
	9	今回請求金額符号	44	X	1			今回請求金額符号	+：正数 -：負数			"△" → "+"	"△" → "+"	9	今回請求金額符号	44	X	1		
	10	今回請求金額	45	9	11			今回請求金額 (税抜き金額)		属性(サ)	属性(入)	○	○	10	今回請求金額	45	9	11		
	11	請求基本控除符号	56	X	1			請求基本控除符号	+：正数 -：負数			○	"△" → "+"	11	請求基本控除符号	56	X	1		
	12	請求基本控除	57	9	11			請求基本控除		属性(サ)	属性(入)	○	○	12	請求基本控除	57	9	11		
	13	請求品種控除符号	68	X	1			請求品種控除符号	+：正数 -：負数			○	"△" → "+"	13	請求品種控除符号	68	X	1		
	14	請求品種控除	69	9	11			請求品種控除		属性(サ)	属性(入)	○	○	14	請求品種控除	69	9	11		
	15	請求機能控除符号	80	X	1			請求機能控除符号	+：正数 -：負数			○	"△" → "+"	15	請求機能控除符号	80	X	1		
	16	請求機能控除	81	9	11			請求機能控除		属性(サ)	属性(入)	○	○	16	請求機能控除	81	9	11		
	17	請求控除その他符号	92	X	1			請求控除その他符号	+：正数 -：負数			○	"△" → "+"	17	請求控除その他符号	92	X	1		
	18	請求控除その他	93	9	11			請求控除その他		属性(サ)	属性(入)	○	○	18	請求控除その他	93	9	11		
	19	請求消費税符号	104	X	1			請求消費税符号	+：正数 -：負数			○	"△" → "+"	19	請求消費税符号	104	X	1		
	20	請求消費税	105	9	10			請求消費税 (10 - 12 - 14 - 16 - 18) × 税率		属性(サ)	属性(入)	○	○	20	請求消費税	105	9	11		
	21	請求金額合計符号	115	X	1			請求金額合計符号	+：正数 -：負数			"△" → "+" ※ センター設定	"△" → "+" ※ センター設定	21	請求金額合計符号	116	X	1		
	22	請求金額合計	116	9	11			請求金額合計 (8 + 10 - 12 - 14 - 16 - 18 + 20)		属性(サ)	属性(入)	※ センター集計値	※ センター集計値	22	請求金額合計	117	9	11		
	23	予備	127	X	130			新フォーマット連携エリア間のデータ連携				○	○	40	連携エリア	1181	X	20		
												※ 配信分割時								

◎：システムチェック有り
○：業務必須

※【トレーラレコード連携時の留意事項】
・データ受信企業は、異なるフォーマット（例：卸様V2・EDI⇔メーカ様V1・EDI）でデータ連携する場合、「レコード件数」項目と実際のレコード件数で不一致が発生し、自社システムへ取り込めない場合があります。
・データ受信企業は、トレーラレコードの「レコード件数」項目と実際のレコード件数（物理レコード件数）の整合性チェックを行っている場合は、整合性チェックを除外して下さい。また、データの整合性チェックが必要な場合は、「レコード件数」項目ではなく「伝票枚数」項目をご利用下さい。

スペース混在 全スペース 数値以外混在(サイン付)
属性： 軽症エラー 軽症エラー 軽症エラー ※V1レイアウト時
重症エラー 重症エラー 重症エラー ※V2レイアウト時
属性(サ)： 軽症エラー 軽症エラー 重症エラー
属性(入)： 重症エラー 正常 重症エラー
属性(入)： 正常 正常 重症エラー

V2連携時、属性9タイプのALL SPACE・ALL LOW-VALUEは、
ALL ZERO変換後、センタチェック&コンバート実施

(7) V1・34支払 ※ 2019年10月1日の軽減税率制度実施後は、V1フォーマットは利用停止となります。

① コントロールレコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック	V1 → V2 センタチェック	V1 ← V1 コンバート	V1 ← V2 コンバート	V2フォーマット					
														項番	項目	開始	属性	整数	小数
	1	データ種別	1	9	2		◎	34:支払データ	34	ｺｰﾄﾞ	ｺｰﾄﾞ	○	"34"固定						
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(メーカ)の統一取引先コード		センター登録	センター登録		○	2	送信先コード	3	9	8	
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(卸)の統一取引先コード		センター登録	センター登録		○	3	送信元コード	11	9	8	
	4	レコード区分	19	9	1		◎	1:コントロールレコード	1	ｺｰﾄﾞ	ｺｰﾄﾞ		○	4	レコード区分	19	9	1	
	5	データ作成日	20	9	8		○	データ作成日付 (西暦 YYYYMMDD)			必須+日付		○	5	データ作成日	20	9	8	
	6	対象期間(自)	28	9	8		○	請求データの対象期間(自) (西暦 YYYYMMDD)			日付		○	14	対象期間(自)	106	9	8	
	7	対象期間(至)	36	9	8		○	請求データの対象期間(至) (西暦 YYYYMMDD)			日付		○	15	対象期間(至)	114	9	8	
	8	支払先コード	44	9	8		○	支払先(メーカ)の統一取引先コード					○	17	支払先コード	135	X	13	
	9	支払元コード	52	9	8		○	支払元(卸)の統一取引先コード					○	16	支払元コード	122	X	13	
	10	送信先カナ名	60	X	20		○	送信先(メーカ)のカナ名称					○	7	送信先名	34	X	20	
	11	送信元カナ名	80	X	20		○	送信元(卸)のカナ名称			必須		○	8	送信元名	54	X	20	
1.1	12	支払先カナ名	100	X	20		○	支払先(メーカ)のカナ名称					○	20	支払先名	201	X/N	40	
														29	支払先カナ名	317	X	30	
1.1	13	支払元カナ名	120	X	20		○	支払元(卸)のカナ名称					○	19	支払元名	161	X/N	40	
														28	支払元カナ名	287	X	30	
	14	直接送信先コード	140	9	8			送信先と異なる場所へ送信する場合にセット。セット不要の場合"00000000" (例)総代理店		センター登録	センター登録		○	9	直接送信先コード	74	9	8	
	15	直接送信先カナ名	148	X	20			直接送信先名、セット不要の場合はスペース					○	10	直接送信先名	82	X	20	
	16	伝送区分	168	X	1		○	請求データの伝送区分	1:全部送信 2:違算分のみ送信		ｺｰﾄﾞ		○	12	伝送区分	104	X	1	
	17	支払日	169	9	8			支払日付 (西暦 YYYYMMDD)			日付		○	30	支払日	347	9	8	
	18	予備	177	X	80			新フォーマット連携エリア間のデータ連携					○	33	連携エリア	1181	X	20	

② 明細レコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック	V1 → V2 センタチェック	V1 ← V1 コンバート	V1 ← V2 コンバート	V2フォーマット					
														項番	項目	開始	属性	整数	小数
	1	データ種別	1	9	2		◎	34:支払データ	34			○	"34"固定						
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(メーカ)の統一取引先コード		共通部チェック	共通部チェック		○	2	送信先コード	3	9	8	
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(卸)の統一取引先コード		(コントロール同値、 軽症I17)	(コントロール同値、 軽症I17)		○	3	送信元コード	11	9	8	
	4	レコード区分	19	9	1		◎	4:明細レコード	4				○						
	5	明細部繰返(118バイト×2明細)	※明細レコードがショートブロック(レコード中1明細)の場合、ALL SPACEを設定する。																
	5	届け先コード	20	9	8		○	届け先コード					○	21	届け先コード	122	X	13	
	6	事業所コード	28	9	8			取引先コード					○	18	一次店コード	83	X	13	
	7	登録店区分	36	X	1		○	メーカの登録店区分	0:登録店以外 1:登録店		ｺｰﾄﾞ		○	42	登録店区分	568	X	1	
	8	請求支払区分	37	9	2		○	請求データの請求支払区分	00:今回分支払 10:今回未払分		ｺｰﾄﾞ(支払)		○	84	支払区分	934	9	2	
	9	店入直送区分	39	9	1		○	請求データの店(倉)入れまたは直送等の区分	1:店入 2:直送		ｺｰﾄﾞ		○	8	店入直送区分	37	9	1	
	10	取引コード	40	9	2		○	請求データの業界統一取引コード	11:店入売上 41:直送返品 12:店入売上訂正 42:直送返品訂正 21:店入返品 51:割戻し金 22:店入返品訂正 52:相殺 31:直送売上 32:直送売上訂正		ｺｰﾄﾞ		○	9	取引コード	38	9	2	
	11	メーカ伝票年月日	42	9	8		○	請求データのメーカ伝票年月日 (西暦 YYYYMMDD)			日付		○	11	メーカ伝票年月日	48	9	8	
	12	メーカ伝票NO	50	9	6		○	請求データのメーカ伝票NO			属性(I)		○	7	メーカ伝票NO	29	9	8	
	13	卸伝票年月日	56	9	8		○	請求データの卸伝票年月日 (西暦 YYYYMMDD)			日付		○	10	卸伝票年月日	40	9	8	
	14	卸伝票NO	64	9	6		○	請求データの卸伝票NO			属性(I)		○	6	卸伝票NO	21	9	8	
	15	元伝年月日	70	9	8			請求データの元伝年月日 (西暦 YYYYMMDD)			日付		○	25	元伝年月日	165	9	8	
	16	元伝NO	78	9	6			請求データの元伝NO			属性(I)		○	26	元伝NO	173	9	8	
	17	請求金額符号	84	X	1		○	請求データの請求金額符号	+ :正数 - :負数			"△" → "+" (有効明細時)	"△" → "+"	79	請求金額符号	911	X	1	
	18	請求金額	85	9	10		○	請求データの請求金額		属性(II)	属性(I)		○	80	請求金額	912	9	10	
	19	支払金額符号	95	X	1		○	支払金額の符号	+ :正数 - :負数			"△" → "+" (有効明細時)	"△" → "+"	81	支払金額符号	922	X	1	
	20	支払金額	96	9	10		○	支払金額		属性(II)	属性(I)		○	82	支払金額	923	9	10	
1.1	21	届け先カナ名	106	X	30		○	届け先名					○	34	届け先名	323	X/N	40	
														61	届け先カナ名	647	X	30	
	22	予備1	136	X	2			レイアウト拡張時の予備領域 (卸発注伝票NO8桁化対応)					○	6	卸発注伝票NO	21	9	8	
	23	予備2	256	X	1			新フォーマット連携エリア間のデータ連携					○	64	ヘッダー連携エリア	781	X	20	

③ トレーラレコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック	V1 → V2 センタチェック (コントロール同値、 軽症エラー)	V1 ← V1 コンバート	V1 ← V2 コンバート	V2フォーマット					
														項番	項目	開始	属性	整数	小数
	1	データ種別	1	9	2		◎	34 : 支払データ	34				"34"固定						
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(メーカー) の統一取引先コード		共通部チェック	共通部チェック	○	○	2	送信先コード	3	9	8	
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(卸) の統一取引先コード					○	3	送信元コード	11	9	8	
	4	レコード区分	19	9	1		◎	9 : トレーラレコード	9				○	4	レコード区分	19	9	1	
1.7	5	レコード件数	20	9	6		○	コントロールレコードとトレーラレコードで括られたレコードの総件数 (コントロールレコードとトレーラレコードは含まない) ・データ送信側では、自身のフォーマットのレコード件数を設定する。 ・データ受信側では、当項目と実際のレコード件数の整合性チェックには利用しない。※下記【トレーラレコード連携時の留意事項】を参照のこと		属性	属性(入)	※ センター集計値	※ センター集計値	5	レコード件数	20	9	6	
	6	伝票枚数	26	9	6			支払明細数		属性	属性(入)	※ センター集計値	※ センター集計値	6	伝票枚数	26	9	6	
	7	前回請求残高符号	32	X	1			請求データの 前回請求残高符号	+ : 正数 - : 負数			○	"△" → "+"	7	前回請求残高符号	32	X	1	
	8	前回請求残高	33	9	11			請求データの 前回請求残高 (税込み金額)		属性(入)	属性(入)	○	○	8	前回請求残高	33	9	11	
	9	今回請求金額符号	44	X	1			請求データの 今回請求金額符号	+ : 正数 - : 負数			"△" → "+"	"△" → "+"	9	今回請求金額符号	44	X	1	
	10	今回請求金額	45	9	11			請求データの 今回請求金額 (税抜き金額)		属性(入)	属性(入)	○	○	10	今回請求金額	45	9	11	
	11	請求基本控除符号	56	X	1			請求データの 請求基本控除符号	+ : 正数 - : 負数			○	"△" → "+"	11	請求基本控除符号	56	X	1	
	12	請求基本控除	57	9	11			請求データの 請求基本控除		属性(入)	属性(入)	○	○	12	請求基本控除	57	9	11	
	13	請求品種控除符号	68	X	1			請求データの 請求品種控除符号	+ : 正数 - : 負数			○	"△" → "+"	13	請求品種控除符号	68	X	1	
	14	請求品種控除	69	9	11			請求データの 請求品種控除		属性(入)	属性(入)	○	○	14	請求品種控除	69	9	11	
	15	請求機能控除符号	80	X	1			請求データの 請求機能控除符号	+ : 正数 - : 負数			○	"△" → "+"	15	請求機能控除符号	80	X	1	
	16	請求機能控除	81	9	11			請求データの 請求機能控除		属性(入)	属性(入)	○	○	16	請求機能控除	81	9	11	
	17	請求控除その他符号	92	X	1			請求データの 請求控除その他符号	+ : 正数 - : 負数			○	"△" → "+"	17	請求控除その他符号	92	X	1	
	18	請求控除その他	93	9	11			請求データの 請求控除その他		属性(入)	属性(入)	○	○	18	請求控除その他	93	9	11	
	19	請求消費税符号	104	X	1			請求データの 請求消費税符号	+ : 正数 - : 負数			○	"△" → "+"	19	請求消費税符号	104	X	1	
	20	請求消費税	105	9	10			請求データの 請求消費税 (10 - 12 - 14 - 16 - 18) × 税率		属性(入)	属性(入)	○	○	20	請求消費税	105	9	11	
	21	請求金額合計符号	115	X	1			請求データの 請求金額合計符号	+ : 正数 - : 負数			"△" → "+" ※ センター設定	"△" → "+" ※ センター設定	21	請求金額合計符号	116	X	1	
	22	請求金額合計	116	9	11			請求データの 請求金額合計 (8 + 10 - 12 - 14 - 16 - 18 + 20)		属性(入)	属性(入)	※ センター集計値	※ センター集計値	22	請求金額合計	117	9	11	
	23	前回支払残高符号	127	X	1			前回支払残高符号	+ : 正数 - : 負数			○	"△" → "+"	23	前回支払残高符号	128	X	1	
	24	前回支払残高	128	9	11			前回支払残高 (税込み金額)		属性(入)	属性(入)	○	○	24	前回支払残高	129	9	11	
	25	今回支払金額符号	139	X	1			今回支払金額符号	+ : 正数 - : 負数			"△" → "+"	"△" → "+"	25	今回支払金額符号	140	X	1	
	26	今回支払金額	140	9	11			今回支払金額 (税抜き金額)		属性(入)	属性(入)	○	○	26	今回支払金額	141	9	11	
	27	支払基本控除符号	151	X	1			支払基本控除符号	+ : 正数 - : 負数			○	"△" → "+"	27	支払基本控除符号	152	X	1	
	28	支払基本控除	152	9	11			支払基本控除		属性(入)	属性(入)	○	○	28	支払基本控除	153	9	11	
	29	支払品種控除符号	163	X	1			支払品種控除符号	+ : 正数 - : 負数			○	"△" → "+"	29	支払品種控除符号	164	X	1	
	30	支払品種控除	164	9	11			支払品種控除		属性(入)	属性(入)	○	○	30	支払品種控除	165	9	11	
	31	支払機能控除符号	175	X	1			支払機能控除符号	+ : 正数 - : 負数			○	"△" → "+"	31	支払機能控除符号	176	X	1	
	32	支払機能控除	176	9	11			支払機能控除		属性(入)	属性(入)	○	○	32	支払機能控除	177	9	11	
	33	支払控除その他符号	187	X	1			支払控除その他符号	+ : 正数 - : 負数			○	"△" → "+"	33	支払控除その他符号	188	X	1	
	34	支払控除その他	188	9	11			支払控除その他		属性(入)	属性(入)	○	○	34	支払控除その他	189	9	11	
	35	支払消費税符号	199	X	1			支払消費税符号	+ : 正数 - : 負数			○	"△" → "+"	35	支払消費税符号	200	X	1	
	36	支払消費税	200	9	10			支払消費税 (26 - 28 - 30 - 32 - 34) × 税率		属性(入)	属性(入)	○	○	36	支払消費税	201	9	11	
	37	支払金額合計符号	210	X	1			支払金額合計符号	+ : 正数 - : 負数			"△" → "+" ※ センター設定	"△" → "+" ※ センター設定	37	支払金額合計符号	212	X	1	
	38	支払金額合計	211	9	11			支払金額合計 (24 + 26 - 28 - 30 - 32 - 34 + 36)		属性(入)	属性(入)	※ センター集計値	※ センター集計値	38	支払金額合計	213	9	11	
	39	振込ID	222	X	20			当面スペース				○	○	39	振込ID	224	X	20	
	40	予備	242	X	15			レイアウト拡張時の予備領域 (利用禁止)				○	属性初期値						
												※ 配信分割時							

◎ : システムチェック有り
○ : 業務必須

※【トレーラレコード連携時の留意事項】
・データ受信企業は、異なるフォーマット(例: 卸様V2・EDI⇔メーカー様V1・EDI) でデータ連携する場合、「レコード件数」項目と実際のレコード件数で不一致が発生し、自社システムへ取り込めない場合があります。
・データ受信企業は、トレーラレコードの「レコード件数」項目 と実際のレコード件数(物理レコード件数) の整合性チェックを行っている場合は、整合性チェックを除外して下さい。また、データの整合性チェックが必要な場合は、「レコード件数」項目ではなく「伝票枚数」項目をご利用下さい。

スペース混在 全スペース 数値以外混在(サイン付)
属性 : 軽症エラー 軽症エラー 軽症エラー ※V1レイアウト時
重症エラー 重症エラー 重症エラー ※V2レイアウト時
属性(入) : 軽症エラー 軽症エラー 重症エラー
属性(入) : 重症エラー 正常 重症エラー
属性(入) : 正常 正常 重症エラー
V2連携時、属性9タイプのALL SPACE・ALL LOW-VALUEは、ALL ZERO変換後、センタチェック&コンバート実施

(8) V1・4 2 販売報告

① コントロールレコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック	V1 → V2 センタチェック	V1 ← V1 コンバート	V1 ← V2 コンバート	V2フォーマット						
														項番	項目	開始	属性	整数	小数	
	1	データ種別	1	9	2		◎	4 2 : 販売報告(店出)データ	42	コード	コード	○	"42"固定							
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(メーカー)の統一取引先コード		センター登録	センター登録		○	2	送信先コード	3	9	8		
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(卸)の統一取引先コード		センター登録	センター登録		○	3	送信元コード	11	9	8		
	4	レコード区分	19	9	1		◎	1 : コントロールレコード	1	コード	コード		○	4	レコード区分	19	9	1		
	5	データ作成日	20	9	8		○	本データを作成した日付 (西暦 YYYYMMDD)			必須+日付		○	5	データ作成日	20	9	8		
	6	送信先名	28	X	20		○	送信先(メーカー)のカナ名称					○	7	送信先名	34	X	20		
	7	送信元名	48	X	20		○	送信元(卸)のカナ名称			必須		○	8	送信元名	54	X	20		
	8	直接送信先コード	68	9	8			送信先と異なる場所へ送信する場合にセット。セット不要の場合"00000000"		センター登録	センター登録		○	9	直接送信先コード	74	9	8		
	9	直接送信先カナ名	76	X	20			送信先と異なる場所へ送信する場合にセット。セット不要の場合スペース					○	10	直接送信先カナ名	82	X	20		
	10	予備	96	X	161			レイアウト拡張時の予備領域 (利用禁止)					○							

② ヘッダーレコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック	V1 → V2 センタチェック	V1 ← V1 コンバート	V1 ← V2 コンバート	V2フォーマット						
														項番	項目	開始	属性	整数	小数	
	1	データ種別	1	9	2		◎	4 2 : 販売報告(店出)データ	42			○	"42"固定							
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(メーカー)の統一取引先コード		共通部チェック (コントロール同値、 軽症17-)	共通部チェック (コントロール同値、 軽症17-)		○	2	送信先コード	3	9	8		
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(卸)の統一取引先コード					○	3	送信元コード	11	9	8		
	4	レコード区分	19	9	1		◎	2 : ヘッダーレコード	2				○							
	5	対象期日(自)	20	9	8		○	販売実績の該当年月日(開始日) (西暦 YYYYMMDD)			必須+日付		○	6	対象期日(自)	21	9	8		
	6	対象期日(至)	28	9	8		○	販売実績の該当年月日(終了日) (西暦 YYYYMMDD)			日付		○	7	対象期日(至)	29	9	8		
	7	取引コード	36	9	2		○	業界統一取引コード	11:店入売上 21:店入返品			コード	○	8	取引コード	37	9	2		
2.0	8	一次店コード	38	9	8		○	該当する統一取引先コード					○	9	一次店コード	39	X	13		
2.0	9	二次店コード	46	9	8			該当する統一取引先コード					○	10	二次店コード	52	X	13		
1.3													○							
2.0	10	届け先コード	54	9	8		○	該当する統一取引先コード 一次店、二次店と重複しても必ずセットする					○	12	届け先コード	78	X	13		
1.3													○							
1.1	11	一次店カナ名	62	X	30		○	一次店名					○	14	一次店名	104	X/N	40		
													○	31	一次店カナ名	318	X	30		
1.1	12	二次店カナ名	92	X	30			二次店名					○	15	二次店名	144	X/N	40		
													○	32	二次店カナ名	348	X	30		
1.1	13	届け先カナ名	122	X	30		○	届け先名					○	17	届け先名	224	X/N	40		
													○	33	届け先カナ名	378	X	30		
	14	税区分	152	X	1			スペースの場合はメーカー・卸企業間の個別判断とする	1:外税 2:内税				○	19	消費税区分	304	X	1		
	15	税率	153	9	2	1		消費税率 (スペースの場合はメーカー・卸企業間の個別判断とする)					○	20	消費税率	305	9	2	1	
	16	予備	156	X	101			新フォーマット連携エリア間のデータ連携					○	35	ヘッダー連携エリア	431	X	20		

③ 明細レコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック	V1 → V2 センタチェック	V1 ← V1 コンバート	V1 ← V2 コンバート	V2フォーマット						
														項番	項目	開始	属性	整数	小数	
	1	データ種別	1	9	2		◎	4 2 : 販売報告(店出)データ	42	共通部チェック	共通部チェック	○	"42"固定							
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(メーカー)の統一取引先コード		(コントロール同値、軽症エラー)	(コントロール同値、軽症エラー)		○	2	送信先コード	3	9	8		
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(卸)の統一取引先コード					○	3	送信元コード	11	9	8		
	4	レコード区分	19	9	1		◎	4 : 明細レコード	4				"4"固定							
	5	明細部繰返 (47バイト × 5明細) ※明細レコードがショートブロック(レコード中5商品未満)の場合、ALL SPACEを設定する。																		
		商品コード識別区分	20	X	1		○	品番(商品コード)の識別区分	0:統一商品コード 1:ITFコード(14桁) 2:ITFコード(拡張16桁) 3:JANコード(標準:13桁) 4:JANコード(短縮:8桁) 6:GTINコード(14桁)		必須+コード(新) "2"は連携不可	○	○	37	商品コード識別区分	454	9	1		
	6	品番	21	X	16		○	統一商品コード、ITFコード、JANコードまたはGTINコード(左詰め)				○	○	38	品番	455	X	16		
	7	バラ総数符号	37	X	1		○	バラ総数の符号	+ : 正数 - : 負数		コード	"△"→"+ "(有効明細時)	"△"→"+ "	40	バラ総数符号	511	X	1		
	8	バラ総数	38	9	9		○	ヘッダレコードの届け先への販売数量合計		属性(入)	○	○	41	バラ総数	512	9	9			
	9	単価	47	9	6	2	○	ヘッダレコードの届け先への販売単価		属性(入)	○	○	45	#N/A	#N/A	##	##	##		
	10	金額符号	55	X	1		○	金額の符号	+ : 正数 - : 負数		コード	"△"→"+ "(有効明細時)	"△"→"+ "	46	#N/A	#N/A	##	##	##	
	11	金額	56	9	10		○	ヘッダレコードの届け先への販売金額合計		属性(入)	○	○	47	金額	543	9	10			
	12	予備1	66	X	1			レイアウト拡張時の予備領域(利用禁止)				○	属性初期値							
	13	予備2	255	X	2			レイアウト拡張時の予備領域(利用禁止)				○	属性初期値							

④ トレーラレコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック	V1 → V2 センタチェック	V1 ← V1 コンバート	V1 ← V2 コンバート	V2フォーマット					
														項番	項目	開始	属性	整数	小数
	1	データ種別	1	9	2		◎	4 2 : 販売報告(店出)データ	42	共通部チェック	共通部チェック	○	"42"固定						
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(メーカー)の統一取引先コード		(コントロール同値、軽症エラー)	(コントロール同値、軽症エラー)		○	2	送信先コード	3	9	8	
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(卸)の統一取引先コード					○	3	送信元コード	11	9	8	
	4	レコード区分	19	9	1		◎	9 : トレーラレコード	9				○	4	レコード区分	19	9	1	
1.7	5	レコード件数	20	9	6		○	コントロールレコードとトレーラレコードで括られたレコードの総件数(コントロールレコードとトレーラレコードは含まない) ・データ送信側では、自身のフォーマットのレコード件数を設定する。 ・データ受信側では、当項目と実際のレコード件数の整合性チェックには利用しない。※下記【トレーラレコード連携時の留意事項】を参照のこと		属性	属性(入)	センター集計値	センター集計値	5	レコード件数	20	9	6	
	6	明細件数	26	9	6			商品明細数		属性	属性(入)	センター集計値	センター集計値	6	伝票枚数	26	9	6	
	7	合計金額符号	32	X	1			合計金額の符号	+ : 正数 - : 負数		コード	センター設定	センター設定	7	合計金額符号	32	X	1	
	8	合計金額	33	9	10			卸店入価格で全明細行の金額合計		属性(入)	属性(入)	センター集計値	センター集計値	8	合計金額	33	9	10	
	9	予備	43	X	214			レイアウト拡張時の予備領域(利用禁止)				○	属性初期値						

◎ : システムチェック有り
○ : 業務必須

※【トレーラレコード連携時の留意事項】
・データ受信企業は、異なるフォーマット(例:卸様V2・EDI⇔メーカー様V1・EDI)でデータ連携する場合、「レコード件数」項目と実際のレコード件数で不一致が発生し、自社システムへ取り込めない場合があります。
・データ受信企業は、トレーラレコードの「レコード件数」項目と実際のレコード件数(物理レコード件数)の整合性チェックを行っている場合は、整合性チェックを除外して下さい。また、データの整合性チェックが必要な場合は、「レコード件数」項目ではなく「伝票枚数」項目をご利用下さい。

スペース混在 全スペース 数値以外混在(サイン付)
属性 : 軽症エラー 軽症エラー 軽症エラー ※V1レイアウト時
 重症エラー 重症エラー 重症エラー ※V2レイアウト時
属性(入) : 軽症エラー 軽症エラー 重症エラー
属性(入) : 重症エラー 正常 重症エラー
属性(入) : 正常 正常 重症エラー

V2連携時、属性9タイプのALL SPACE・ALL LOW-VALUEは、
ALL ZERO変換後、センタチェック&コンバート実施

(9) V1.51 販促金案内・支払

① コントロールレコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須 案内 支払	項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック
	1	データ種別	1	9	2		◎	51: 販促金案内・支払データ (メーカー ⇒ 卸売業へ販促金の案内・支払を通知する)	51	コード
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(卸) の統一取引先コード		センター登録
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(メーカー) の統一取引先コード		センター登録
	4	コード区分	19	9	1		◎	1: コントロールレコード	1	コード
	5	データ作成日	20	9	8		○ ○	データ作成日付 (西暦 YYYYMMDD)		
	6	送信先カナ名	28	X	20		○ ○	送信先(卸)名 (英数カナのみ)		
	7	送信元カナ名	48	X	20		○ ○	送信元(メーカー)名 (英数カナのみ)		
	8	直接送信先コード	68	9	8			送信先と異なる場所へ送信する場合にセット。セット不要の場合"00000000"		
	9	直接送信先名	76	X	20			送信先と異なる場所へ送信する場合にセット。セット不要の場合スペース		
	10	データ区分	96	X	1		○ ○	データ区分	1:案内データ 2:支払データ	
	11	卸売業企業コード区分	97	X	1			卸売業企業コード区分	1:統一取引先(8桁) 7:卸PVコード 6:GLN(13桁) 8:メーカーPVコード	
	12	卸売業企業コード	98	X	13			卸店企業コード (13桁以内、左詰め) 統一取引先(8桁)/GLN(13桁)/プライベートコード(13桁以内)		
	13	卸売業企業名	111	X/N	30		○ ○	卸店企業社名 (英数カナは30文字、漢字は15文字)		
	14	卸売業企業名漢字区分	141	X	1			該当項目の漢字区分	△/0:英数カナ 3: JEF漢字 1: S-JIS漢字 9: その他漢字 2: IBM漢字	
	15	メーカー企業コード区分	142	X	1			メーカー企業コード区分	1:統一取引先(8桁) 7:卸PVコード 6:GLN(13桁) 8:メーカーPVコード	
	16	メーカー企業コード	143	X	13			メーカー企業コード (13桁以内、左詰め) 統一取引先(8桁)/GLN(13桁)/プライベートコード(13桁以内)		
	17	メーカー企業名	156	X/N	30		○ ○	メーカー社名 (英数カナは30文字、漢字は15文字)		
	18	メーカー企業名漢字区分	186	X	1			該当項目の漢字区分	△/0:英数カナ 3: JEF漢字 1: S-JIS漢字 9: その他漢字 2: IBM漢字	
2.0	19	支払確認期限区分	187	X	1			支払確認期限の区分	△:日付指定 1:日数指定	
2.0	20	支払確認期限日付	188	9	8			支払確認期限日付 (YYYYMMDD)		
2.0	21	支払確認期限日数	196	9	2			支払確認期限日数		
2.0	22	予備	198	X	59			レイアウト拡張時の予備領域 (利用禁止)		

② ヘッダーレコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須 案内 支払	項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック
	1	データ種別	1	9	2		◎	51: 販促金案内・支払データ (メーカー ⇒ 卸売業へ販促金の案内・支払を通知する)	51	共通部チェック
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(卸) の統一取引先コード		(コントロール同値、 軽症17)
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(メーカー) の統一取引先コード		
	4	コード区分	19	9	1		◎	2: ヘッダーレコード	2	
	5	データ区分	20	X	1		○ ○	データ区分	1:案内データ 2:支払データ	
	6	事業所/帳合先コード区分	21	X	1			事業所/帳合先コード区分	1:統一取引先(8桁) 7:卸PVコード 6:GLN(13桁) 8:メーカーPVコード △:無指定	
	7	事業所/帳合先コード	22	X	13			卸店事業所/帳合先コード (13桁以内、左詰め) 統一取引先(8桁)/GLN(13桁)/プライベートコード(13桁以内)		
	8	事業所/帳合先名	35	X/N	30		○ ○	卸店事業所/帳合先名 (英数カナは30文字、漢字は15文字、無指定時はスペース)		
	9	事業所/帳合先名漢字区分	65	X	1			該当項目の漢字区分	△/0:英数カナ 3: JEF漢字 1: S-JIS漢字 9: その他漢字 2: IBM漢字	
	10	得意先コード区分	66	X	1			得意先コード区分	1:統一取引先(8桁) 7:卸PVコード 6:GLN(13桁) 8:メーカーPVコード △:無指定	
	11	得意先コード	67	X	13			卸店得意先コード (13桁以内、左詰め) 統一取引先(8桁)/GLN(13桁)/プライベートコード(13桁以内)		
	12	得意先名	80	X/N	30		○ ○	卸店得意先名 (英数カナは30文字、漢字は15文字、無指定時はスペース)		
	13	得意先名漢字区分	110	X	1			該当項目の漢字区分	△/0:英数カナ 3: JEF漢字 1: S-JIS漢字 9: その他漢字 2: IBM漢字	
	14	届け先コード区分	111	X	1			届け先コード区分	1:統一取引先(8桁) 7:卸PVコード 6:GLN(13桁) 8:メーカーPVコード △:無指定	

(次頁に続く)

(前頁の続き)

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須		項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック
							案内	支払			
	15	届け先/店舗コード	112	X	13				届け先/店舗コード (13桁以内、左詰め) 統一取引先(8桁)/GLN(13桁)/プライベートコード(13桁以内)		
	16	届け先名/店舗名	125	X/N	30		○	○	届け先/店名 (英数カナは30文字、漢字は15文字、無指定時はスペース)		
	17	届け先名漢字区分	155	X	1				該当項目の漢字区分	△/0:英数カナ 1: S-JIS漢字 2: IBM漢字	3: JEF漢字 9: その他漢字
	18	得意先区分	156	X	1				対象となる得意先を表す	1:全店 2:地域	3:店舗 △:無指定
	19	卸売業担当者コード区分	157	X	1		-		卸売業担当者コード区分	1:統一取引先(8桁) 6:GLN(13桁)	7:卸PVコード 8:メーカPVコード △:無指定
	20	卸売業担当者コード	158	X	13		-		卸売業の営業担当者/営業担当組織コード (左詰め) 統一取引先(8桁)/GLN(13桁)/プライベートコード(13桁以内)		
	21	卸売業担当者名	171	X/N	20		-		卸売業の営業担当者名/営業担当組織名 (英数カナは20文字、漢字は10文字、無指定時はスペース)		
	22	卸売業担当者名漢字区分	191	X	1		-		該当項目の漢字区分	△/0:英数カナ 1: S-JIS漢字 2: IBM漢字	3: JEF漢字 9: その他漢字
	23	請求書No.	192	X	10		-	○	卸店からの請求書における請求番号 (英数字10桁以内、左詰め)		
	24	請求伝票番号	202	X	10		-	-	請求番号が得意先毎に設定される場合に使用する (英数字10桁以内、左詰め)		
	25	請求締日	212	X	8		-	-	卸店からの請求締最終年月日 (西暦 YYYYMMDD)		
	26	計上日	220	9	8		-	○	請求計上日 (西暦 YYYYMMDD)		
	27	請求支払返信区分	228	X	1		-		請求データに対する支払データの返信区分	1:全件返信 2:差分返信	3:追加返信 △:無指定
	28	販売促進企画番号	229	X	10				販売促進企画を提案する際の管理上の番号 (英数字10桁以内、左詰め)		
	29	予備	239	X	18				レイアウト拡張時の予備領域 (利用禁止)		

③ 明細レコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須		項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック
							案内	支払			
	1	データ種別	1	9	2			◎	5 1 : 販促金案内・支払データ (メーカ ⇒ 卸売業へ販促金の案内・支払を通知する)	51	共通部チェック (コントロール同値、 軽症エラー)
	2	送信先コード	3	9	8			◎	送信先(卸) の統一取引先コード		
	3	送信元コード	11	9	8			◎	送信元(メーカ) の統一取引先コード		
	4	コード区分	19	9	1			◎	4 : 明細レコード	4	
	5	データ区分	20	X	1		○	○	データ区分	1:案内データ	2:支払データ
	6	明細行No.	21	X	3		○	○	請求書No./請求伝票番号毎の明細行No. (001~999、999超過時は別の請求書No.とする)		属性
	7	計上No.	24	X	10		-		明細の管理番号 (英数字10桁以内、左詰め) 請求書No.・請求伝票番号と合わせて支払照合のキーとなる		
	8	対象期間 (開始日)	34	X	8				販促期間/データの計上日(自) (西暦 YYYYMMDD)		
	9	対象期間 (終了日)	42	X	8				販促期間/データの計上日(至) (西暦 YYYYMMDD、販促期間が1日の場合は同一日をセット)		
	10	特売区分	50	X	1				販促金の特売等の区分を表す	0:分類不能 1:定番 2:特売	8:その他 △:無指定
	11	商品コード使用区分	51	X	1				商品コードの使用区分	0:統一商品コード 1:ITFコード 2:JAN+荷姿コード 3:JANコード	6:GTINコード 7:メーカPVコード 8:卸PVコード △:商品特定なし
	12	商品コード	52	X	16		○	○	上記商品コード設定/プライベートコード (左詰め16桁以内、無指定時はスペース)		
	13	商品名/規格	68	X/N	40		○	○	商品名、通常30桁/規格、通常10桁 (英数カナ文字/漢字、無指定時はスペース)		
	14	商品名 (漢字区分)	108	X	1				該当項目の漢字区分	△/0:英数カナ 1: S-JIS漢字 2: IBM漢字	3: JEF漢字 9: その他漢字
	15	入数 1	109	9	3				商品のボール内バラ数 (商品特定なし: 000)		
	16	入数 2	112	9	2				商品のケース内ボール数 (商品特定なし: 00)		
	17	請求対象数量/金額単位	114	X	1		-		計上対象数量の単位を表す	0:円 1:ケース 3:バラ	5: Kg 7: g △:無指定
	18	請求計上対象数量/金額	115	9	8	2	-	○	請求の対象となる数量/金額 (小数点以下2桁)		属性
	19	請求計上計算区分	125	X	1				請求計上の計算区分を表す	0:仕入価(建値)金額換算 1:納品価金額換算 3:バラ数量換算 5:ケース数量換算 △:無指定	

(次頁に続く)

(前頁の続き)

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須		項目説明	コード	V1 → V1 センチエック	
							案内	支払				
	20	請求計上条件区分	126	X	1		○	○	請求計上の条件区分を表す	0:% 1:ケース 3:バラ	5:Kg 6:g 8:金額 △:無指定	
	21	請求計上条件	127	9	6	2	○	○	請求計上対象数量に対する条件 条件区分 = 0 (%)以外の時は金額 (小数点以下2桁)			属性
	22	符号 (請求計上金額)	135	X	1		-		請求計上金額の符号	+ :正数 - :負数	△:無指定	
	23	請求計上金額	136	9	8	2	-	○	請求金額 計算式 = (請求計上対象数量 × 請求計上条件) (小数点以下2桁)			属性(サ)
	24	請求区分	146	X	1		-		請求区分	1:通常(当月請求) 2:再請求	△:無指定	
	25	店入直送区分	147	X	1		-		店(倉)入れまたは直送等の区分	1:店入 2:直送	△:無指定	
	26	支払日	148	X	8		-		販売促進金支払日 (西暦 YYYYMMDD)			
	27	支払計上対象数量/金額単位	156	X	1		-		支払対象数量の単位を表す	0:円 1:ケース 3:バラ	5:Kg 7:g △:無指定	
	28	支払計上対象数量/金額	157	9	8	2	-	○	支払の根拠対象となる数量/金額 (小数点以下2桁)			属性
	29	支払計上条件区分	167	X	1		-	○	支払計上の条件区分を表す	0:%引 1:ケース引 3:バラ引	5:Kg引 6:g引 8:金額引 △:無指定	
	30	支払計上条件	168	9	6	2	-	○	支払計上対象数量に対する条件 条件区分 = 0 (%)以外の時は金額 (小数点以下2桁)			属性
	31	符号 (支払計上金額)	176	X	1		-		支払計上金額の符号	+ :正数 - :負数	△:無指定	
	32	支払計上金額	177	9	8	2	-	○	支払金額 支払側が照合した結果、請求額通り支払う場合は 請求計上金額をそのままセットする (小数点以下2桁)			属性(サ)
	33	支払金額計算区分	187	X	1		-		小数点以下が発生した場合の正数化する計算方法	1:切捨て 2:切上げ	3:四捨五入 △:無指定	
	34	支払消費税額	188	9	8		-		支払金額に対する消費税額			
	35	支払消費税区分	196	X	1		-		税区分	1:外税 2:内税	3:非課税 △:無指定	
	36	支払照合区分	197	X	1		-	○	請求金額に対する照合した際の照合結果を表す	0:照合支払 1:数量違い 2:条件違い 3:条件・数量違い 4:保留	5:約束無し 6:支払済み 7:別途支払済み △:無指定	
	37	決済方法	198	X	1				決済方法	1:振込 2:売掛金相殺 (メーカーから卸店への売掛金で相殺)	△:無指定	
	38	摘要コード	199	X	3				商品に紐づかない販売時等のコメントを表記する	△△△/000:コメントなし 001~030:別項 090~098:任意利用 099~999:その他		
	39	摘要1 (補足情報)	202	X	20				摘要コード内容/補足コメント (20桁以内、コメント無し時はスペース)			
	40	摘要2 (補足情報)	222	X	20				摘要コード内容/補足コメント (20桁以内、コメント無し時はスペース)			
	41	摘要1 (漢字区分)	242	X	1				該当項目の漢字区分	△/0:英数カナ 1: S-JIS漢字 2: IBM漢字	3: JEF漢字 9: その他漢字	
	42	摘要2 (漢字区分)	243	X	1				該当項目の漢字区分	△/0:英数カナ 1: S-JIS漢字 2: IBM漢字	3: JEF漢字 9: その他漢字	
	43	付加情報1 (1桁)	244	X	1				相対での設定情報 (1桁)			
	44	付加情報2 (2桁)	245	X	2				相対での設定情報 (2桁)			
	45	付加情報3 (3桁)	247	X	3				相対での設定情報 (3桁)			
1.9	46	請求消費税率	250	9	2	1	-	○	請求の消費税率(99.9%)、ゼロ:個別判断 (小数点以下1桁)			属性
1.9	47	支払消費税率	253	9	2	1	-	○	支払の消費税率(99.9%)、ゼロ:個別判断 (小数点以下1桁)			属性
1.9	48	予備	256	X	1				レイアウト拡張時の予備領域 (利用禁止)			

④ 明細オプションレコード (※任意)

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須 案内 支払	項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック
	1	データ種別	1	9	2		◎	51: 販促金案内・支払データ (メーカ ⇒ 卸売業へ販促金の案内・支払を通知する)	51	共通部チェック (コントロール同値、 軽症エラー)
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(卸) の統一取引先コード		
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(メーカ) の統一取引先コード		
	4	コード区分	19	9	1		◎	5: 明細オプションレコード	5	
	5	データ区分	20	X	1		○ ○	データ区分	1:案内データ 2:支払データ	
	6	明細行No.	21	X	3		○ ○	請求書No./請求伝票番号毎の明細行No. (001~999、999超過時は別の請求書No.とする)		
	7	計上No.	24	X	10			明細の管理番号 (英数字10桁以内、左詰め) 請求書No.・請求伝票番号と合わせて支払照合のキーとなる		
	8	摘要3 (補足)	34	X	80			適用コード内容/補足コメント (80桁以内、コメント無し時はスペース)		
	9	摘要3 (漢字区分)	114	X	1			該当項目の漢字区分	△/0:英数カナ 3: JEF漢字 1: S-JIS漢字 9: その他漢字 2: IBM漢字	
	10	付加情報4 (5桁)	115	X	5			相対での設定情報 (5桁)		
	11	付加情報5 (7桁)	120	X	7			相対での設定情報 (7桁)		
	12	付加情報6 (10桁)	127	X	10			相対での設定情報 (10桁)		
	13	付加情報7 (16桁)	137	X	16			相対での設定情報 (16桁)		
	14	付加情報8 (20桁)	153	X	20			相対での設定情報 (20桁)		
	15	予備	173	X	84			レイアウト拡張時の予備領域 (利用禁止)		

⑤ トレーラレコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須 案内 支払	項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック	
	1	データ種別	1	9	2		◎	51: 販促金案内・支払データ (メーカ ⇒ 卸売業へ販促金の案内・支払を通知する)	51	共通部チェック (コントロール同値、 軽症エラー)	
	2	送信先コード	3	9	8		◎	照会データの送信元コード			
	3	送信元コード	11	9	8		◎	ゼロ			
	4	コード区分	19	9	1		◎	9: トレーラレコード	9		
	5	データ区分	20	X	1		○ ○	データ区分	1:案内データ 2:支払データ		
	6	コード件数	21	9	6		○ ○	コントロールレコードとトレーラレコードで括られたレコードの総件数 (コントロールレコードとトレーラレコードは含まない)		属性	
1.9	7	符号 (請求金額合計)	27	X	1		-	請求金額合計の符号 ※税率別内訳の集計値	+ : 正数 △ : 無指定 - : 負数		
1.9	8	請求金額合計	28	9	9	2	-	請求金額の合計 (小数点以下2桁) ※税率別内訳の集計値		属性(サ)	
1.9	9	符号 (支払金額合計)	39	X	1		- ○	支払金額合計の符号 ※税率別内訳の集計値	+ : 正数 △ : 無指定 - : 負数		
1.9	10	支払金額合計	40	9	9	2	- ○	支払金額の合計 (小数点以下2桁) ※税率別内訳の集計値		属性(サ)	
1.9	11	符号 (支払消費税額合計)	51	X	1		- ○	支払消費税額合計の符号 ※税率別内訳の集計値	+ : 正数 △ : 無指定 - : 負数		
1.9	12	支払消費税額合計	52	9	9		- ○	支払消費税額の合計 (小数点以下2桁) ※税率別内訳の集計値		属性(サ)	
1.9	13	登録番号	61	X	14		- ○	"T" + 法人番号13桁 ※2021.10以降、税務署への申告により取得のうえ設定			
1.9	税率別内訳 (55バイト × 3明細) ※未使用ブロックはALL SPACEを設定する。										
1.9	14	請求消費税率	75	9	2	1	-	請求の消費税率(99.9%)、ゼロ:個別判断 (小数点以下1桁)		属性	
1.9	15	符号 (請求金額)	78	X	1		-	請求金額の符号	+ : 正数 △ : 無指定 - : 負数		
1.9	16	請求金額	79	9	9	2	-	請求金額 (小数点以下2桁)		属性(サ)	
1.9	17	符号 (請求消費税額)	90	X	1		-	請求消費税額の符号	+ : 正数 △ : 無指定 - : 負数		
1.9	18	請求消費税額	91	9	9		-	請求の消費税額		属性(サ)	
1.9	19	支払消費税率	100	9	2	1	- ○	支払の消費税率(99.9%)、ゼロ:個別判断 (小数点以下1桁)		属性	
1.9	20	符号 (支払金額)	103	X	1		- ○	支払金額の符号	+ : 正数 △ : 無指定 - : 負数		
1.9	21	支払金額	104	9	9	2	- ○	支払金額 (小数点以下2桁)		属性(サ)	
1.9	22	符号 (支払消費税額)	115	X	1		- ○	支払消費税額の符号	+ : 正数 △ : 無指定 - : 負数		
1.9	23	支払消費税額	116	9	9		- ○	支払の消費税額		属性(サ)	
1.9	24	予備	125	X	5			レイアウト拡張時の予備領域 (利用禁止)			
1.9	25	予備	240	X	17			レイアウト拡張時の予備領域 (利用禁止)			

◎ : システムチェック有り
○ : 業務必須

スペース混在 全スペース 数値以外混在(サイン付)
属性 : 軽症エラー 軽症エラー 軽症エラー
属性(サ) : 軽症エラー 軽症エラー 重症エラー
属性(入) : 重症エラー 正常 重症エラー

(10) V1.5 2 販促金請求

① コントロールレコード

変更	項番	項目	開始	属性	整数	小数	必須	項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック
	1	データ種別	1	9	2		◎	52: 販促金請求データ (卸売業 ⇒ メーカーへ販促金を請求する)	52	コード
	2	送信元コード	3	9	8		◎	送信先(メーカー) の統一取引先コード		センター登録
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(卸) の統一取引先コード		センター登録
	4	コード区分	19	9	1		◎	1: コントロールレコード	1	コード
	5	データ作成日	20	9	8		○	データ作成日付 (西暦 YYYYMMDD)		
	6	送信先カナ名	28	X	20		○	送信先(メーカー)名 (英数カナのみ)		
	7	送信元カナ名	48	X	20		○	送信元(卸)名 (英数カナのみ)		
	8	直接送信元コード	68	9	8			送信先と異なる場所へ送信する場合にセット。セット不要の場合"00000000"		
	9	直接送信先名	76	X	20			送信先と異なる場所へ送信する場合にセット。セット不要の場合スペース		
	10	卸売業企業コード区分	96	X	1			卸売業企業コード区分	1:統一取引先(8桁) 7:卸PVコード 6:GLN(13桁) 8:メーカーPVコード	
	11	卸売業企業コード	97	X	13			卸店企業コード (13桁以内、左詰め) 統一取引先(8桁)/GLN(13桁)/プライベートコード(13桁以内)		
	12	卸売業企業名	110	X/N	30		○	卸店企業社名 (英数カナは30文字、漢字は15文字)		
	13	卸売業企業名漢字区分	140	X	1			該当項目の漢字区分	△/0:英数カナ 3: JEF漢字 1: S-JIS漢字 9: その他漢字 2: IBM漢字	
	14	メーカー企業コード区分	141	X	1			メーカー企業コード区分	1:統一取引先(8桁) 7:卸PVコード 6:GLN(13桁) 8:メーカーPVコード	
	15	メーカー企業コード	142	X	13			メーカー企業コード (13桁以内、左詰め) 統一取引先(8桁)/GLN(13桁)/プライベートコード(13桁以内)		
	16	メーカー企業名	155	X/N	30		○	メーカー社名 (英数カナは30文字、漢字は15文字)		
	17	メーカー企業名漢字区分	185	X	1			該当項目の漢字区分	△/0:英数カナ 3: JEF漢字 1: S-JIS漢字 9: その他漢字 2: IBM漢字	
	18	予備	186	X	71			レイアウト拡張時の予備領域 (利用禁止)		

② ヘッダーレコード

変更	項番	項目	開始	属性	整数	小数	必須	項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック
	1	データ種別	1	9	2		◎	52: 販促金請求データ (卸売業 ⇒ メーカーへ販促金を請求する)	52	共通部チェック
	2	送信元コード	3	9	8		◎	送信先(メーカー) の統一取引先コード		(コントロール同値、 軽症エラー)
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(卸) の統一取引先コード		
	4	コード区分	19	9	1		◎	2: ヘッダーレコード	2	
	5	請求書No.	20	X	10		○	卸店からの請求書における請求番号 (英数字10桁以内、左詰め)		
	6	請求伝票番号	30	X	10			請求番号が得意先毎に設定される場合に使用する (英数字10桁以内、左詰め)		
	7	請求締日	40	X	8			卸店からの請求締最終年月日 (西暦 YYYYMMDD)		
	8	計上日	48	X	8		○	請求計上日 (西暦 YYYYMMDD)		
	9	入金予定日	56	X	8			入金希望予定日 (西暦 YYYYMMDD)		
	10	請求支払返信区分	64	X	1			請求データに対する支払データの返信区分	1:全件返信 △:無指定 2:差分返信	
	11	販売促進企画番号	65	X	10			販売促進企画を提案する際の管理上の番号 (英数字10桁以内、左詰め)		
	12	事業所/帳合先コード区分	75	X	1			事業所/帳合先コード区分	1:統一取引先(8桁) 7:卸PVコード 6:GLN(13桁) 8:メーカーPVコード △:無指定	
	13	事業所/帳合先コード	76	X	13			卸店事業所/帳合先コード (13桁以内、左詰め) 統一取引先(8桁)/GLN(13桁)/プライベートコード(13桁以内)		
	14	事業所/帳合先名	89	X/N	30		○	卸店事業所/帳合先名 (英数カナは30文字、漢字は15文字、無指定時はスペース)		
	15	事業所/帳合先名漢字区分	119	X	1			該当項目の漢字区分	△/0:英数カナ 3: JEF漢字 1: S-JIS漢字 9: その他漢字 2: IBM漢字	
	16	得意先コード区分	120	X	1			得意先コード区分	1:統一取引先(8桁) 7:卸PVコード 6:GLN(13桁) 8:メーカーPVコード △:無指定	
	17	得意先コード	121	X	13			卸店得意先コード (13桁以内、左詰め) 統一取引先(8桁)/GLN(13桁)/プライベートコード(13桁以内)		
	18	得意先名	134	X/N	30		○	卸店得意先名 (英数カナは30文字、漢字は15文字、無指定時はスペース)		

(次頁に続く)

(前頁の続き)

変更	項番	項目	開始	属性	整数	小数	必須	項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック
	19	得意先名漢字区分	164	X	1			該当項目の漢字区分	△/0:英数カナ 3: JEF漢字 1: S-JIS漢字 9: その他漢字 2: IBM漢字	
	20	届け先コード区分	165	X	1			届け先コード区分	1:統一取引先(8桁) 7:卸PVコード 6:GLN(13桁) 8:メーカーPVコード △:無指定	
	21	届け先/店舗コード	166	X	13			届け先/店舗コード (13桁以内、左詰め) 統一取引先(8桁)/GLN(13桁)/プライベートコード(13桁以内)		
	22	届け先名/店舗名	179	X/N	30		○	届け先/店名 (英数カナは30文字、漢字は15文字、無指定時はスペース)		
	23	届け先名漢字区分	209	X	1			該当項目の漢字区分	△/0:英数カナ 3: JEF漢字 1: S-JIS漢字 9: その他漢字 2: IBM漢字	
	24	得意先区分	210	X	1			対象となる得意先を表す	1:全店 3:店舗 2:地域 △:無指定	
	25	卸売業担当者コード区分	211	X	1			卸売業担当者コード区分	1:統一取引先(8桁) 7:卸PVコード 6:GLN(13桁) 8:メーカーPVコード △:無指定	
	26	卸売業担当者コード	212	X	13			請求元企業の営業担当者/営業担当組織コード 統一取引先(8桁)/GLN(13桁)/プライベートコード(13桁以内)		
	27	卸売業担当者名	225	X/N	20			請求元企業の営業担当者名/営業担当組織名 (英数カナは20文字、漢字は10文字、無指定時はスペース)		
	28	卸売業担当者名漢字区分	245	X	1			該当項目の漢字区分	△/0:英数カナ 3: JEF漢字 1: S-JIS漢字 9: その他漢字 2: IBM漢字	
	41	予備	246	X	11			レイアウト拡張時の予備領域 (利用禁止)		

③ 明細レコード

変更	項番	項目	開始	属性	整数	小数	必須	項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック
	1	データ種別	1	9	2		◎	52: 販促金請求データ (卸売業 ⇒ メーカーへ販促金を請求する)	52	共通部チェック
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(メーカー)の統一取引先コード		
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(卸)の統一取引先コード		
	4	コード区分	19	9	1		◎	4: 明細レコード	4	
	5	明細行No.	20	X	3		○	請求書No./請求伝票番号毎の明細行No. (001~999、999超過時は別の請求書No.とする)		属性
	6	計上No.	23	X	10			明細の管理番号 (英数字10桁以内、左詰め) 請求書No.・請求伝票番号と合わせて支払照合のキーとなる		
	7	対象期間(開始日)	33	X	8			販促期間/データの計上日(自) (西暦 YYYYMMDD)		
	8	対象期間(終了日)	41	X	8			販促期間/データの計上日(至) (西暦 YYYYMMDD、販促期間が1日の場合は同一日をセット)		
	9	特売区分	49	X	1			販促金の特売等の区分を表す	0:分類不能 8:その他 1:定番 △:無指定 2:特売	
	10	商品コード使用区分	50	X	1			商品コードの使用区分	0:統一商品コード 6:GTINコード 1:ITFコード 7:メーカーPVコード 2:JAN+荷姿コード 8:卸PVコード 3:JANコード △:商品特定なし	
	11	商品コード	51	X	16		○	上記商品コード設定/プライベートコード (左詰め16桁以内)		
	12	商品名/規格	67	X/N	40		○	商品名、通常30桁/規格、通常10桁 (英数カナ文字/漢字、無指定時はスペース)		
	13	商品名(漢字区分)	107	X	1			該当項目の漢字区分	△/0:英数カナ 3: JEF漢字 1: S-JIS漢字 9: その他漢字 2: IBM漢字	
	14	入数1	108	9	3			商品のボール内バラ数 (商品特定なし: 000)		
	15	入数2	111	9	2			商品のケース内ボール数 (商品特定なし: 00)		

(次頁に続く)

(前頁の続き)

変更	項番	項目	開始	属性	整数	小数	必須	項目説明	コード	V1 → V1 センチチェック
	16	仕入単価 (建値/卸店入単価)	113	9	6	2		卸店納入単価 (商品特定なし: 000000.00)		
	17	納入単価 (小売店納入単価)	121	9	6	2		小売店納入単価 (商品特定なし: 000000.00)		
	18	付加単価	129	9	6	2		相対での設定単価情報等 (小数点以下2桁)		
	19	数量	137	9	8			請求の対象となる数量		
	20	計上対象数量/金額単位	145	X	1			計上対象数量の単位を表す	0:円 5:Kg 1:ケース 7:g 3:バラ △:無指定	
	21	請求計上対象数量/金額	146	9	8	2	○	請求の対象となる数量/金額 (小数点以下2桁)		属性
	22	請求計上計算区分	156	X	1			請求計上の計算区分を表す	0:仕入価(建値)金額換算 1:納品価金額換算 3:バラ数量換算 5:ケース数量換算 △:無指定	
	23	請求計上条件区分	157	X	1		○	請求計上の条件区分を表す	0:% 5:Kg 1:ケース 6:g 3:バラ 8:金額 △:無指定	
	24	請求計上条件	158	9	6	2	○	請求計上対象数量に対する条件 (小数点以下2桁) 条件区分 = 0 (%)以外の時は金額		属性
	25	符号 (請求計上金額)	166	X	1			請求計上金額の符号	+ :正数 △:無指定 - :負数	
	26	請求計上金額	167	9	8	2	○	請求金額 (小数点以下2桁) 計算式 = (請求計上対象数量 × 請求計上条件)		属性(9)
	27	請求金額計算区分	177	X	1			小数点以下が発生した場合の正数化する計算方法	1:切捨て 3:四捨五入 2:切上げ △:無指定	
	28	請求区分	178	X	1			請求区分	1:通常(当月請求) △:無指定 2:再請求	
	29	店入直送区分	179	X	1			店(倉)入れまたは直送等の区分	1:店入 △:無指定 2:直送	
	30	摘要コード	180	X	3			商品に紐づかない販売時等のコメントを表記する	△△△/000:コメントなし 001~030:別項 090~098:任意利用 099~999:その他	
	31	摘要1 (補足情報)	183	X	20			摘要コード内容/補足コメント (20桁以内、コメント無し時はスペース)		
	32	摘要2 (補足情報)	203	X	20			摘要コード内容/補足コメント (20桁以内、コメント無し時はスペース)		
	33	摘要1 (漢字区分)	223	X	1			該当項目の漢字区分	△/0:英数カナ 3: JEF漢字 1: S-JIS漢字 9: その他漢字 2: IBM漢字	
	34	摘要2 (漢字区分)	224	X	1			該当項目の漢字区分	△/0:英数カナ 3: JEF漢字 1: S-JIS漢字 9: その他漢字 2: IBM漢字	
	35	付加情報1 (1桁)	225	X	1			相対での設定情報 (1桁)		
	36	付加情報2 (2桁)	226	X	2			相対での設定情報 (2桁)		
	37	付加情報3 (3桁)	228	X	3			相対での設定情報 (3桁)		
	38	付加情報4 (5桁)	231	X	5			相対での設定情報 (5桁)		
	39	付加情報5 (7桁)	236	X	7			相対での設定情報 (7桁)		
1.9	40	請求消費税率	243	9	2	1	○	消費税の税率(99.9%)、ゼロ:個別判断 (小数点以下1桁)		属性
1.9	41	予備	246	X	11			レイアウト拡張時の予備領域 (利用禁止)		

④ 明細オプションレコード (※任意)

変更	項番	項目	開始	属性	整数	小数	必須	項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック
	1	データ種別	1	9	2		◎	52: 販促金請求データ (卸売業 ⇒ メーカーへ販促金を請求する)	52	共通部チェック (コントロール同値、 軽症エラー)
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(メーカー) の統一取引先コード		
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(卸) の統一取引先コード		
	4	コード区分	19	9	1		◎	5: 明細オプションレコード	5	
	5	明細行No.	20	X	3		○	請求書No./請求伝票番号毎の明細行No. (001~999、999超過時は別の請求書Noとする)		
	6	計上No.	23	X	10			明細の管理番号 (英数字10桁以内、左詰め) 請求書No.・請求伝票番号と合わせて支払照合のキーとなる		
	7	適要3 (補足情報)	33	X	80			適用コード内容/補足コメント (80桁以内、コメント無し時はスペース)		
	8	摘要3 (漢字区分)	113	X	1			該当項目の漢字区分	△/0:英数カナ 3: JEF漢字 1: S-JIS漢字 9: その他漢字 2: IBM漢字	
	9	付加情報6 (10桁)	114	X	10			相対での設定情報 (10桁)		
	10	付加情報7 (16桁)	124	X	16			相対での設定情報 (16桁)		
	11	付加情報8 (20桁)	140	X	20			相対での設定情報 (20桁)		
	12	予備	160	X	97			レイアウト拡張時の予備領域 (利用禁止)		

⑤ トレーラレコード

変更	項番	項目	開始	属性	整数	小数	必須	項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック	
	1	データ種別	1	9	2		◎	52: 販促金請求データ (卸売業 ⇒ メーカーへ販促金を請求する)	52	共通部チェック (コントロール同値、 軽症エラー)	
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(メーカー) の統一取引先コード			
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(卸) の統一取引先コード			
	4	コード区分	19	9	1		◎	9: トレーラレコード	9		
	5	コード件数	20	9	6		○	コントロールレコードとトレーラレコードで括られたレコードの総件数 (コントロールレコードとトレーラレコードは含まない)		属性	
1.9	6	符号	26	X	1			請求金額合計の符号 ※税率別内訳の集計値	+ : 正数 △: 無指定 - : 負数		
1.9	7	請求金額合計	27	9	9	2		請求金額の合計 (小数点以下2桁) ※税率別内訳の集計値		属性(サ)	
1.9	8	登録番号	38	X	14		○	"T"+法人番号13桁 ※2021.10以降、税務署への申告により取得のうえ設定			
1.9	税率別内訳 (30バイト × 3明細) ※未使用ブロックはALL SPACEを設定する。										
1.9	9	請求消費税率	52	9	2	1	○	請求の消費税率(99.9%)、ゼロ:個別判断 (小数点以下1桁)		属性	
1.9	10	符号(請求金額)	55	X	1		○	請求金額の符号	+ : 正数 △: 無指定 - : 負数		
1.9	11	請求金額	56	9	9	2	○	請求金額 (小数点以下2桁)		属性(サ)	
1.9	12	符号(請求消費税額)	67	X	1		○	請求消費税額合計の符号	+ : 正数 △: 無指定 - : 負数		
1.9	13	請求消費税額	68	9	9		○	請求消費税額の合計		属性(サ)	
1.9	14	予備	77	X	5			レイアウト拡張時の予備領域 (利用禁止)			
1.9	15	予備	142	X	115			レイアウト拡張時の予備領域 (利用禁止)			

◎: システムチェック有り
○: 業務必須

スペース混在 全スペース 数値以外混在(サイン付)
属性 : 軽症エラー 軽症エラー 軽症エラー
属性(サ) : 軽症エラー 軽症エラー 重症エラー
属性(入) : 重症エラー 正常 重症エラー

(11) V1.6.4取引先コード照会

① コントロールレコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック
	1	データ種別	1	9	2		◎	64：取引先コード照会データ	64	コード
	2	送信先コード	3	9	8		◎	ゼロ		センター登録
	3	送信元コード	11	9	8		◎	自社取引先コード		センター登録
	4	レコード区分	19	9	1		◎	1：コントロールレコード	1	コード
	5	データ作成日	20	9	8		○	本データを作成した日付 (西暦 YYYYMMDD)		
	6	送信先名	28	X	20			スペース		
	7	送信元名	48	X	20		○	自社名 のカナ名称		
	8	予備	68	X	189			レイアウト拡張時の予備領域 (利用禁止)		

③ 明細レコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック
	1	データ種別	1	9	2		◎	64：取引先コード照会データ	64	共通部チェック
	2	送信先コード	3	9	8		◎	ゼロ		(コントロール同値、 軽症エラー)
	3	送信元コード	11	9	8		◎	自社取引先コード		
	4	レコード区分	19	9	1		◎	4：明細レコード	4	
		登録・照会情報								
	5	社名	20	X	30		○	照会対象の社名 (支店名も入力)		
	6	郵便番号	50	X	8		○	照会対象の郵便番号		
	7	住所	58	X	40			照会対象の住所		
	8	電話番号	98	X	12			照会対象の電話番号		
	9	取引先コード	110	9	8			照会対象の取引先コード (注1)		
	10	自由使用	118	X	20			任意に使用		
		登録・照会結果								
	11	社名	138	X	30			スペース		
	12	郵便番号	168	X	8			スペース		
	13	住所	176	X	40			スペース		
	14	電話番号	216	X	12			スペース		
	15	取引先コード	228	9	8			スペース		
	16	処理結果	236	9	2			"00"		
	17	予備	238	X	19			レイアウト拡張時の予備領域 (利用禁止)		
								(注1) 取引先コードでの照会を行いたい場合にセットする。(項番5,6,7,8はセット不要) 例) 受信した交換データに自社マスタ未登録の取引先コードがあった場合		

③ トレーラレコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック
	1	データ種別	1	9	2		◎	64：取引先コード照会データ	64	共通部チェック
	2	送信先コード	3	9	8		◎	ゼロ		(コントロール同値、 軽症エラー)
	3	送信元コード	11	9	8		◎	自社取引先コード		
	4	レコード区分	19	9	1		◎	9：トレーラレコード	9	
1.7	5	レコード件数	20	9	6		○	コントロールレコードとトレーラレコードで括られたレコードの総件数 (コントロールレコードとトレーラレコードは含まない) ・データ送信側では、自身のフォーマットのレコード件数を設定する。 ・データ受信側では、当項目と実際のレコード件数の整合性チェックには利用しない。※下記【トレーラレコード連携時の留意事項】を参照のこと		属性
	6	明細件数	26	9	6			照会件数		属性
	7	予備	32	X	225			レイアウト拡張時の予備領域 (利用禁止)		

◎：システムチェック有り
○：業務必須

スペース混在 全スペース 数値以外混在(サイン付)
属性：軽症エラー 軽症エラー 軽症エラー
属性(サ)：軽症エラー 軽症エラー 重症エラー
属性(入)：重症エラー 正常 重症エラー
属性(サ入)：正常 正常 重症エラー

(12) V1・67取引先コード照会結果

① コントロールレコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック
	1	データ種別	1	9	2		◎	67：取引先コード照会結果データ	67	コード
	2	送信先コード	3	9	8		◎	照会データの送信元コード		センター登録
	3	送信元コード	11	9	8		◎	ゼロ		センター登録
	4	レコード区分	19	9	1		◎	1：コントロールレコード	1	コード
	5	データ作成日	20	9	8		○	本データを作成した日付 (西暦 YYYYMMDD)		
	6	送信先名	28	X	20		○	照会データの自社名称		
	7	送信元名	48	X	20			スペース		
	8	予備	68	X	189			レイアウト拡張時の予備領域 (利用禁止)		

② 明細レコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック
	1	データ種別	1	9	2		◎	67：取引先コード照会結果データ	67	共通部チェック (コントロール同値、 軽症エラー)
	2	送信先コード	3	9	8		◎	照会データの送信元コード		
	3	送信元コード	11	9	8		◎	ゼロ		
	4	レコード区分	19	9	1		◎	4：明細レコード	4	
		登録・照会情報								
	5	社名	20	X	30		○	照会対象の社名 (支店名も入力)		
	6	郵便番号	50	X	8		○	照会対象の郵便番号		
	7	住所	58	X	40			照会対象の住所		
	8	電話番号	98	X	12			照会対象の電話番号		
	9	取引先コード	110	9	8			照会対象の取引先コード		
	10	自由使用	118	X	20			任意に使用		
		登録・照会結果								
	11	社名	138	X	30			照会時、取引先マスタの内容 (エラー時、スペース)		
	12	郵便番号	168	X	8			照会時、取引先マスタの内容 (エラー時、スペース)		
	13	住所	176	X	40			照会時、取引先マスタの内容 (エラー時、スペース)		
	14	電話番号	216	X	12			照会時、取引先マスタの内容 (エラー時、スペース)		
	15	取引先コード	228	9	8			照会時、取引先マスタの内容 (エラー時、スペース)		
	16	処理結果	236	9	2			"11":登録 "20":照会 "60"~:エラー		
	17	最終使用日付	238	9	8			該当コードの最終使用日付		
	18	予備	246	X	11			レイアウト拡張時の予備領域 (利用禁止)		

③ トレーラレコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V1 → V1 センタチェック
	1	データ種別	1	9	2		◎	67：取引先コード照会結果データ	67	共通部チェック (コントロール同値、 軽症エラー)
	2	送信先コード	3	9	8		◎	照会データの送信元コード		
	3	送信元コード	11	9	8		◎	ゼロ		
	4	レコード区分	19	9	1		◎	9：トレーラレコード	9	
1.7	5	レコード件数	20	9	6		○	コントロールレコードとトレーラレコードで括られたレコードの総件数 (コントロールレコードとトレーラレコードは含まない) ・データ送信側では、自身のフォーマットのレコード件数を設定する。 ・データ受信側では、当項目と実際のレコード件数の整合性チェックには利用しない。※下記【トレーラレコード連携時の留意事項】を参照のこと		属性
	6	明細件数	26	9	6			照会件数		属性
	7	予備	32	X	225			レイアウト拡張時の予備領域 (利用禁止)		

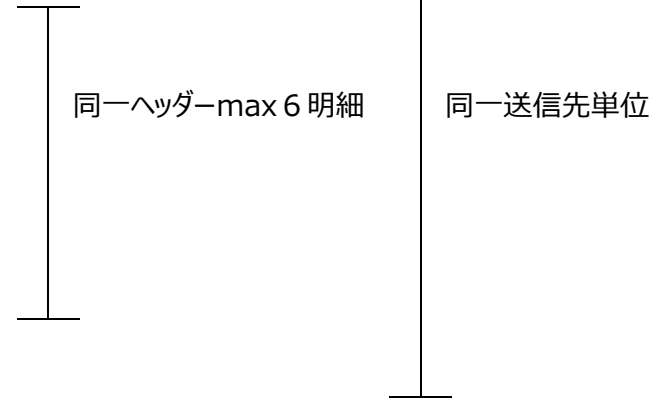
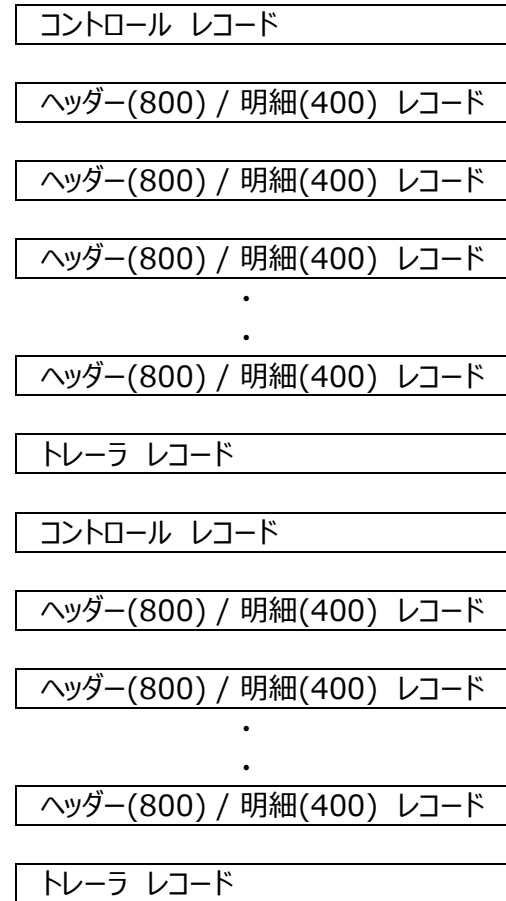
◎：システムチェック有り
○：業務必須

スペース混在 全スペース 数値以外混在(サイン付)
属性：軽症エラー 軽症エラー 軽症エラー
属性(サ)：軽症エラー 軽症エラー 重症エラー
属性(入)：重症エラー 正常 重症エラー
属性(サ入)：正常 正常 重症エラー

2. V2・EDI標準フォーマット

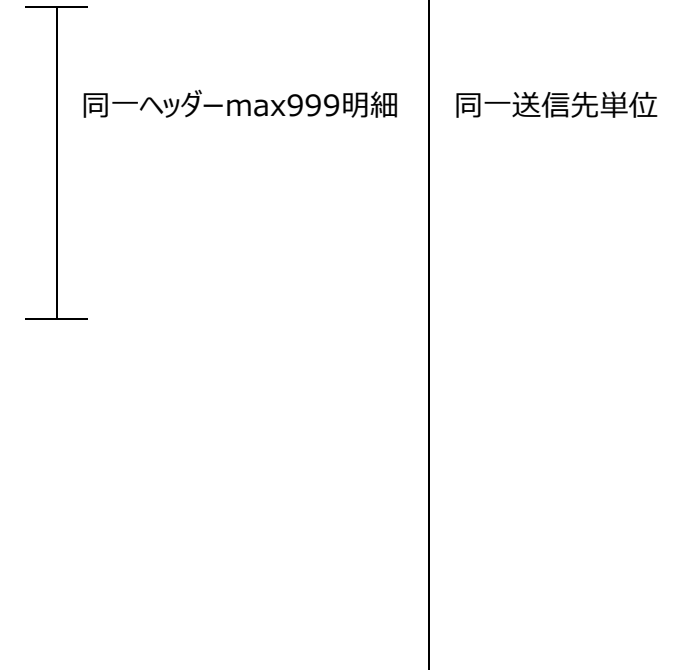
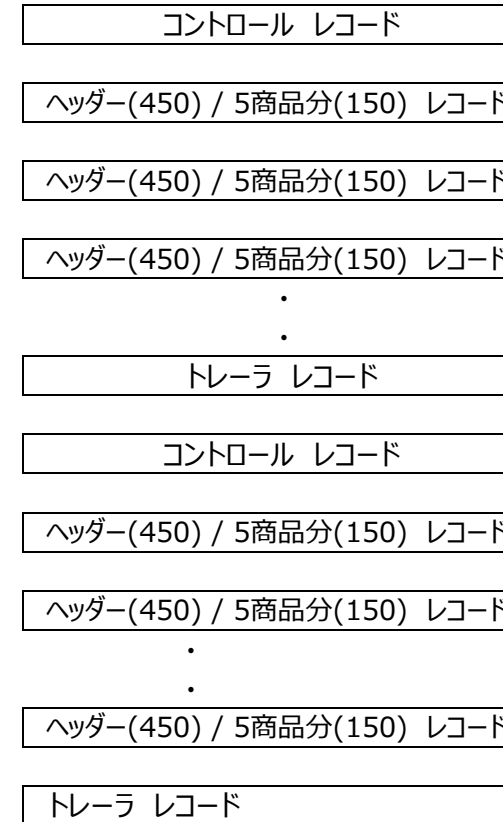
2.1 V2・レコード構成

(1) 03発注 / 13入庫予定 / 14受領 / 18返品通知 / (1,200バイト/レコード)
 23出荷報告 / 35請求明細 / 36支払明細



※ 伝票の並び : 任意

(2) 43販売報告 (1,200バイト/レコード)



※ 伝票の並び : 任意
 ※ 明細レコードがショートブロック (レコード中 5 商品未満) の場合、
 オールスペースを設定する

2. 2 V2・レコードフォーマット

(1) V2・03発注

① コントロールレコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V2 → V1・V2 センタチェック	V2 ← V2 コンバート	V2 ← V1 コンバート	V1フォーマット						
													比較・変更点	項番	項目	開始	属性	整数	小数
	1	データ種別	1	9	2		◎	03 : 発注データ	03	コード	○	"03"固定	○	コード					
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(メーカ) の統一取引先コード		センター登録	○	○		2	送信先コード	3	9	8	
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(卸) の統一取引先コード		センター登録	○	○		3	送信元コード	11	9	8	
	4	レコード区分	19	9	1		◎	1 : コントロールレコード	1	コード	○	○		4	レコード区分	19	9	1	
	5	データ作成日	20	9	8		◎	データ作成日付 (西暦 YYYYMMDD)		必須+日付	○	○		5	データ作成日	20	9	8	
	6	データ作成時刻	28	9	6			データ作成時刻 (HHMMSS)		時刻	○	属性初期値	◎						
	7	送信先名	34	X	20			送信先(メーカ)名 (英数カナのみ)			○	○		6	送信先名	28	X	20	
	8	送信元名	54	X	20		◎	送信元(卸)名 (英数カナのみ)		必須	○	○		7	送信元名	48	X	20	
	9	直接送信先コード	74	9	8			送信先コードと異なる場合にセット (通常はゼロ)		センター登録	○	○		8	直接送信先コード	68	9	8	
	10	直接送信先名	82	X	20			直接送信先名 (英数カナのみ、通常はスペース)			○	○		9	直接送信先カナ名	76	X	20	
	11	送信ファイルNO	102	9	2			同時送信時の問合せNo. (00~99)		属性	○	属性初期値	◎						
	12	予備	104	X	1077			レイアウト拡張用の予備領域 (利用禁止)			○	属性初期値							
	13	連携エリア	1181	X	20			旧フォーマット予備連携データ (新フォーマット間：相対利用可能エリア)			○	○	◎	10	予備	96	X	161	

② ヘッダー／明細レコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V2 → V1・V2 センタチェック	V2 ← V2 コンバート	V2 ← V1 コンバート	V1フォーマット							
													比較・変更点	項番	項目	開始	属性	整数	小数	
	1	データ種別	1	9	2		◎	03 : 発注データ	03	共通部チェック	○	"03"固定	○	コード						
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(メーカ) の統一取引先コード		(コントロール同値、軽症I→)	○	○		2	送信先コード	3	9	8		
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(卸) の統一取引先コード			○	○		3	送信元コード	11	9	8		
	4	レコード区分	19	9	1		◎	3 : ヘッダー／明細レコード	3		○	"3"固定	○	コード						
	5	漢字コード区分	20	X	1			センターにて漢字コード区分をセットする	1:S-JIS 2:JIS	3:JEF 4:IBM	センター設定	センター設定	◎							
	6	卸発注伝票NO	21	9	8		◎	受発注データの卸伝票No. (6桁→8桁に拡張、6桁運用の時は上2桁ゼロ埋め)		必須+属性	○	"00" + 卸伝票NO	○	桁数	5	卸伝票NO	20	9	6	
	7	店入直送区分	29	9	1		◎	店(倉)入れまたは直送等の区分	1:店入 2:直送	3:店引取 4:直送引取	必須+コード	○	○	○	コード	6	店入直送区分	26	9	1
	8	取引コード	30	9	2		◎	業界統一取引コード	11:店入売上 12:店入売上訂正 21:店入返品 22:店入返品訂正 31:直送売上 32:直送売上訂正	41:直送返品 42:直送返品訂正 51:割戻し金 52:相殺	必須+コード	○	○		7	取引コード	27	9	2	
	9	納品日／引取日	32	9	8		◎	卸店納品日／商品引取日 (西暦 YYYYMMDD)		必須+日付	○	○	○	名称	8	納品日	29	9	8	
	10	納入時間(自)	40	9	4			納入時間指定開始時間 (HHMM)		時刻	○	時刻不正 → 属性初期値		9	納入時間	37	9	4		
	11	納入時間(至)	44	9	4			納入時間指定終了時間 (HHMM)		時刻	○	属性初期値	◎							
	12	発注日	48	9	8			実際の発注データの入力日 (西暦 YYYYMMDD)		日付	○	属性初期値	◎							
	13	明細行数	56	9	2		○	伝票内明細数	00~06	コード	○	○		10	明細行数	41	9	2		
	14	一次店コード	58	X	13		◎	統一取引先コード(8桁) (後方スペース埋め)		必須	○	前話8桁+空白5桁	○	属性+桁数	11	一次店コード	43	9	8	
	15	二次店コード	71	X	13		◎	統一取引先コード(8桁) (後方スペース埋め)			○	前話8桁+空白5桁	○	属性+桁数	12	二次店コード	51	9	8	
	16	三次店コード	84	X	13			統一取引先コード(8桁)／プライベート・コード(3~8桁)／GLN(13桁) (後方スペース埋め)			○	属性初期値	◎							
	17	届け先コード	97	X	13		○	統一取引先コード(8桁) (後方スペース埋め)			○	前話8桁+空白5桁	○	属性+桁数	13	届け先コード	59	9	8	
	18	チェーン店コード	110	X	13			統一取引先コード(8桁)／プライベート・コード(3~8桁)／GLN(13桁) (後方スペース埋め)			○	属性初期値	◎							

(次頁に続く)

(前頁の続き)

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V2 → V1・V2 センタチェック	V2 ← V2 コンバート	V2 ← V1 コンバート	V1フォーマット						
													比較・変更点	項番	項目	開始	属性	整数	小数
	19	専用伝票日付	123	9	8			納品伝票が専用伝票の場合にセット (西暦 YYYYMMDD)						14	専用伝票日付	67	9	8	
	20	専用伝票NO	131	9	9			" (専用伝票No.、左ゼロ埋め)						15	専用伝票NO	75	9	9	
	21	伝票合計金額符号	140	X	1		○	伝票の合計金額の符号	△/+ :正数 - :負数					16	伝票合計金額符号	84	X	1	
	22	伝票合計金額	141	9	8		○	伝票の合計金額 (卸店入価格、1億円未満)						17	伝票合計金額	85	9	8	
	23	二次店納入合計金額符号	149	X	1			正味納入合計金額の符号	△/+ :正数 - :負数					18	二次店納入合計符号	93	X	1	
	24	二次店納入合計金額	150	9	8			正味納入合計金額 (二次店納入価格、1億円未満)						19	二次店納入合計金額	94	9	8	
	25	一次店名	158	X/N	40		○	一次店名 (英数カナは30文字、漢字は20文字)						○ 属性+桁数	20	一次店カナ名	102	X	30
	26	二次店名	198	X/N	40			二次店名 (英数カナは30文字、漢字は20文字)						○ 属性+桁数	21	二次店カナ名	132	X	30
	27	三次店名	238	X/N	40			三次店名 (英数カナは30文字、漢字は20文字)						○ 属性+桁数	22	三次店カナ名	162	X	30
	28	届け先名	278	X/N	40		○	届け先名 (英数カナは30文字、漢字は20文字)						○ 属性+桁数	22	届け先カナ名	162	X	30
	29	チェーン店名	318	X/N	40			チェーン店名 (英数カナは30文字、漢字は20文字)						○ 属性+桁数	22	チェーン店カナ名	162	X	30
	30	電話番号	358	X	15			通常は届け先の電話番号 (局番区切り(-)あり)						○ 属性+桁数	22	電話番号	162	X	30
	31	住所	373	X/N	80			通常は届け先の住所 (英数カナは60文字、漢字は40文字)						○ 属性+桁数	22	住所	162	X	30
	32	メーカコード	453	X	9		○	7桁の場合は後ろスペース (49xxxxx / 45xxxxxxx)						○ 属性+桁数	27	メーカコード	234	X	9
	33	メーカ所属組織名	462	X	10			メーカの担当所属の組織名(英数カナ)を指定、実質スペース運用が多い						○ 属性+桁数	23	メーカ所属組織名	192	X	10
	34	伝票区分	472	9	1		○	伝票発行の区分	0:菓子統一伝票 1:チェーンストア伝票(伝票Noなし) 2:専用伝票 (伝票Noあり) 3:専用伝票 (伝票Noなし) 4:チェーンストア伝票(ターアラウト型) 8:伝票レス	コード(新)				○ 属性+桁数	24	伝票区分	202	9	1
	35	定番特売区分	473	X	1		○	定番発注/特売発注の区分	0:定番 △:分類不能 1:特売	コード			"0"."1"以外 → "△"	○ 属性+桁数	25	定番特売区分	203	X	1
	36	ロット不足運賃負担区分	474	X	1			発注ロット不足になった場合の運賃負担の区分	△:無指定 2:負担なし 1:卸負担	コード				○ 属性+桁数	26	ロット不足運賃負担区分	204	X	1
	37	下請法	伝票表示区分	475	X	1		下請法関係の伝票表示の有無区分	△:表示なし 1:表示あり	コード				○ 属性+桁数	26	伝票表示区分	204	X	1
	38		伝票表示内容	476	X/N	80		下請法対応メッセージ (英数カナは60文字、漢字は40文字)						○ 属性+桁数	26	伝票表示内容	204	X	80
	39		日本語区分 (表示)	556	X	1		下請法関係の伝票表示内容の日本語区分	△/0:英数カナ 1: 漢字(S-JIS/JIS/JEF/IBM)	コード				○ 属性+桁数	26	日本語区分 (表示)	204	X	1
	40	支払期限	557	9	8			支払期限を明示する場合セットする (西暦 YYYYMMDD)						○ 属性+桁数	26	支払期限	204	9	8
	41	消費税区分	565	X	1			税区分	1:外税 3:非課税 2:内税 △:個別判断	コード				○ 属性+桁数	26	消費税区分	204	X	1
	42	消費税率	566	9	2	1		消費税率(99.9%)、ゼロ:個別判断 (小数点以下1桁)						○ 属性+桁数	26	消費税率	204	9	2
	43	摘要	569	X/N	50			伝票の摘要欄の内容 (英数カナは50文字、漢字は25文字)						○ 属性+桁数	26	摘要欄	204	X	30
	44	取引先区分 (一次店)	619	X	1			該当項目の取引先の属性区分	△:統一取引先(8桁)	コード				○ 属性+桁数	26	取引先区分 (一次店)	204	X	1
	45	取引先区分 (二次店)	620	X	1			"	△:統一取引先(8桁)	コード				○ 属性+桁数	26	取引先区分 (二次店)	204	X	1
	46	取引先区分 (三次店)	621	X	1			"	△:統一取引先(8桁) 6: GLN(13桁) 7/8:プライベートコード(卸/メカ)	コード				○ 属性+桁数	26	取引先区分 (三次店)	204	X	1
	47	取引先区分 (届け先)	622	X	1			"	△:統一取引先(8桁)	コード				○ 属性+桁数	26	取引先区分 (届け先)	204	X	1
	48	取引先区分 (チェーン店)	623	X	1			"	△:統一取引先(8桁) 6: GLN(13桁) 7/8:プライベートコード(卸/メカ)	コード				○ 属性+桁数	26	取引先区分 (チェーン店)	204	X	1
	49	日本語区分 (一次店)	624	X	1			該当項目の日本語区分	△/0:英数カナ 1: 漢字(S-JIS/JIS/JEF/IBM)	コード				○ 属性+桁数	26	日本語区分 (一次店)	204	X	1
	50	日本語区分 (二次店)	625	X	1			"		コード				○ 属性+桁数	26	日本語区分 (二次店)	204	X	1
	51	日本語区分 (三次店)	626	X	1			"		コード				○ 属性+桁数	26	日本語区分 (三次店)	204	X	1
	52	日本語区分 (届け先)	627	X	1			"		コード				○ 属性+桁数	26	日本語区分 (届け先)	204	X	1
	53	日本語区分 (チェーン店)	628	X	1			"		コード				○ 属性+桁数	26	日本語区分 (チェーン店)	204	X	1
	54	日本語区分 (住所)	629	X	1			"		コード				○ 属性+桁数	26	日本語区分 (住所)	204	X	1
	55	日本語区分 (摘要)	630	X	1			"		コード				○ 属性+桁数	26	日本語区分 (摘要)	204	X	1
1.1	56	一次店カナ名	631	X	30			一次店カナ名 (一次店名 に漢字を設定する場合、必須)						○ 属性+桁数	26	一次店カナ名	204	X	30
1.1	57	二次店カナ名	661	X	30			二次店カナ名 (二次店名 に漢字を設定する場合、必須)						○ 属性+桁数	26	二次店カナ名	204	X	30
1.1	58	届け先カナ名	691	X	30			届け先カナ名 (届け先名 に漢字を設定する場合、必須)						○ 属性+桁数	26	届け先カナ名	204	X	30
1.1	59	摘要カナ	721	X	30			摘要カナ (摘要 に漢字を設定する場合、必須)						○ 属性+桁数	26	摘要カナ	204	X	30
1.1	60	ヘッダー予備	751	X	30			レイアウト拡張用の予備領域 (利用禁止)						○ 属性+桁数	26	ヘッダー予備	204	X	30
	61	ヘッダー連携エリア	781	X	20			旧フォーマット予備連携データ (新フォーマット間: 相対利用可能エリア)						○ 属性+桁数	28	ヘッダー連携エリア	243	X	14

(次頁に続く)

(前頁の続き)

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V2 → V1・V2 センタチェック	V2 ← V2 コンバート	V2 ← V1 コンバート	V1フォーマット								
													比較・変更点	項番	項目	開始	属性	整数	小数		
		明細部 (400バイト)																			
2.0	62	明細行NO	801	9	2		◎	明細行NO	01~06	必須+コード	○	○	6行変換設定	○	名称	5	行NO	20	9	2	
	63	専用伝票行NO	803	9	2		◎	専用伝票の行No (00~99)		属性	○	○	○	○	名称	6	専用伝票行NO	22	9	2	
	64	商品コード識別区分	805	9	1		○	品番(商品コード)の識別区分	0:統一商品コード 1:ITFコード(14桁) 2:ITFコード(16桁)【利用停止化】 3:JANコード (標準:13桁) 4:JANコード (短縮:8桁) 6:GTINコード (14桁)	コード(新)	○	○	○	○	属性+コード 2:利用停止	7	商品コード識別区分	24	X	1	
	65	品番	806	X	16		○	統一商品コード、ITFコード、JANコード、GTINコード (左詰め)			○	○	○	○	ITF(16) 利用停止	8	品番	25	X	16	
	66	商品名	822	X/N	40		○	商品名 (英数カナは25文字、漢字は20文字)			○	○	○	○	属性+桁数	9	商品名	41	X	25	
	67	包装区分	862	9	1		○	数量の発注単位区分 (1:ケース発注時) (2:ボール発注時) (3:バラ発注時)	1:ケース発注 3:バラ発注 2:ボール発注	必須+コード	○	○	不正コード値 → "1"	○		10	包装区分	66	9	1	
	68	内容	863	9	4	2	○	包装区分に準じた設定 (ボール内バラ数 /ボール内バラ数 /ゼロ)		属性	○	○	○	○		11	ボール内バラ数	67	9	4	2
	69	ケース内ボール数	869	9	2		○	包装区分に準じた設定 (ケース内ボール数 /ゼロ /ゼロ)		属性	○	○	○	○		12	ケース内ボール数	73	9	2	
	70	数量符号	871	X	1		○	数量の符号	△/+ :正数 - :負数	コード	○	○	○	○	コード	13	数量符号	75	X	1	
	71	数量	872	9	7		○	包装区分に準じた設定 (ケース数量 /ゼロ /ゼロ)		属性	○	○	○	○		14	ケース数量	76	9	7	
	72	ボール数量	879	9	7		○	包装区分に準じた設定 (ゼロ /ボール数量 /ゼロ)		属性	○	○	○	○		15	ボール数量	83	9	7	
	73	バラ数量	886	9	7	2	○	包装区分に準じた設定 (バラ換算数量 /バラ換算数量 バラ発注数量)		属性	○	○	○	○		16	バラ数量	90	9	7	2
	74	単価	895	9	6	2	○	卸店入価格 (バラ単価)		属性	○	○	○	○		17	卸店入価格	99	9	6	2
	75	二次店納入価格	903	9	6	2	○	二次卸店等への納入価格 (バラ単価)		属性	○	○	○	○		18	二次店納入価格	107	9	6	2
	76	金額符号	911	X	1		○	金額の符号	△/+ :正数 - :負数	コード	○	○	○	○	コード	19	金額符号	115	X	1	
	77	金額	912	9	8		○	卸店入金額		属性	○	○	○	○		20	卸店入金額	116	9	8	
	78	二次店納入金額	920	9	8		○	二次卸店等への納入金額		属性	○	○	○	○		21	二次店納入金額	124	9	8	
	79	商品添付区分	928	X	1			添付商品扱いの区分 (相対運用)	△:通常商品 1:添付商品	コード(新)	○	○	属性初期値	◎							
	80	入荷単位ケース数	929	9	2			荷合せ品の場合の1梱包ケース数を指定する	00~20	コード	○	○	属性初期値	◎							
	81	卸発注行番号	931	9	2			卸売業での発注伝票行NO (00~99)		属性	○	○	属性初期値	◎							
	82	納入単価表示区分	933	X	1			在庫型センター納入時に、単価/金額を表示したくない時	△:表示 1:非表示	コード	○	○	属性初期値	◎							
	83	卸最新在庫日付区分	934	X	1			卸最新在庫日付の日付区分	△:未使用 2:賞味期限 1:製造日	コード	○	○	属性初期値	◎							
	84	卸最新在庫日付	935	9	8			賞味期限/製造日 (西暦 YYYYMMDD、賞味年月表示は月末最終日)		日付	○	○	日付不正 → 属性初期値 &当該内容を摘要に設定	○	属性+桁数	22	卸最新在庫日付	132	X	5	
	85	入庫許容日付区分	943	X	1			入庫許容日付の日付区分	△:未使用 2:賞味期限 1:製造日	コード	○	○	属性初期値	◎							
	86	入庫許容日付	944	9	8			賞味期限/製造日 (西暦 YYYYMMDD、賞味年月表示は月末最終日)		日付	○	○	属性初期値	◎							
	87	温度管理区分	952	X	1			該当商品の温度帯管理区	△/0:常温 3:冷蔵(10℃以下) 1:28℃以下 4:冷凍(-15℃ 2:20℃以下 以下)	コード	○	○	属性初期値	◎							
	88	摘要	953	X/N	50			任意使用 (英数カナは50文字、漢字は25文字)			○	○	卸最新在庫日付参照	◎							
	89	日本語区分 (商品名)	1003	X	1			該当項目の日本語区分	△/0:英数カナ 1:漢字(S-JIS/JIS/JEF/IBM)	コード	○	○	属性初期値	◎							
	90	日本語区分 (摘要)	1004	X	1			"	"	コード	○	○	属性初期値	◎							
	91	菓子業界商品分類コード	1005	X	6			菓子業界の新商品分類コード (JICFSの機能分類コードとして登録)			○	○	属性初期値	◎							
1.1	92	商品名カナ	1011	X	25			商品名カナ (商品名に漢字を設定する場合、必須)			○	○	属性初期値	◎							
1.1	93	明細予備	1036	X	155			レイアウト拡張用の予備領域 (利用禁止)			○	○	属性初期値	◎							
	94	明細連携エリア	1191	X	10			旧フォーマット予備連携データ (新フォーマット間:相対利用可能エリア)			○	○	○	◎		23	予備2	254	X	3	

③ トレーラレコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V2 → V1・V2 センタチェック	V2 ← V2 コンバート	V2 ← V1 コンバート	V1フォーマット								
													比較・変更点	項番	項目	開始	属性	整数	小数		
	1	データ種別	1	9	2		◎	03:発注データ	03	共通部チェック (コントロール同値、 軽症エラー)	○	○	"03"固定	○	コード						
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(メーカー)の統一取引先コード			○	○	○	○		2	送信先コード	3	9	8	
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(卸)の統一取引先コード			○	○	○	○		3	送信元コード	11	9	8	
	4	レコード区分	19	9	1		◎	9:トレーラレコード	9		○	○	○	○		4	レコード区分	19	9	1	
1.7	5	レコード件数	20	9	6		○	レコードの総件数 ・データ送信側では、自身のフォーマットのレコード件数を設定する。 ・データ受信側では、当項目と実際のレコード件数の整合性チェックには利用しない。※下記【トレーラレコード連携時の留意事項】を参照のこと		属性	◎	センター集計値	◎	センター集計値		5	レコード件数	20	9	6	
	6	伝票枚数	26	9	6			伝票枚数		属性	◎	センター集計値	◎	センター集計値		6	伝票枚数	26	9	6	
	7	合計金額符号	32	X	1			合計金額の符号	△/+ :正数 - :負数	コード	◎	センター設定	◎	センター設定	○	コード	7	合計金額符号	32	X	1
	8	合計金額	33	9	10			卸店入金額の全明細行の金額合計		属性	◎	センター集計値	◎	センター集計値		8	合計金額	33	9	10	
	9	予備	43	X	1138			レイアウト拡張用の予備領域 (利用禁止)			○	○	属性初期値								
	10	連携エリア	1181	X	20			新フォーマット間:相対利用可能エリア			○	○	属性初期値	◎							
											◎	配信分割時									

◎:システムチェック有り
○:業務必須

※【トレーラレコード連携時の留意事項】
・データ受信企業は、異なるフォーマット (例:卸様V2・EDI⇔メーカー様V1・EDI) でデータ連携する場合、「レコード件数」項目と実際のレコード件数で不一致が発生し、自社システムへ取り込めない場合があります。
・データ受信企業は、トレーラレコードの「レコード件数」項目と実際のレコード件数 (物理レコード件数) の整合性チェックを行っている場合は、整合性チェックを除外して下さい。また、データの整合性チェックが必要な場合は、「レコード件数」項目ではなく「伝票枚数」項目をご利用下さい。

スペース混在 全スペース 数値以外混在(サイン付)
属性 : 軽症エラー 軽症エラー 軽症エラー ※V1レイアウト時
 重症エラー 重症エラー 重症エラー ※V2レイアウト時
属性(サ) : 軽症エラー 軽症エラー 重症エラー
属性(入) : 重症エラー 正常 重症エラー
属性(出) : 正常 正常 重症エラー

(2) V2・13 入庫予定

① コントロールレコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V2 → V1・V2 センタチェック	V2 ← V2 コンバート	V2 ← V1 コンバート	V1フォーマット						
													比較・変更点	項番	項目	開始	属性	整数	小数
	1	データ種別	1	9	2		◎	13：入庫予定データ	13	コード	○	"13"固定	○	コード					
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(卸)の統一取引先コード		センター登録	○	○		2	送信先コード	3	9	8	
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(メーカ)の統一取引先コード		センター登録	○	○		3	送信元コード	11	9	8	
	4	レコード区分	19	9	1		◎	1：コントロールレコード	1	コード	○	○		4	レコード区分	19	9	1	
	5	データ作成日	20	9	8		◎	データ作成日付 (西暦 YYYYMMDD)		必須+日付	○	○		5	データ作成日	20	9	8	
	6	データ作成時刻	28	9	6			データ作成時刻 (HHMMSS)		時刻	○	属性初期値	◎						
	7	送信先名	34	X	20		○	送信元(卸)名 (英数カナのみ)			○	○		6	送信先名	28	X	20	
	8	送信元名	54	X	20		◎	送信先(メーカ)名 (英数カナのみ)		必須	○	○		7	送信元名	48	X	20	
	9	直接送信先コード	74	9	8			送信先コードと異なる場合にセット (通常はゼロ)		センター登録	○	○		8	直接送信先コード	68	9	8	
	10	直接送信先名	82	X	20			直接送信先名 (英数カナのみ、通常はスペース)			○	○		9	直接送信先カナ名	76	X	20	
	11	送信ファイルNO	102	9	2			同時送信時の問合せNo. (00~99)		属性	○	属性初期値	◎						
	12	予備	104	X	1077			レイアウト拡張用の予備領域 (利用禁止)			○	属性初期値							
	13	連携エリア	1181	X	20			新フォーマット間：相対利用可能エリア			○	属性初期値	◎						

② ヘッダー/明細レコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V2 → V1・V2 センタチェック	V2 ← V2 コンバート	V2 ← V1 コンバート	V1フォーマット						
													比較・変更点	項番	項目	開始	属性	整数	小数
	1	データ種別	1	9	2		◎	13：入庫予定データ	13	共通部チェック	○	"13"固定	○	コード					
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(卸)の統一取引先コード		(コントロール同値、軽症エラー)	○	○		2	送信先コード	3	9	8	
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(メーカ)の統一取引先コード			○	○		3	送信元コード	11	9	8	
	4	レコード区分	19	9	1		◎	3：ヘッダー/明細レコード	3		○	"3"固定	○	コード					
	5	漢字コード区分	20	X	1			センターにて漢字コード区分をセットする	1:S-JIS 2:JIS	3:JEF 4:IBM	センター設定	センター設定	◎						
	6	卸発注伝票NO	21	9	8		○	受発注データの卸伝票No. (6桁→8桁に拡張、6桁運用の時は上2桁ゼロ埋め)		属性	○	予備上2桁(不正時"00") +卸伝票NO	○	桁数	21	予備	157	X	100
	5	卸伝票NO												5	卸伝票NO	20	9	6	
	7	メーカ伝票NO	29	9	8			メーカ発行伝票No. (6桁→8桁に拡張、6桁運用の時は上2桁ゼロ埋め)		属性	○	○	○	桁数	6	メーカ伝票NO	26	9	6
	8	店入直送区分	37	9	1		◎	店(倉)入れまたは直送等の区分	1:店入 (2:直送)	3:店引取 (4:直送引取)	必須+コード	○	"1"固定	◎					
	9	取引コード	38	9	2		◎	業界統一取引コード	11:店入売上 12:店入売上訂正 21:店入返品 22:店入返品訂正 31:直送売上 32:直送売上訂正	41:直送返品 42:直送返品訂正 51:割戻し金 52:相殺	必須+コード	○	○	8	取引コード	38	9	2	
	10	納品日	40	9	8		○	発注伝票の納品日 (西暦 YYYYMMDD)		日付	○	○		9	納品日	40	9	8	
	11	出荷日	48	9	8		○	実出荷日 (西暦 YYYYMMDD)		日付	○	○		10	出荷日	48	9	8	
	12	着荷日	56	9	8		○	納品予定日 (西暦 YYYYMMDD)		日付	○	○		11	着荷日	56	9	8	
	13	納入予定時間	64	9	4			納入予定時間 (HHMM)		時刻	○	○	○	名称	12	納入時間	64	9	4
	14	倉庫コード	68	X	4			メーカの出荷倉庫を識別 (相対協議)			○	属性初期値	◎						
	15	伝送区分	72	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎						
	16	出荷報告以外区分	73	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎						
	17	集計明細区分	74	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎						
	18	請求締日	75	9	8			(未使用)			○	属性初期値	◎						
	19	請求口座	83	X	10			(未使用)			○	属性初期値	◎						
	20	請求支払区分	93	9	2			(未使用)			○	属性初期値	◎						
	21	明細行数	95	9	2		○	伝票内明細数	00~06	コード	○	○		13	明細行数	68	9	2	
	22	一次店コード	97	X	13		◎	統一取引先コード(8桁) (後方スペース埋め)		必須	○	届け先コード	◎						
	23	二次店コード	110	X	13			統一取引先コード(8桁)/プライベート・コード(3~8桁)/GLN(13桁) (後方スペース埋め)			○	属性初期値	◎						
	24	三次店コード	123	X	13			統一取引先コード(8桁)/プライベート・コード(3~8桁)/GLN(13桁) (後方スペース埋め)			○	属性初期値	◎						
	25	届け先コード	136	X	13		○	統一取引先コード(8桁)/プライベート・コード(3~8桁)/GLN(13桁) (後方スペース埋め)			○	前詰8桁+空白5桁	◎	属性+桁数	14	届け先コード	70	9	8
	26	チェーン店コード	149	X	13			統一取引先コード(8桁)/プライベート・コード(3~8桁)/GLN(13桁) (後方スペース埋め)			○	属性初期値	◎						

(次頁に続く)

(前頁の続き)

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V2 → V1・V2 センチチェック	V2 ← V2 コンバート	V2 ← V1 コンバート	V1フォーマット							
													比較・変更点	項番	項目	開始	属性	整数	小数	
	27	専用伝票日付	162	9	8			(未使用)			○	属性初期値	◎							
	28	専用伝票NO	170	9	9			(未使用)			○	属性初期値	◎							
	29	元伝年月日	179	9	8			(未使用)			○	属性初期値	◎							
	30	元伝NO	187	9	8			(未使用)			○	属性初期値	◎							
	31	伝票合計金額符号	195	X	1		○	伝票の合計金額の符号	△/+ :正数 - :負数	ｺｰﾄﾞ	○	○	○	桁数	7	元伝NO	32	9	6	
	32	伝票合計金額	196	9	8		○	伝票の合計金額 (卸店入価格、1億円未満)		属性	○	○	○			16 伝票合計金額符号	108	X	1	
	33	二次店納入合計金額符号	204	X	1			正味納入合計金額の符号	△/+ :正数 - :負数	ｺｰﾄﾞ	○	属性初期値	◎			17 伝票合計金額	109	9	8	
	34	二次店納入合計金額	205	9	8			正味納入合計金額 (二次店納入価格、1億円未満)		属性	○	属性初期値	◎							
	35	一次店名	213	X/N	40			一次店名 (英数カナは30文字、漢字は20文字)			○	属性初期値	◎							
	36	二次店名	253	X/N	40			二次店名 (英数カナは30文字、漢字は20文字)			○	属性初期値	◎							
	37	三次店名	293	X/N	40			三次店名 (英数カナは30文字、漢字は20文字)			○	属性初期値	◎							
	38	届け先名	333	X/N	40		○	届け先名 (英数カナは30文字、漢字は20文字)			○	○	○	属性 + 桁数	15	届け先カナ名	78	X	30	
	39	チェーン店名	373	X/N	40			チェーン店名 (英数カナは30文字、漢字は20文字)			○	属性初期値	◎							
	40	電話番号	413	X	15			通常は届け先の電話番号 (局番区切り(-)あり)			○	属性初期値	◎							
	41	住所	428	X/N	80			通常は届け先の住所 (英数カナは60文字、漢字は40文字)			○	属性初期値	◎							
	42	摘要	508	X/N	50			伝票の摘要欄の内容 (英数カナは50文字、漢字は25文字)			○	○	○	属性 + 桁数	19	摘要欄	118	X	30	
	43	メーカコード	558	X	9		○	7桁の場合は後ろスペース (49xxxxx / 45xxxxxxx)			○	○	○		20	メーカコード	148	X	9	
	44	メーカ所属組織名	567	X	10			(未使用)			○	属性初期値	◎							
	45	伝票区分	577	9	1			(未使用)			○	属性初期値	◎							
	46	登録店区分	578	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎							
	47	定番特売区分	579	X	1		○	定番発注/特売発注の区分	0:定番 1:特売	△:分類不能	ｺｰﾄﾞ	○	"0"."1"以外 → "△"	○	ｺｰﾄﾞ	18	定番特売区分	117	X	1
	48	消費税区分	580	X	1			税区分	1:外税 2:内税	3:非課税 △:個別判断	ｺｰﾄﾞ	○	属性初期値	◎						
	49	消費税率	581	9	2	1		消費税の税率(99.9%)、ゼロ:個別判断 (小数点以下1桁)			属性	○	属性初期値	◎						
	50	ロット不足運賃負担区分	584	X	1			発注ロット不足になった場合の運賃負担の区分	△:無指定 1:卸負担	2:負担なし	ｺｰﾄﾞ	○	属性初期値	◎						
	51	取引先区分 (一次店)	585	X	1			該当項目の取引先の属性区分	△:統一取引先(8桁)		ｺｰﾄﾞ	○	属性初期値	◎						
	52	取引先区分 (二次店)	586	X	1			"	△: 統一取引先(8桁) 6: GLN(13桁) 7/8:プライベートコード(卸/メカ)		ｺｰﾄﾞ	○	属性初期値	◎						
	53	取引先区分 (三次店)	587	X	1			"	"		ｺｰﾄﾞ	○	属性初期値	◎						
1.3	54	取引先区分 (届け先)	588	X	1			"	"		ｺｰﾄﾞ	○	属性初期値	◎						
	55	取引先区分 (チェーン店)	589	X	1			"	"		ｺｰﾄﾞ	○	属性初期値	◎						
	56	日本語区分 (一次店)	590	X	1			該当項目の日本語区分	△/0:英数カナ 1: 漢字(S-JIS/JIS/JEF/IBM)		ｺｰﾄﾞ	○	属性初期値	◎						
	57	日本語区分 (二次店)	591	X	1			"	"		ｺｰﾄﾞ	○	属性初期値	◎						
	58	日本語区分 (三次店)	592	X	1			"	"		ｺｰﾄﾞ	○	属性初期値	◎						
	59	日本語区分 (届け先)	593	X	1			"	"		ｺｰﾄﾞ	○	属性初期値	◎						
	60	日本語区分 (チェーン店)	594	X	1			"	"		ｺｰﾄﾞ	○	属性初期値	◎						
	61	日本語区分 (住所)	595	X	1			"	"		ｺｰﾄﾞ	○	属性初期値	◎						
	62	日本語区分 (摘要)	596	X	1			"	"		ｺｰﾄﾞ	○	属性初期値	◎						
1.1	63	一次店カナ名	597	X	30			一次店カナ名 (一次店名 に漢字を設定する場合、必須)			○	属性初期値	◎							
1.1	64	二次店カナ名	627	X	30			二次店カナ名 (二次店名 に漢字を設定する場合、必須)			○	属性初期値	◎							
1.1	65	届け先カナ名	657	X	30			届け先カナ名 (届け先名 に漢字を設定する場合、必須)			○	属性初期値	◎							
1.1	66	摘要カナ	687	X	30			摘要カナ (摘要 に漢字を設定する場合、必須)			○	属性初期値	◎							
1.1	67	ヘッダー予備	717	X	64			レイアウト拡張用の予備領域 (利用禁止)			○	属性初期値	◎							
	68	ヘッダー連携エリア	781	X	20			新フォーマット間: 相対利用可能エリア			○	属性初期値	◎							

(次頁に続く)

(前頁の続き)

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V2 → V1・V2 センタチェック	V2 ← V2 コンバート	V2 ← V1 コンバート	V1フォーマット							
													比較・変更点	項番	項目	開始	属性	整数	小数	
		明細部 (400バイト)																		
2.0	69	明細行NO	801	9	2		◎	明細行NO	01~06	必須+コード	○	6行変換設定	○ 名称	5	行NO	20	9	2		
	70	専用伝票行NO	803	9	2			専用伝票の行No. (00~99)		属性	○	属性初期値	◎							
	71	商品コード識別区分	805	9	1		○	品番(商品コード)の識別区分	0:統一商品コード 1:ITFコード(14桁) 2:ITFコード(16桁)【利用停止化】 3:JANコード (標準:13桁) 4:JANコード (短縮:8桁) 6:GTINコード (14桁)	コード(新)	○	○	○ 属性+コード 2:利用停止	6	商品コード識別区分	22	X	1		
	72	品番	806	X	16		○	統一商品コード、ITFコード、JANコード、GTINコード (左詰め)			○	○	○ ITF(16) 利用停止	7	品番	23	X	16		
	73	商品名	822	X/N	40		○	商品名 (英数カナは25文字、漢字は20文字)			○	○	○ 属性+桁数	8	商品名	39	X	25		
	74	包装区分	862	9	1		◎	数量の発注単位の区分 (1:ケース発注時) (2:ボール発注時) (3:バラ発注時)	1:ケース発注 3:バラ発注 2:ボール発注	必須+コード	○	不正コード値 → "1"		9	包装区分	64	9	1		
	75	内容	863	9	4	2	○	包装区分に準じた設定 (ボール内バラ数 /ボール内バラ数 /ゼロ)		属性	○	○		10	ボール内バラ数	65	9	4	2	
	76	ケース内ボール数	869	9	2		○	包装区分に準じた設定 (ケース内ボール数 /ゼロ /ゼロ)		属性	○	○		11	ケース内ボール数	71	9	2		
	77	数量符号	871	X	1		○	数量の符号	△/+ :正数 - :負数	コード	○	○	○ コード	12	数量符号	73	X	1		
	78	数量	872	9	7		○	包装区分に準じた設定 (ケース数量 /ゼロ /ゼロ)		属性	○	○		13	ケース数量	74	9	7		
	79	ボール数量	879	9	7		○	包装区分に準じた設定 (ゼロ /ボール数量 /ゼロ)		属性	○	○		14	ボール数量	81	9	7		
	80	バラ数量	886	9	7	2	○	包装区分に準じた設定 (バラ数量 /バラ数量 /バラ数量)		属性	○	○		15	バラ数量	88	9	7	2	
	81	単価	895	9	6	2	○	卸店入価格 (バラ単価)		属性	○	○		16	卸店入価格	97	9	6	2	
	82	二次店納入価格	903	9	6	2	○	二次卸店等への納入価格 (バラ単価)		属性	○	○		17	二次店納入価格	105	9	6	2	
	83	金額符号	911	X	1		○	金額の符号	△/+ :正数 - :負数	コード	○	○	○ コード	18	金額符号	113	X	1		
	84	金額	912	9	8		○	卸店入金額		属性	○	○		19	卸店入金額	114	9	8		
	85	二次店納入金額	920	9	8		○	二次卸店等への納入金額		属性	○	○		20	二次店納入金額	122	9	8		
	86	商品添付区分	928	X	1		○	添付商品扱いの区分 (相対運用)	△:売上げ 2:見本 1:現物添付 3:景品	コード(新)	○	"0" → "△"		22	商品添付区分	131	X	1		
	87	欠品区分	929	9	2		○	商品の出荷状況を指定	00:正常 03:未発売 01:品切れ 04:コード訂正 02:終売	コード(新)	○	"△" → "00"、 その他、前セリ埋め	○ 桁数	21	欠品区分	130	9	1		
	88	入荷単位ケース数	931	9	2			荷合せ品の場合の1梱包ケース数を指定する	00~20	コード	○	属性初期値	◎							
	89	単価計算区分	933	X	1			単価×数量の計算方法を指定する (小数点以下端数の計算処理方法)	△:切捨て 2:四捨五入 1:切上げ	コード	○	属性初期値	◎							
	90	卸発注行番号	934	9	2			卸売業での発注伝票行NO (00~99)		属性	○	属性初期値	◎							
	91	卸最新在庫日付区分	936	X	1			卸最新在庫日付の日付区分	△:未使用 2:賞味期限 1:製造日	コード	○	属性初期値	◎							
1.8	92	卸最新在庫日付	937	9	8			賞味期限/製造日(YYYYMMDD) (賞味年月表示は月末最終日)		日付	○	属性初期値	◎							
	93	入庫許容日付区分	945	X	1			入庫許容日付の日付区分	△:未使用 2:賞味期限 1:製造日	コード	○	属性初期値	◎							
	94	入庫許容日付	946	9	8			賞味期限/製造日(YYYYMMDD) (賞味年月表示は月末最終日)		日付	○	属性初期値	◎							
	95	実入庫製品日付区分	954	X	1			実入庫製品日付の日付区分	△:未使用 2:賞味期限 1:製造日	コード	○	属性初期値	◎							
1.8	96	実入庫製品日付	955	9	8			賞味期限/製造日(YYYYMMDD) (賞味年月表示は月末最終日)		日付	○	○	○ 名称+属性 +桁数	23	賞味期限製造年月日	132	X	6		
	97	製造ロット番号	963	X	10			出荷商品の製造ロット番号を指定する			○	属性初期値	◎							
	98	温度管理区分	973	X	1			該当商品の温度帯管理区	△/0:常温 3:冷蔵(10℃以下) 1:28℃以下 4:冷凍(-15℃ 2:20℃以下 以下)	コード	○	属性初期値	◎							
	99	製品容器区分	974	9	1			該当商品の製品・容器かを指定	0:製品 1:容器	コード	○	属性初期値	◎							
	100	外箱GTIN(ITF)コード	975	X	14			実際に入庫する外箱のITFコードを指定する			○	属性初期値	◎							
	101	摘要	989	X/N	50			任意使用 (英数カナは50文字、漢字は25文字)			○	属性初期値	◎							
	102	日本語区分 (商品名)	1039	X	1			該当項目の日本語区分	△/0:英数カナ 1:漢字(S-JIS/JIS/JEF/IBM)	コード	○	属性初期値	◎							
	103	日本語区分 (摘要)	1040	X	1			"	"	コード	○	属性初期値	◎							
	104	菓子業界商品分類コード	1041	X	6			菓子業界の新商品分類コード (JICFSの機能分類コードとして登録)			○	属性初期値	◎							

(次頁に続く)

(前頁の続き)

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V2 → V1・V2 センタチェック	V2 ← V2 コンバート	V2 ← V1 コンバート	V1フォーマット					
													比較・変更点	項番	項目	開始	属性	整数
	105	割戻1 割戻計算区分	1047	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎					
	106	割戻区分	1048	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎					
	107	割戻基準	1049	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎					
	108	割戻率/単価	1050	9	4	2		(未使用)			○	属性初期値	◎					
	109	割戻金額符号	1056	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎					
	110	割戻金額	1057	9	8			(未使用)			○	属性初期値	◎					
	111	割戻コード	1065	X	5			(未使用)			○	属性初期値	◎					
	112	割戻2 割戻計算区分	1070	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎					
	113	割戻区分	1071	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎					
	114	割戻基準	1072	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎					
	115	割戻率/単価	1073	9	4	2		(未使用)			○	属性初期値	◎					
	116	割戻金額符号	1079	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎					
	117	割戻金額	1080	9	8			(未使用)			○	属性初期値	◎					
	118	割戻コード	1088	X	5			(未使用)			○	属性初期値	◎					
	119	割戻3 割戻計算区分	1093	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎					
	120	割戻区分	1094	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎					
	121	割戻基準	1095	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎					
	122	割戻率/単価	1096	9	4	2		(未使用)			○	属性初期値	◎					
	123	割戻金額符号	1102	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎					
	124	割戻金額	1103	9	8			(未使用)			○	属性初期値	◎					
	125	割戻コード	1111	X	5			(未使用)			○	属性初期値	◎					
1.1	126	商品名カナ	1116	X	25			商品名カナ (商品名に漢字を設定する場合、必須)			○	属性初期値	◎					
1.1	127	明細予備	1141	X	50			レイアウト拡張用の予備領域 (利用禁止)			○	属性初期値	◎					
	128	明細連携エリア	1191	X	10			新フォーマット間：相対利用可能エリア			○	属性初期値	◎					

③ トレーラレコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V2 → V1・V2 センタチェック	V2 ← V2 コンバート	V2 ← V1 コンバート	V1フォーマット						
													比較・変更点	項番	項目	開始	属性	整数	小数
	1	データ種別	1	9	2		◎	13：入庫予定データ	13	共通部チェック	○	"13"固定	○	コード					
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(卸)の統一取引先コード		(コントロール同値、軽症エラー)	○	○	○	2	送信先コード	3	9	8	
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(メーカー)の統一取引先コード			○	○	○	3	送信元コード	11	9	8	
	4	レコード区分	19	9	1		◎	9：トレーラレコード	9		○	○	○	4	レコード区分	19	9	1	
1.7	5	レコード件数	20	9	6		○	レコードの総件数 ・データ送信側では、自身のフォーマットのレコード件数を設定する。 ・データ受信側では、当項目と実際のレコード件数の整合性チェックには利用しない。※下記【トレーラレコード連携時の留意事項】を参照のこと		属性	※センター集計値	※センター集計値		5	レコード件数	20	9	6	
	6	伝票枚数	26	9	6			伝票枚数		属性	※センター集計値	※センター集計値		6	伝票枚数	26	9	6	
	7	合計金額符号	32	X	1			合計金額の符号	△/+：正数 -：負数	コード	※センター設定	※センター設定	○	コード	7	合計金額符号	32	X	1
	8	合計金額	33	9	10			卸店入金額の全明細行の金額合計		属性	※センター集計値	※センター集計値		8	合計金額	33	9	10	
	9	予備	43	X	1138			レイアウト拡張用の予備領域 (利用禁止)			○	属性初期値							
	10	連携エリア	1181	X	20			新フォーマット間：相対利用可能エリア			○	属性初期値	◎						
											※配信分割時								

◎：システムチェック有り
○：業務必須

※【トレーラレコード連携時の留意事項】
 ・データ受信企業は、異なるフォーマット（例：卸様V2・EDI⇔メーカー様V1・EDI）でデータ連携する場合、「レコード件数」項目と実際のレコード件数で不一致が発生し、自社システムへ取り込めない場合があります。
 ・データ受信企業は、トレーラレコードの「レコード件数」項目と実際のレコード件数（物理レコード件数）の整合性チェックを行っている場合は、整合性チェックを除外して下さい。また、データの整合性チェックが必要な場合は、「レコード件数」項目ではなく「伝票枚数」項目をご利用下さい。

スペース混在 全スペース 数値以外混在(サイン付)
 属性 : 軽症エラー 軽症エラー 軽症エラー ※V1レイアウト時
 重症エラー 重症エラー 重症エラー ※V2レイアウト時
 属性(サ) : 軽症エラー 軽症エラー 重症エラー
 属性(ス) : 重症エラー 正常 重症エラー

(3) V2・14受領

① コントロールレコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V2 → V1・V2 センタチェック	V2 ← V2 コンバート	V2 ← V1 コンバート	V1フォーマット						
													比較・変更点	項番	項目	開始	属性	整数	小数
	1	データ種別	1	9	2		◎	14:受領データ	14	コード	○	"14"固定	○	コード					
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(メーカ)の統一取引先コード		センター登録	○	○		2	送信先コード	3	9	8	
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(卸)の統一取引先コード		センター登録	○	○		3	送信元コード	11	9	8	
	4	レコード区分	19	9	1		◎	1:コントロールレコード	1	コード	○	○		4	レコード区分	19	9	1	
	5	データ作成日	20	9	8		◎	データ作成日付 (西暦 YYYYMMDD)		必須+日付	○	○		5	データ作成日	20	9	8	
	6	データ作成時刻	28	9	6			データ作成時刻 (HHMMSS)		時刻	○	属性初期値	◎						
	7	送信先名	34	X	20		○	送信先(メーカ)名 (英数カナのみ)			○	○		6	送信先名	28	X	20	
	8	送信元名	54	X	20		◎	送信元(卸)名 (英数カナのみ)		必須	○	○		7	送信元名	48	X	20	
	9	直接送信先コード	74	9	8			送信先コードと異なる場合にセット (通常はゼロ)		センター登録	○	○		8	直接送信先コード	68	9	8	
	10	直接送信先名	82	X	20			直接送信先名 (英数カナのみ、通常はスペース)			○	○		9	直接送信先カナ名	76	X	20	
	11	送信ファイルNO	102	9	2			同時送信時の問合せNo. (00~99)		属性	○	属性初期値	◎						
	12	予備	104	X	1077			レイアウト拡張用の予備領域 (利用禁止)			○	属性初期値							
	13	連携エリア	1181	X	20			新フォーマット間:相対利用可能エリア			○	属性初期値	◎						

② ヘッダー/明細レコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V2 → V1・V2 センタチェック	V2 ← V2 コンバート	V2 ← V1 コンバート	V1フォーマット						
													比較・変更点	項番	項目	開始	属性	整数	小数
	1	データ種別	1	9	2		◎	14:受領データ	14	共通部チェック	○	"14"固定	○	コード					
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(メーカ)の統一取引先コード		(コントロール同値、 軽症エラー)	○	○		2	送信先コード	3	9	8	
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(卸)の統一取引先コード			○	○		3	送信元コード	11	9	8	
	4	レコード区分	19	9	1		◎	3:ヘッダー/明細レコード	3		○	"3"固定	○	コード					
	5	漢字コード区分	20	X	1			センターにて漢字コード区分をセットする	1:S-JIS 2:JIS		センター設定	センター設定	◎						
	6	卸発注伝票NO	21	9	8		○	受発注データの卸伝票No. (6桁→8桁に拡張、6桁運用の時は上2桁ゼロ埋め)		属性	○	予備上2桁(不正時"00") +卸伝票NO	○	桁数	21	予備	157	X	100
	7	メーカ伝票NO	29	9	8			メーカ発行伝票No. (6桁→8桁に拡張、6桁運用の時は上2桁ゼロ埋め)		属性	○	○	○	桁数	6	メーカ伝票NO	26	9	6
	8	店入直送区分	37	9	1			店(倉)入れまたは直送等の区分	1:店入 2:直送		○	"1"固定	◎						
	9	取引コード	38	9	2		○	業界統一取引コード	11:店入売上 12:店入売上訂正 21:店入返品 22:店入返品訂正 31:直送売上 32:直送売上訂正		○	○		8	取引コード	38	9	2	
	10	納品日	40	9	8		○	発注伝票の納品日 (西暦 YYYYMMDD)		日付	○	○		9	納品日	40	9	8	
	11	出荷日	48	9	8		○	実出荷日 (西暦 YYYYMMDD)		日付	○	○		10	出荷日	48	9	8	
	12	受領日	56	9	8		○	受領した日付 (西暦 YYYYMMDD)		日付	○	○		11	受領日	56	9	8	
	13	受領時間	64	9	4			受領した時間 (HHMM)		時刻	○	○		12	受領時間	64	9	4	
	14	倉庫コード	68	X	4			メーカの出荷倉庫を識別 (相対協議)			○	属性初期値	◎						
	15	伝送区分	72	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎						
	16	出荷報告以外区分	73	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎						
	17	集計明細区分	74	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎						
	18	請求締日	75	9	8			(未使用)			○	属性初期値	◎						
	19	請求口座	83	X	10			(未使用)			○	属性初期値	◎						
	20	請求支払区分	93	9	2			(未使用)			○	属性初期値	◎						
	21	明細行数	95	9	2		○	伝票内明細数	00~06	コード	○	○		13	明細行数	68	9	2	
	22	一次店コード	97	X	13		◎	統一取引先コード(8桁) (後方スペース埋め)		必須	○	届け先コード 前詰8桁+空白5桁	◎						
	23	二次店コード	110	X	13			統一取引先コード(8桁)/プライベート・コード(3~8桁)/GLN(13桁) (後方スペース埋め)			○	属性初期値	◎						
	24	三次店コード	123	X	13			統一取引先コード(8桁)/プライベート・コード(3~8桁)/GLN(13桁) (後方スペース埋め)			○	属性初期値	◎						
	25	届け先コード	136	X	13		○	統一取引先コード(8桁)/プライベート・コード(3~8桁)/GLN(13桁) (後方スペース埋め)			○	前詰8桁+空白5桁	◎	属性+桁数	14	届け先コード	70	9	8
	26	チェーン店コード	149	X	13			統一取引先コード(8桁)/プライベート・コード(3~8桁)/GLN(13桁) (後方スペース埋め)			○	属性初期値	◎						

(次頁に続く)

(前頁の続き)

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V2 → V1・V2 セントチェック	V2 ← V2 コンバート	V2 ← V1 コンバート	V1フォーマット							
													比較・変更点	項番	項目	開始	属性	整数	小数	
	27	専用伝票日付	162	9	8			(未使用)			○	属性初期値	◎							
	28	専用伝票NO	170	9	9			(未使用)			○	属性初期値	◎							
	29	元伝年月日	179	9	8			(未使用)			○	属性初期値	◎							
	30	元伝NO	187	9	8			(未使用)			○	属性初期値	◎							
	31	伝票合計金額符号	195	X	1		○	伝票の合計金額の符号	△/+ :正数 - :負数	ｺｰﾄﾞ	○	○	○	桁数	7	元伝NO	32	9	6	
	32	伝票合計金額	196	9	8		○	伝票の合計金額 (卸店入価格、1億円未満)		属性	○	○	○		16	伝票合計金額符号	108	X	1	
	33	二次店納入合計金額符号	204	X	1			正味納入合計金額の符号	△/+ :正数 - :負数	ｺｰﾄﾞ	○	属性初期値	◎		17	伝票合計金額	109	9	8	
	34	二次店納入合計金額	205	9	8			正味納入合計金額 (二次店納入価格、1億円未満)		属性	○	属性初期値	◎							
	35	一次店名	213	X/N	40			一次店名 (英数カナは30文字、漢字は20文字)			○	属性初期値	◎							
	36	二次店名	253	X/N	40			二次店名 (英数カナは30文字、漢字は20文字)			○	属性初期値	◎							
	37	三次店名	293	X/N	40			三次店名 (英数カナは30文字、漢字は20文字)			○	属性初期値	◎							
	38	届け先名	333	X/N	40		○	届け先名 (英数カナは30文字、漢字は20文字)			○	○	○	属性 + 桁数	15	届け先カナ名	78	X	30	
	39	チェーン店名	373	X/N	40			チェーン店名 (英数カナは30文字、漢字は20文字)			○	属性初期値	◎							
	40	電話番号	413	X	15			通常は届け先の電話番号 (局番区切り(-)あり)			○	属性初期値	◎							
	41	住所	428	X/N	80			通常は届け先の住所 (英数カナは60文字、漢字は40文字)			○	属性初期値	◎							
	42	摘要	508	X/N	50			伝票の摘要欄の内容 (英数カナは50文字、漢字は25文字)			○	○	○	属性 + 桁数	19	摘要欄	118	X	30	
	43	メーカコード	558	X	9		○	7桁の場合は後ろスペース (49xxxxx / 45xxxxxxx)			○	○	○		20	メーカコード	148	X	9	
	44	メーカ所属組織名	567	X	10			(未使用)			○	属性初期値	◎							
	45	伝票区分	577	9	1			(未使用)			○	属性初期値	◎							
	46	登録店区分	578	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎							
	47	定番特売区分	579	X	1		○	定番発注/特売発注の区分	0:定番 1:特売	△:分類不能	ｺｰﾄﾞ	○	"0"・"1"以外 → "△"	○	ｺｰﾄﾞ	18	定番特売区分	117	X	1
	48	消費税区分	580	X	1			税区分	1:外税 2:内税	3:非課税 △:個別判断	ｺｰﾄﾞ	○	属性初期値	◎						
	49	消費税率	581	9	2	1		消費税の税率(99.9%)、ゼロ:個別判断 (小数点以下1桁)			属性	○	属性初期値	◎						
	50	ロット不足運賃負担区分	584	X	1			発注ロット不足になった場合の運賃負担の区分	△:無指定 1:卸負担	2:負担なし	ｺｰﾄﾞ	○	属性初期値	◎						
	51	取引先区分 (一次店)	585	X	1			該当項目の取引先の属性区分	△:統一取引先(8桁)		ｺｰﾄﾞ	○	属性初期値	◎						
	52	取引先区分 (二次店)	586	X	1			"	△: 統一取引先(8桁) 6: GLN(13桁) 7/8:プライベートコード(卸/メカ)		ｺｰﾄﾞ	○	属性初期値	◎						
	53	取引先区分 (三次店)	587	X	1			"	"		ｺｰﾄﾞ	○	属性初期値	◎						
1.3	54	取引先区分 (届け先)	588	X	1			"	"		ｺｰﾄﾞ	○	属性初期値	◎						
	55	取引先区分 (チェーン店)	589	X	1			"	"		ｺｰﾄﾞ	○	属性初期値	◎						
	56	日本語区分 (一次店)	590	X	1			該当項目の日本語区分	△/0:英数カナ 1: 漢字(S-JIS/JIS/JEF/IBM)		ｺｰﾄﾞ	○	属性初期値	◎						
	57	日本語区分 (二次店)	591	X	1			"	"		ｺｰﾄﾞ	○	属性初期値	◎						
	58	日本語区分 (三次店)	592	X	1			"	"		ｺｰﾄﾞ	○	属性初期値	◎						
	59	日本語区分 (届け先)	593	X	1			"	"		ｺｰﾄﾞ	○	属性初期値	◎						
	60	日本語区分 (チェーン店)	594	X	1			"	"		ｺｰﾄﾞ	○	属性初期値	◎						
	61	日本語区分 (住所)	595	X	1			"	"		ｺｰﾄﾞ	○	属性初期値	◎						
	62	日本語区分 (摘要)	596	X	1			"	"		ｺｰﾄﾞ	○	属性初期値	◎						
1.1	63	一次店カナ名	597	X	30			一次店カナ名 (一次店名 に漢字を設定する場合、必須)			○	属性初期値	◎							
1.1	64	二次店カナ名	627	X	30			二次店カナ名 (二次店名 に漢字を設定する場合、必須)			○	属性初期値	◎							
1.1	65	届け先カナ名	657	X	30			届け先カナ名 (届け先名 に漢字を設定する場合、必須)			○	属性初期値	◎							
1.1	66	摘要カナ	687	X	30			摘要カナ (摘要 に漢字を設定する場合、必須)			○	属性初期値	◎							
1.1	67	ヘッダー予備	717	X	64			レイアウト拡張用の予備領域 (利用禁止)			○	属性初期値	◎							
	68	ヘッダー連携エリア	781	X	20			新フォーマット間: 相対利用可能エリア			○	属性初期値	◎							

(次頁に続く)

(前頁の続き)

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V2 → V1・V2 センタチェック	V2 ← V2 コンバート	V2 ← V1 コンバート	V1フォーマット					
													比較・変更点	項番	項目	開始	属性	整数
	105	割戻1 割戻計算区分	1047	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎					
	106	割戻区分	1048	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎					
	107	割戻基準	1049	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎					
	108	割戻率/単価	1050	9	4	2		(未使用)			○	属性初期値	◎					
	109	割戻金額符号	1056	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎					
	110	割戻金額	1057	9	8			(未使用)			○	属性初期値	◎					
	111	割戻コード	1065	X	5			(未使用)			○	属性初期値	◎					
	112	割戻2 割戻計算区分	1070	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎					
	113	割戻区分	1071	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎					
	114	割戻基準	1072	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎					
	115	割戻率/単価	1073	9	4	2		(未使用)			○	属性初期値	◎					
	116	割戻金額符号	1079	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎					
	117	割戻金額	1080	9	8			(未使用)			○	属性初期値	◎					
	118	割戻コード	1088	X	5			(未使用)			○	属性初期値	◎					
	119	割戻3 割戻計算区分	1093	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎					
	120	割戻区分	1094	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎					
	121	割戻基準	1095	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎					
	122	割戻率/単価	1096	9	4	2		(未使用)			○	属性初期値	◎					
	123	割戻金額符号	1102	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎					
	124	割戻金額	1103	9	8			(未使用)			○	属性初期値	◎					
	125	割戻コード	1111	X	5			(未使用)			○	属性初期値	◎					
1.1	126	商品名カナ	1116	X	25			商品名カナ (商品名に 漢字を設定する場合、必須)			○	属性初期値	◎					
1.1	127	明細予備	1141	X	50			レイアウト拡張用の予備領域 (利用禁止)			○	属性初期値	◎					
	128	明細連携エリア	1191	X	10			旧フォーマット予備連携データ (新フォーマット間：相対利用可能エリア)			○	○	◎	24	予備1	134	X	3

③ トレーラレコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V2 → V1・V2 センタチェック	V2 ← V2 コンバート	V2 ← V1 コンバート	V1フォーマット						
													比較・変更点	項番	項目	開始	属性	整数	小数
	1	データ種別	1	9	2		◎	14：受領データ	14	共通部チェック	○	"14"固定	○	コード					
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(メーカ) の統一取引先コード		(コントロール同値、 軽症エラー)	○	○	○	2	送信先コード	3	9	8	
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(卸) の統一取引先コード			○	○	○	3	送信元コード	11	9	8	
	4	レコード区分	19	9	1		◎	9：トレーラレコード	9		○	○	○	4	レコード区分	19	9	1	
1.7	5	レコード件数	20	9	6		○	レコードの総件数 ・データ送信側では、自身のフォーマットのレコード件数を設定する。 ・データ受信側では、当項目と実際のレコード件数の整合性チェックには利用しない。※下記【トレーラレコード連携時の留意事項】を参照のこと		属性	※ センター集計値	※ センター集計値		5	レコード件数	20	9	6	
	6	伝票枚数	26	9	6			伝票枚数		属性	※ センター集計値	※ センター集計値		6	伝票枚数	26	9	6	
	7	合計金額符号	32	X	1			合計金額の符号	△/+：正数 -：負数	コード	※ センター設定	※ センター設定	○	コード	7	合計金額符号	32	X	1
	8	合計金額	33	9	10			卸店入金額の全明細行の金額合計		属性	※ センター集計値	※ センター集計値		8	合計金額	33	9	10	
	9	予備	43	X	1138			レイアウト拡張用の予備領域 (利用禁止)			○	属性初期値							
	10	連携エリア	1181	X	20			新フォーマット間：相対利用可能エリア			○	属性初期値	◎						
											※ 配信分割時								

◎：システムチェック有り
○：業務必須

※【トレーラレコード連携時の留意事項】
・データ受信企業は、異なるフォーマット（例：卸様V2・EDI⇔メーカ様V1・EDI）でデータ連携する場合、「レコード件数」項目と実際のレコード件数で不一致が発生し、自社システムへ取り込めない場合があります。
・データ受信企業は、トレーラレコードの「レコード件数」項目と実際のレコード件数（物理レコード件数）の整合性チェックを行っている場合は、整合性チェックを除外して下さい。また、データの整合性チェックが必要な場合は、「レコード件数」項目ではなく「伝票枚数」項目をご利用下さい。

スペース混在 全スペース 数値以外混在(サイン付)
属性 : 軽症エラー 軽症エラー 軽症エラー ※V1レイアウト時
重症エラー 重症エラー 重症エラー ※V2レイアウト時
属性(サ) : 軽症エラー 軽症エラー 重症エラー
属性(入) : 重症エラー 正常 重症エラー

(4) V2・18返品通知

① コントロールレコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V2→V1・V2 センタチェック コード	V2←V2 コンパート	V2←V1 コンパート	V1フォーマット						
													比較・変更点	項番	項目	開始	属性	整数	小数
	1	データ種別	1	9	2		◎	18:返品通知データ	18		○	"18"固定	○	コード					
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(メーカ)の統一取引先コード		センター登録	○	○		2	送信先コード	3	9	8	
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(卸)の統一取引先コード		センター登録	○	○		3	送信元コード	11	9	8	
	4	レコード区分	19	9	1		◎	1:コントロールレコード	1		○	○		4	レコード区分	19	9	1	
	5	データ作成日	20	9	8		◎	データ作成日付 (西暦 YYYYMMDD)		必須+日付	○	○		5	データ作成日	20	9	8	
	6	データ作成時刻	28	9	6			データ作成時刻 (HHMMSS)		時刻	○	属性初期値	◎						
	7	送信先名	34	X	20		○	送信先(メーカ)名 (英数カナのみ)			○	○		6	送信先名	28	X	20	
	8	送信元名	54	X	20		◎	送信元(卸)名 (英数カナのみ)		必須	○	○		7	送信元名	48	X	20	
	9	直接送信先コード	74	9	8			送信先コードと異なる場合にセット (通常はゼロ)		センター登録	○	○		8	直接送信先コード	68	9	8	
	10	直接送信先名	82	X	20			直接送信先名 (英数カナのみ、通常はスペース)			○	○		9	直接送信先カナ名	76	X	20	
	11	送信ファイルNO	102	9	2			同時送信時の問合せNo. (00~99)		属性	○	属性初期値	◎						
	12	予備	104	X	1077			レイアウト拡張用の予備領域 (利用禁止)			○	属性初期値	◎						
	13	連携エリア	1181	X	20			新フォーマット間: 相対利用可能エリア			○	属性初期値	◎						

② ヘッダー/明細レコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V2→V1・V2 センタチェック (コントロール同値、 軽症Iラ)	V2←V2 コンパート	V2←V1 コンパート	V1フォーマット						
													比較・変更点	項番	項目	開始	属性	整数	小数
	1	データ種別	1	9	2		◎	18:返品通知データ	18	共通部チェック	○	"18"固定	○	コード					
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(メーカ)の統一取引先コード			○	○		2	送信先コード	3	9	8	
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(卸)の統一取引先コード			○	○		3	送信元コード	11	9	8	
	4	レコード区分	19	9	1		◎	3:ヘッダー/明細レコード	3		○	○		4	レコード区分	19	9	1	
	5	漢字コード区分	20	X	1			センターにて漢字コード区分をセットする	1:S-JIS 2:JIS 3:JEF 4:IBM		センター設定	センター設定	◎						
	6	卸発注伝票NO	21	9	8		○	受発注データの卸伝票No. (6桁→8桁に拡張、6桁運用の時は上2桁ゼロ埋め)		属性	○	予備上2桁(不正時"00") +卸伝票NO	○	桁数	23	予備 卸伝票NO	228 20	X 9	29 6
	7	店入直送区分	29	9	1			店(倉)入れまたは直送等の区分	1:店入 2:直送		○	○	○	コード	6	店入直送区分	26	9	1
	8	取引コード	30	9	2		○	業界統一取引コード	11:店入売上 12:店入売上訂正 21:店入返品 22:店入返品訂正 31:直送売上 32:直送売上訂正		○	○		7	取引コード	27	9	2	
	9	返品日	32	9	8		◎	返品処理日 (西暦 YYYYMMDD)		必須+日付	○	○		8	返品日	29	9	8	
	10	納入時間(自)	40	9	4			(未使用)			○	属性初期値	◎						
	11	納入時間(至)	44	9	4			(未使用)			○	属性初期値	◎						
	12	発注日	48	9	8			(未使用)			○	属性初期値	◎						
	13	明細行数	56	9	2			伝票内明細数	00~06		○	○		9	明細行数	37	9	2	
	14	一次店コード	58	X	13		◎	統一取引先コード(8桁) (後方スペース埋め)		必須	○	前話8桁+空白5桁	○	属性+桁数	10	一次店コード	39	9	8
	15	二次店コード	71	X	13			統一取引先コード(8桁) (後方スペース埋め)			○	前話8桁+空白5桁	○	属性+桁数	11	二次店コード	47	9	8
	16	三次店コード	84	X	13			統一取引先コード(8桁)/プライベートコード(3~8桁)/GLN(13桁) (後方スペース埋め)			○	属性初期値	◎						
	17	届け先コード	97	X	13			統一取引先コード(8桁) (後方スペース埋め)			○	前話8桁+空白5桁	○	属性+桁数	12	届け先コード	55	9	8
	18	チェーン店コード	110	X	13			統一取引先コード(8桁)/プライベートコード(3~8桁)/GLN(13桁) (後方スペース埋め)			○	属性初期値	◎						

(次頁に続く)

(前頁の続き)

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V2 → V1・V2 センタチェック	V2 ← V2 コンバート	V2 ← V1 コンバート	V1フォーマット							
													比較・変更点	項番	項目	開始	属性	整数	小数	
		明細部 (400バイト)																		
2.0	62	明細行NO	801	9	2		◎	明細行NO	01~06	必須+コード*	○	○	○	名称	5	行NO	20	9	2	
	63	専用伝票行NO	803	9	2			専用伝票の行No. (00~99)		属性	○	○	○		6	専用伝票行NO	22	9	2	
	64	商品コード識別区分	805	9	1		○	品番(商品コード)の識別区分	0:統一商品コード 1:ITFコード(14桁) 2:ITFコード(16桁)【利用停止化】 3:JANコード (標準:13桁) 4:JANコード (短縮:8桁) 6:GTINコード (14桁)	コード(新)	○	○	○	属性+コード 2:利用停止	7	商品コード識別区分	24	X	1	
	65	品番	806	X	16		○	統一商品コード、ITFコード、JANコード、GTINコード (左詰め)			○	○	○	ITF(16) 利用停止	8	品番	25	X	16	
	66	商品名	822	X/N	40		○	商品名 (英数カナは25文字、漢字は20文字)			○	○	○	属性+桁数	9	商品名	41	X	25	
	67	包装区分	862	9	1		◎	数量の発注単位の区分 (1:ケース発注時) (2:ボール発注時) (3:バラ発注時)	1:ケース発注 3:バラ発注 2:ボール発注	必須+コード*	○	○	○		10	包装区分	66	9	1	
	68	内容	ボール内バラ数	863	9	4	2	○	包装区分に準じた設定 (ボール内バラ数 /ボール内バラ数 /ゼロ)	属性	○	○	○		11	ボール内バラ数	67	9	4	2
	69	内容	ケース内ボール数	869	9	2		○	包装区分に準じた設定 (ケース内ボール数 /ゼロ /ゼロ)	属性	○	○	○		12	ケース内ボール数	73	9	2	
	70	数量	数量符号	871	X	1		○	数量の符号	△/+ :正数 - :負数	コード*	○	○	○	コード	13	数量符号	75	X	1
	71	数量	ケース数量	872	9	7		○	包装区分に準じた設定 (ケース数量 /ゼロ /ゼロ)	属性	○	○	○		14	ケース数量	76	9	7	
	72	数量	ボール数量	879	9	7		○	包装区分に準じた設定 (ゼロ /ボール数量 /ゼロ)	属性	○	○	○		15	ボール数量	83	9	7	
	73	数量	バラ数量	886	9	7	2	○	包装区分に準じた設定 (バラ数量 /バラ数量 /バラ数量)	属性	○	○	○		16	バラ数量	90	9	7	2
	74	単価	卸店入価格	895	9	6	2		卸店入価格 (バラ単価)	属性	○	○	○		17	卸店入価格	99	9	6	2
	75	単価	二次店納入価格	903	9	6	2		二次卸店等への納入価格 (バラ単価)	属性	○	○	○		18	二次店納入価格	107	9	6	2
	76	金額	金額符号	911	X	1		○	金額の符号	△/+ :正数 - :負数	コード*	○	○	○	コード	19	金額符号	115	X	1
	77	金額	卸店入金額	912	9	8		○	卸店入金額	属性	○	○	○		20	卸店入金額	116	9	8	
	78	金額	二次店納入金額	920	9	8			二次卸店等への納入金額	属性	○	○	○		21	二次店納入金額	124	9	8	
	79	返品	返品区分	928	X	1			当面使用しない	△	コード*	○	○		22	返品区分	132	X	1	
	80	入荷	入荷単位ケース数	929	9	2			荷合せ品の場合の1梱包ケース数を指定する	00~20	コード*	○	属性初期値	◎						
	81	卸発注	卸発注番号	931	9	2			(未使用)			○	属性初期値	◎						
	82	納入	納入単価表示区分	933	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎						
	83	卸最新	卸最新在庫日付区分	934	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎						
	84	卸最新	卸最新在庫日付	935	9	8			(未使用)			○	属性初期値	◎						
	85	入庫	入庫許容日付区分	943	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎						
	86	入庫	入庫許容日付	944	9	8			(未使用)			○	属性初期値	◎						
	87	温度	温度管理区分	952	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎						
	88	摘要	摘要	953	X/N	50			任意使用 (英数カナは50文字、漢字は25文字)			○	属性初期値	◎						
	89	日本語	日本語区分 (商品名)	1003	X	1			該当項目の日本語区分	△/0:英数カナ 1:漢字(S-JIS/JIS/JEF/IBM)	コード*	○	属性初期値	◎						
	90	日本語	日本語区分 (摘要)	1004	X	1			"	"	コード*	○	属性初期値	◎						
	91	菓子	菓子業界商品分類コード	1005	X	6			菓子業界の新商品分類コード (JICFSの機能分類コードとして登録)			○	属性初期値	◎						
1.1	92	商品	商品名カナ	1011	X	25			商品名カナ (商品名に漢字を設定する場合、必須)			○	属性初期値	◎						
1.1	93	明細	明細予備	1036	X	155			レイアウト拡張用の予備領域 (利用禁止)			○	属性初期値	◎						
	94	明細	明細連携エリア	1191	X	10			新フォーマット間: 相対利用可能エリア			○	属性初期値	◎						

③ トレーラレコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V2 → V1・V2 センタチェック	V2 ← V2 コンバート	V2 ← V1 コンバート	V1フォーマット						
													比較・変更点	項番	項目	開始	属性	整数	小数
	1	データ	データ種別	1	9	2	◎	18:返品通知データ	18	共通部チェック (コントロール同値、 軽症エラー)	○	"18"固定	○	コード					
	2	送信	送信先コード	3	9	8	◎	送信先(メーカー)の統一取引先コード			○	○	○		2	送信先コード	3	9	8
	3	送信	送信元コード	11	9	8	◎	送信元(卸)の統一取引先コード			○	○	○		3	送信元コード	11	9	8
	4	レコ	レコード区分	19	9	1	◎	9:トレーラレコード	9		○	○	○		4	レコード区分	19	9	1
1.7	5	レコ	レコード件数	20	9	6	○	レコードの総件数 ・データ送信側では、自身のフォーマットのレコード件数を設定する。 ・データ受信側では、当項目と実際のレコード件数の整合性チェックには利用しない。※下記【トレーラレコード連携時の留意事項】を参照のこと		属性	※センター集計値	※センター集計値			5	レコード件数	20	9	6
	6	伝票	伝票枚数	26	9	6		伝票枚数		属性	※センター集計値	※センター集計値			6	伝票枚数	26	9	6
	7	合計	合計金額符号	32	X	1		合計金額の符号	△/+ :正数 - :負数	コード*	※センター設定	※センター設定	○	コード	7	合計金額符号	32	X	1
	8	合計	合計金額	33	9	10		卸店入金額の全明細行の金額合計		属性	※センター集計値	※センター集計値			8	合計金額	33	9	10
	9	予備	予備	43	X	1138		レイアウト拡張用の予備領域 (利用禁止)			○	属性初期値							
	10	連携	連携エリア	1181	X	20		新フォーマット間: 相対利用可能エリア			○	属性初期値	◎						
											※配信分割時								

◎:システムチェック有り
○:業務必須

※【トレーラレコード連携時の留意事項】
・データ受信企業は、異なるフォーマット(例:卸様V2・EDI⇔メーカー様V1・EDI)でデータ連携する場合、「レコード件数」項目と実際のレコード件数で不一致が発生し、自社システムへ取り込めない場合があります。
・データ受信企業は、トレーラレコードの「レコード件数」項目と実際のレコード件数(物理レコード件数)の整合性チェックを行っている場合は、整合性チェックを除外して下さい。また、データの整合性チェックが必要な場合は、「レコード件数」項目ではなく「伝票枚数」項目をご利用下さい。

スペース混在 全スペース 数値以外混在(サイン付)
属性 : 軽症エラー 軽症エラー 軽症エラー ※V1レイアウト時
 重症エラー 重症エラー 重症エラー ※V2レイアウト時
属性(サ) : 軽症エラー 軽症エラー 重症エラー
属性(ス) : 重症エラー 正常 重症エラー
属性(ズ) : 正常 正常 重症エラー

(5) V2・23 出荷報告

① コントロールレコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V2 → V1・V2 センタチェック	V2 ← V2 コンバート	V2 ← V1 コンバート	V1フォーマット						
													比較・変更点	項番	項目	開始	属性	整数	小数
	1	データ種別	1	9	2		◎	23：出荷報告データ	23	コード	○	"23"固定	○	コード					
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(卸)の統一取引先コード		センター登録	○	○		2	送信先コード	3	9	8	
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(メーカ)の統一取引先コード		センター登録	○	○		3	送信元コード	11	9	8	
	4	レコード区分	19	9	1		◎	1：コントロールレコード	1	コード	○	○		4	レコード区分	19	9	1	
	5	データ作成日	20	9	8		◎	データ作成日付 (西暦 YYYYMMDD)		必須+日付	○	○		5	データ作成日	20	9	8	
	6	データ作成時刻	28	9	6			データ作成時刻 (HHMMSS)		時刻	○	属性初期値	◎						
	7	送信先名	34	X	20		○	送信元(卸)名 (英数カナのみ)			○	○		6	送信先名	28	X	20	
	8	送信元名	54	X	20		◎	送信先(メーカ)名 (英数カナのみ)		必須	○	○		7	送信元名	48	X	20	
	9	直接送信先コード	74	9	8			送信先コードと異なる場合にセット (通常はゼロ)		センター登録	○	○		8	直接送信先コード	68	9	8	
	10	直接送信先名	82	X	20			直接送信先名 (英数カナのみ、通常はスペース)			○	○		9	直接送信先カナ名	76	X	20	
	11	送信ファイルNO	102	9	2			同時送信時の問合せNo. (00~99)		属性	○	属性初期値	◎						
	12	予備	104	X	1077			レイアウト拡張用の予備領域 (利用禁止)			○	属性初期値							
	13	連携エリア	1181	X	20			新フォーマット間：相対利用可能エリア			○	属性初期値	◎						

② ヘッダー／明細レコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V2 → V1・V2 センタチェック	V2 ← V2 コンバート	V2 ← V1 コンバート	V1フォーマット							
													比較・変更点	項番	項目	開始	属性	整数	小数	
	1	データ種別	1	9	2		◎	23：出荷報告データ	23	共通部チェック	○	"23"固定	○	コード						
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(卸)の統一取引先コード		(コントロール同値、 軽症エリア)	○	○		2	送信先コード	3	9	8		
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(メーカ)の統一取引先コード			○	○		3	送信元コード	11	9	8		
	4	レコード区分	19	9	1		◎	3：ヘッダー／明細レコード	3		○	"3"固定	○	コード						
	5	漢字コード区分	20	X	1			センターにて漢字コード区分をセットする	1:S-JIS 2:JIS		センター設定	センター設定	◎							
1.6	6	卸発注伝票NO	21	9	8			受発注データの伝票NO (6桁→8桁に拡張、6桁運用の時は上2桁ゼロ埋め) 直送返品時は返品NO (受発注データで受けた場合は必ずセット)		属性	○	予備上2桁(不正時"00") +卸伝票NO	○	桁数	31	予備	255	X	2	
	7	メーカ伝票NO	29	9	8		○	メーカ発行伝票No. (6桁→8桁に拡張、6桁運用の時は上2桁ゼロ埋め)		属性	○	伝票NO	○	桁数	5	伝票NO	20	9	6	
	8	店入直送区分	37	9	1		◎	店(倉)入れまたは直送等の区分	1:店入 2:直送		3:店引取 4:直送引取	○	○	○	コード	6	店入直送区分	26	9	1
	9	取引コード	38	9	2		◎	業界統一取引コード	11:店入売上 12:店入売上訂正 21:店入返品 22:店入返品訂正 31:直送売上 32:直送売上訂正			○	○	○	7	取引コード	27	9	2	
	10	取引年月日	40	9	8		○	納品年月日 (西暦 YYYYMMDD)		日付	○	○		8	取引年月日	29	9	8		
	11	出荷年月日	48	9	8			出荷日／引取日 (西暦 YYYYMMDD)		日付	○	属性初期値	◎							
	12	着荷予定日	56	9	8			着荷予定日 (西暦 YYYYMMDD)		日付	○	属性初期値	◎							
	13	納入予定時間	64	9	4			納入予定時間 (HHMM)		時刻	○	属性初期値	◎							
	14	倉庫コード	68	X	4			メーカの出荷倉庫を識別 (相対協議)			○	属性初期値	◎							
	15	伝送区分	72	X	1			請求データの伝送区分	1:全部送信 2:違算分送信		△:無指定	属性初期値	◎							
	16	出荷報告以外区分	73	X	1			請求と出荷報告との関係	0:提供 1:未提供		2:再請求 △:無指定	属性初期値	◎							
	17	集計明細区分	74	X	1			請求データを明細または伝票集計での作成区分	△:明細		1:集計	属性初期値	◎							
	18	請求締日	75	9	8			提供企業の請求最終締日 (西暦 YYYYMMDD)		日付	○	属性初期値	◎							
	19	請求口座	83	X	10			提供企業の請求口座コード			○	属性初期値	◎							
	20	請求支払区分	93	9	2			請求・支払データのデータの発生区分	00:今回分請求・支払 10:前回分請求・今回未払分 20:請求控除			属性初期値	◎							
	21	明細行数	95	9	2			伝票内明細数	00~06		○	○		10	明細行数	41	9	2		
	22	一次店コード	97	X	13		◎	統一取引先コード(8桁) (後方スペース埋め)		必須	○	前詰8桁+空白5桁	○	属性+桁数	11	一次店コード	43	9	8	
	23	二次店コード	110	X	13			統一取引先コード(8桁)/プライベート・コード(3~8桁)/GLN(13桁) (後方スペース埋め)			○	前詰8桁+空白5桁	○	属性+桁数	12	二次店コード	51	9	8	
	24	三次店コード	123	X	13			統一取引先コード(8桁)/プライベート・コード(3~8桁)/GLN(13桁) (後方スペース埋め)			○	属性初期値	◎							
	25	届け先コード	136	X	13		○	統一取引先コード(8桁)/プライベート・コード(3~8桁)/GLN(13桁) (後方スペース埋め)			○	前詰8桁+空白5桁	○	属性+桁数	13	届け先コード	59	9	8	
	26	チェーン店コード	149	X	13			統一取引先コード(8桁)/プライベート・コード(3~8桁)/GLN(13桁) (後方スペース埋め)			○	属性初期値	◎							

(次頁に続く)

(前頁の続き)

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V2 → V1・V2 センタチェック	V2 ← V2 コンバート	V2 ← V1 コンバート	V1フォーマット						
													比較・変更点	項番	項目	開始	属性	整数	小数
	27	専用伝票日付	162	9	8			納品伝票が専用伝票の場合にセット (西暦 YYYYMMDD)		日付	○	○			14	専用伝票日付	67	9	8
	28	専用伝票NO	170	9	9			" (専用伝票No、左ゼロ埋め)		属性	○	○			15	専用伝票NO	75	9	9
	29	元伝年月日	179	9	8			メーカーで訂正した元伝票の納品日 (西暦 YYYYMMDD)		日付	○	○			23	元伝日付	192	9	8
	30	元伝NO	187	9	8			メーカーで訂正した元伝票の伝票No (6桁運用の時は上2桁ゼロ埋め)		属性	○	○	○ 桁数		24	元伝NO	200	9	6
	31	伝票合計金額符号	195	X	1		○	伝票の合計金額の符号	△/+ : 正数 - : 負数	コード	○	○	○ コード		16	伝票合計金額符号	84	X	1
	32	伝票合計金額	196	9	8		○	伝票の合計金額 (卸店入価格、1億円未満)		属性	○	○			17	伝票合計金額	85	9	8
	33	二次店納入合計金額符号	204	X	1			正味納入合計金額の符号	△/+ : 正数 - : 負数	コード	○	○	○ コード		18	二次店納入金額符号	93	X	1
	34	二次店納入合計金額	205	9	8			正味納入合計金額 (二次店納入価格、1億円未満)		属性	○	○			19	二次店納入合計金額	94	9	8
	35	一次店名	213	X/N	40		○	一次店名 (英数カナは30文字、漢字は20文字)			○	○	○ 属性+桁数		20	一次店カナ名	102	X	30
	36	二次店名	253	X/N	40			二次店名 (英数カナは30文字、漢字は20文字)			○	○	○ 属性+桁数		21	二次店カナ名	132	X	30
	37	三次店名	293	X/N	40			三次店名 (英数カナは30文字、漢字は20文字)			○	属性初期値	◎						
	38	届け先名	333	X/N	40		○	届け先名 (英数カナは30文字、漢字は20文字)			○	○	○ 属性+桁数		22	届け先カナ名	162	X	30
	39	チェーン店名	373	X/N	40			チェーン店名 (英数カナは30文字、漢字は20文字)			○	属性初期値	◎						
	40	電話番号	413	X	15			通常は届け先の電話番号 (局番区切り(-)あり)			○	属性初期値	◎						
	41	住所	428	X/N	80			通常は届け先の住所 (英数カナは60文字、漢字は40文字)			○	属性初期値	◎						
	42	摘要	508	X/N	50			伝票の摘要欄の内容 (英数カナは50文字、漢字は25文字)			○	○	○ 属性+桁数		25	摘要欄	206	X	30
	43	メーカーコード	558	X	9			7桁の場合は後ろスペース (49xxxxx / 45xxxxxxx)			○	属性初期値	◎						
	44	メーカー所属組織名	567	X	10			スペース			○	○			26	メーカー所属組織名	236	X	10
	45	伝票区分	577	9	1		○	伝票発行の区分	0:菓子統一伝票 1:チェーンストア伝票(伝票Noなし) 2:専用伝票 (伝票Noあり) 3:専用伝票 (伝票Noなし) 4:チェーンストア伝票(ターアラウト型) 8:伝票レス	コード(新)	○	"△" → "0"	○ コード	27	伝票区分	246	9	1	
	46	登録店区分	578	X	1		○	メーカー登録店区分を指定	0:登録店以外 △:無指定 1:登録店	コード	○	○	○ コード	30	登録店区分	254	X	1	
	47	定番特売区分	579	X	1		○	定番発注/特売発注の区分	0:定番 △:分類不能 1:特売	コード	○	"0"."1"以外 → "△"	○ コード	29	定番特売区分	253	X	1	
2.0	48	消費税区分	580	X	1		○	税区分	1:外税 3:非課税 2:内税 △:個別判断	コード	○	属性初期値	◎						
2.0 1.9	49	消費税率	581	9	2	1	○	消費税の税率(99.9%)、ゼロ:個別判断 (小数点以下1桁)		属性	○	対応する税率区分により設定 △/0 → 080 1 → 100		24 25	税率区分1 税率区分2	254 255	X X	1 1	
	50	ロット不足運賃負担区分	584	X	1			発注ロット不足になった場合の運賃負担の区分	△:無指定 2:負担なし 1:卸負担	コード	○	属性初期値	◎						
	51	取引先区分(一次店)	585	X	1			該当項目の取引先の属性区分	△:統一取引先(8桁)	コード	○	属性初期値	◎						
1.3	52	取引先区分(二次店)	586	X	1			"	△:統一取引先(8桁) 6: GLN(13桁) 7/8:プライベートコード(卸/メカ)	コード	○	属性初期値	◎						
	53	取引先区分(三次店)	587	X	1			"	"	コード	○	属性初期値	◎						
1.3	54	取引先区分(届け先)	588	X	1			"	"	コード	○	属性初期値	◎						
	55	取引先区分(チェーン店)	589	X	1			"	"	コード	○	属性初期値	◎						
	56	日本語区分(一次店)	590	X	1			該当項目の日本語区分	△/0:英数カナ 1: 漢字(S-JIS/JIS/JEF/IBM)	コード	○	属性初期値	◎						
	57	日本語区分(二次店)	591	X	1			"	"	コード	○	属性初期値	◎						
	58	日本語区分(三次店)	592	X	1			"	"	コード	○	属性初期値	◎						
	59	日本語区分(届け先)	593	X	1			"	"	コード	○	属性初期値	◎						
	60	日本語区分(チェーン店)	594	X	1			"	"	コード	○	属性初期値	◎						
	61	日本語区分(住所)	595	X	1			"	"	コード	○	属性初期値	◎						
	62	日本語区分(摘要)	596	X	1			"	"	コード	○	属性初期値	◎						
1.1	63	一次店カナ名	597	X	30			一次店カナ名 (一次店名 に漢字を設定する場合、必須)			○	属性初期値	◎						
1.1	64	二次店カナ名	627	X	30			二次店カナ名 (二次店名 に漢字を設定する場合、必須)			○	属性初期値	◎						
1.1	65	届け先カナ名	657	X	30			届け先カナ名 (届け先名 に漢字を設定する場合、必須)			○	属性初期値	◎						
1.1	66	摘要カナ	687	X	30			摘要カナ (摘要 に漢字を設定する場合、必須)			○	属性初期値	◎						
1.1	67	ヘッダー予備	717	X	64			レイアウト拡張用の予備領域 (利用禁止)			○	属性初期値	◎						
	68	ヘッダー連携エリア	781	X	20			新フォーマット間: 相対利用可能エリア			○	属性初期値	◎						

(次頁に続く)

(前頁の続き)

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V2 → V1・V2 センタチェック	V2 ← V2 コンバート	V2 ← V1 コンバート	V1フォーマット						
													比較・変更点	項番	項目	開始	属性	整数	小数
		明細部 (400バイト)																	
2.0	69	明細行NO	801	9	2		◎	明細行NO	01~06	必須+コード	○	6行変換設定	○ 名称	5	行NO	20	9	2	
	70	専用伝票行NO	803	9	2			専用伝票の行No. (00~99)		属性	○	○	○ 名称	6	専用伝票行NO	22	9	2	
	71	商品コード識別区分	805	9	1			品番(商品コード)の識別区分	0:統一商品コード 1:ITFコード(14桁) 2:ITFコード(16桁)【利用停止化】 3:JANコード (標準:13桁) 4:JANコード (短縮:8桁) 6:GTINコード (14桁)	コード(新)	○	○	○ 属性+コード 2:利用停止	7	商品コード識別区分	24	X	1	
	72	品番	806	X	16			統一商品コード、ITFコード、JANコード、GTINコード (左詰め)			○	○	○ ITF(16) 利用停止	8	品番	25	X	16	
	73	商品名	822	X/N	40			商品名 (英数カナは25文字、漢字は20文字)			○	○	○ 属性+桁数	9	商品名	41	X	25	
	74	包装区分	862	9	1		◎	数量の発注単位の区分 (1:ケース発注時) (2:ボール発注時) (3:バラ発注時)	1:ケース発注 3:バラ発注 2:ボール発注	必須+コード	○	○		10	包装区分	66	9	1	
	75	内容	863	9	4	2		包装区分に準じた設定 (ボール内バラ数 /ボール内バラ数 /ゼロ)		属性	○	○		11	ボール内バラ数	67	9	4	2
	76	ケース内ボール数	869	9	2			包装区分に準じた設定 (ケース内ボール数 /ゼロ /ゼロ)		属性	○	○		12	ケース内ボール数	73	9	2	
	77	数量符号	871	X	1			数量の符号	△/+ :正数 - :負数	コード	○	○	○ コード	13	数量符号	75	X	1	
	78	数量	872	9	7			包装区分に準じた設定 (ケース数量 /ゼロ /ゼロ)		属性	○	○		14	ケース数量	76	9	7	
	79	ボール数量	879	9	7			包装区分に準じた設定 (ゼロ /ボール数量 /ゼロ)		属性	○	○		15	ボール数量	83	9	7	
	80	バラ数量	886	9	7	2		包装区分に準じた設定 (バラ数量 /バラ数量 /バラ数量)		属性	○	○		16	バラ数量	90	9	7	2
	81	単価	895	9	6	2		卸店入価格 (バラ単価)		属性	○	○		17	卸店入価格	99	9	6	2
	82	二次店納入価格	903	9	6	2		二次卸店等への納入価格 (バラ単価)		属性	○	○		18	二次店納入価格	107	9	6	2
	83	金額符号	911	X	1			金額の符号	△/+ :正数 - :負数	コード	○	○	○ コード	19	金額符号	115	X	1	
	84	金額	912	9	8			卸店入金額		属性	○	○		20	卸店入金額	116	9	8	
	85	二次店納入金額	920	9	8			二次卸店等への納入金額		属性	○	○		21	二次店納入金額	124	9	8	
	86	商品添付区分	928	X	1			添付商品扱いの区分 (相対運用)	△:売上げ 2:見本 1:現物添付 3:景品	コード(新)	○	"0" → "△"		22	商品添付区分	132	X	1	
	87	欠品区分	929	9	2			商品の出荷状況を指定	00:正常 03:未発売 01:品切れ 04:コード訂正 02:終売	コード(新)	○	属性初期値	◎						
	88	入荷単位ケース数	931	9	2			荷合せ品の場合の1梱包ケース数を指定する	00~20	コード	○	属性初期値	◎						
	89	単価計算区分	933	X	1			単価×数量の計算方法を指定する (小数点以下端数の計算処理方法)	△:切捨て 2:四捨五入 1:切上げ	コード	○	属性初期値	◎						
	90	卸発注行番号	934	9	2			卸売業での発注伝票行NO (00~99)		属性	○	属性初期値	◎						
	91	卸最新在庫日付区分	936	X	1			卸最新在庫日付の日付区分	△:未使用 2:賞味期限 1:製造日	コード	○	属性初期値	◎						
	92	卸最新在庫日付	937	9	8			賞味期限/製造日 (西暦 YYYYMMDD、賞味年月表示は月末最終日)		日付	○	属性初期値	◎						
	93	入庫許容日付区分	945	X	1			入庫許容日付の日付区分	△:未使用 2:賞味期限 1:製造日	コード	○	属性初期値	◎						
	94	入庫許容日付	946	9	8			賞味期限/製造日 (西暦 YYYYMMDD、賞味年月表示は月末最終日)		日付	○	属性初期値	◎						
	95	実入庫製品日付区分	954	X	1			実入庫製品日付の日付区分	△:未使用 2:賞味期限 1:製造日	コード	○	属性初期値	◎						
	96	実入庫製品日付	955	9	8			賞味期限/製造日 (西暦 YYYYMMDD、賞味年月表示は月末最終日)		日付	○	属性初期値	◎						
	97	製造ロット番号	963	X	10			出荷商品の製造ロット番号を指定する			○	属性初期値	◎						
	98	温度管理区分	973	X	1			該当商品の温度帯管理区	△/0:常温 3:冷蔵(10℃以下) 1:28℃以下 4:冷凍(-15℃ 2:20℃以下 以下)	コード	○	属性初期値	◎						
	99	製品容器区分	974	9	1			該当商品の製品・容器かを指定	0:製品 1:容器	コード	○	属性初期値	◎						
	100	外箱GTIN(ITF)コード	975	X	14			実際に入庫する外箱のITFコードを指定する			○	属性初期値	◎						
	101	摘要	989	X/N	50			任意使用 (英数カナは50文字、漢字は25文字)			○	属性初期値	◎						
	102	日本語区分(商品名)	1039	X	1			該当項目の日本語区分	△/0:英数カナ 1:漢字(S-JIS/JIS/JEF/IBM)	コード	○	属性初期値	◎						
	103	日本語区分(摘要)	1040	X	1			"	"	コード	○	属性初期値	◎						
	104	菓子業界商品分類コード	1041	X	6			菓子業界の新商品分類コード (JICFSの機能分類コードとして登録)			○	属性初期値	◎						

(次頁に続く)

(前頁の続き)

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V2 → V1・V2 センタチェック	V2 ← V2 コンバート	V2 ← V1 コンバート	V1フォーマット						
													比較・変更点	項番	項目	開始	属性	整数	小数
	105	割戻1 割戻計算区分	1047	X	1			割戻計算の小数点以下端数処理の計算区分	△:切捨て 1:切上げ	2:四捨五入	コード	○	属性初期値	◎					
	106	割戻区分	1048	X	1			割戻の条件区分 (相対で設定)				○	属性初期値	◎					
	107	割戻基準	1049	X	1			割戻の基準の区分	△:割戻率 1:割戻単価	2:割戻金額	コード	○	属性初期値	◎					
	108	割戻率/単価	1050	9	4	2		割戻率/割戻単価/金額の時はゼロ (小数点以下2桁)			属性	○	属性初期値	◎					
	109	割戻金額符号	1056	X	1			割戻金額の符号	△/+ :正数	- :負数	コード	○	属性初期値	◎					
	110	割戻金額	1057	9	8			割戻計算結果を金額で指定 (円単位)			属性	○	属性初期値	◎					
	111	割戻コード	1065	X	5			割戻の種類を表す				○	属性初期値	◎					
	112	割戻2 割戻計算区分	1070	X	1			割戻1に同じ	割戻1に同じ		コード	○	属性初期値	◎					
	113	割戻区分	1071	X	1							○	属性初期値	◎					
	114	割戻基準	1072	X	1						コード	○	属性初期値	◎					
	115	割戻率/単価	1073	9	4	2					属性	○	属性初期値	◎					
	116	割戻金額符号	1079	X	1						コード	○	属性初期値	◎					
	117	割戻金額	1080	9	8						属性	○	属性初期値	◎					
	118	割戻コード	1088	X	5							○	属性初期値	◎					
	119	割戻3 割戻計算区分	1093	X	1			割戻1に同じ	割戻1に同じ		コード	○	属性初期値	◎					
	120	割戻区分	1094	X	1							○	属性初期値	◎					
	121	割戻基準	1095	X	1						コード	○	属性初期値	◎					
	122	割戻率/単価	1096	9	4	2					属性	○	属性初期値	◎					
	123	割戻金額符号	1102	X	1						コード	○	属性初期値	◎					
	124	割戻金額	1103	9	8						属性	○	属性初期値	◎					
	125	割戻コード	1111	X	5							○	属性初期値	◎					
1.1	126	商品名カナ	1116	X	25			商品名カナ (商品名に漢字を設定する場合、必須)				○	属性初期値	◎					
1.1	127	明細予備	1141	X	50			レイアウト拡張用の予備領域 (利用禁止)				○	属性初期値						
	128	明細連携エリア	1191	X	10			旧フォーマット予備連携データ (新フォーマット間：相対利用可能エリア)				○	○	◎	23	予備1	133	X	4

③ トレーラレコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V2 → V1・V2 センタチェック	V2 ← V2 コンバート	V2 ← V1 コンバート	V1フォーマット							
													比較・変更点	項番	項目	開始	属性	整数	小数	
	1	データ種別	1	9	2		◎	23 : 出荷報告データ	23	共通部チェック	○	"23"固定	○	コード						
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(卸) の統一取引先コード		(コントロール同値、 軽症エラー)	○	○	○	2	送信先コード	3	9	8		
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(メーカ) の統一取引先コード			○	○	○	3	送信元コード	11	9	8		
	4	レコード区分	19	9	1		◎	9 : トレーラレコード	9		○	○	○	4	レコード区分	19	9	1		
1.7	5	レコード件数	20	9	6		○	レコードの総件数 ・データ送信側では、自身のフォーマットのレコード件数を設定する。 ・データ受信側では、当項目と実際のレコード件数の整合性チェックには利用しない。※下記【トレーラレコード連携時の留意事項】を参照のこと		属性	※ センター集計値	※ センター集計値		5	レコード件数	20	9	6		
	6	伝票枚数	26	9	6			伝票枚数		属性	※ センター集計値	※ センター集計値		6	伝票枚数	26	9	6		
	7	合計金額符号	32	X	1			合計金額の符号	△/+ :正数	- :負数	コード	※ センター設定	※ センター設定	○	コード	7	合計金額符号	32	X	1
	8	合計金額	33	9	10			卸店入金額の全明細行の金額合計		属性	※ センター集計値	※ センター集計値		8	合計金額	33	9	10		
	9	予備	43	X	1138			レイアウト拡張用の予備領域 (利用禁止)			○	属性初期値								
	10	連携エリア	1181	X	20			旧フォーマット予備連携データ (新フォーマット間：相対利用可能エリア)			○	予備の01-10バイト+ 予備の26-35バイト	◎	9	予備	43	X	214		
											※ 配信分割時									

◎:システムチェック有り
○:業務必須

※【トレーラレコード連携時の留意事項】
・データ受信企業は、異なるフォーマット(例:卸様V2・EDI⇔メーカ様V1・EDI)でデータ連携する場合、「レコード件数」項目と実際のレコード件数で不一致が発生し、自社システムへ取り込めない場合があります。
・データ受信企業は、トレーラレコードの「レコード件数」項目と実際のレコード件数(物理レコード件数)の整合性チェックを行っている場合は、整合性チェックを除外して下さい。また、データの整合性チェックが必要な場合は、「レコード件数」項目ではなく「伝票枚数」項目をご利用下さい。

スペース混在 全スペース 数値以外混在(サイン付)
属性 : 軽症エラー 軽症エラー 軽症エラー ※V1レイアウト時
重症エラー 重症エラー 重症エラー ※V2レイアウト時
属性(サ) : 軽症エラー 軽症エラー 重症エラー
属性(入) : 重症エラー 正常 重症エラー

(6) V2・35請求明細

① コントロールレコード

※ 2019年10月1日の軽減税率制度実施後は、V1フォーマットは利用停止となります。

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V2→V1・V2 センタチェック	V2←V2 コンバート	V2←V1 コンバート	V1フォーマット						
													比較・変更点	項番	項目	開始	属性	整数	小数
	1	データ種別	1	9	2		◎	35:請求明細データ	35	コード	○	"35"固定	○	コード					
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(卸)の統一取引先コード		センター登録	○	○		2	送信先コード	3	9	8	
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(メーカ)の統一取引先コード		センター登録	○	○		3	送信元コード	11	9	8	
	4	レコード区分	19	9	1		◎	1:コントロールレコード	1	コード	○	○		4	レコード区分	19	9	1	
	5	データ作成日	20	9	8		◎	データ作成日付 (西暦 YYYYMMDD)		必須+日付	○	○		5	データ作成日	20	9	8	
	6	データ作成時刻	28	9	6			データ作成時刻 (HHMMSS)		時刻	○	属性初期値	◎						
	7	送信先名	34	X	20		○	送信元(卸)名 (英数カナのみ)			○	○		10	送信先カナ名	60	X	20	
	8	送信元名	54	X	20		◎	送信先(メーカ)名 (英数カナのみ)		必須	○	○		11	送信元カナ名	80	X	20	
	9	直接送信先コード	74	9	8			送信先コードと異なる場合にセット (通常はゼロ)		センター登録	○	○		14	直接送信先コード	140	9	8	
	10	直接送信先名	82	X	20			直接送信先名 (英数カナのみ、通常はスペース)			○	○		15	直接送信先カナ名	148	X	20	
	11	送信ファイルNO	102	9	2			同時送信時の問合せNo. (00~99)		属性	○	属性初期値	◎						
1.2	12	伝送区分	104	X	1		○	請求データの伝送区分	1:全部送信 △:無指定 2:違算分送信	コード	○	○		16	伝送区分	168	X	1	
1.2	13	集計明細区分	105	X	1			請求データを明細または伝票集計での作成区分	△:明細 1:集計	コード ※V1連携は "1"のみ可	○	"1"固定	◎						
	14	対象期間(自)	106	9	8		○	請求データの対象期間(自) (西暦 YYYYMMDD)		日付	○	○		6	対象期間(自)	28	9	8	
	15	対象期間(至)	114	9	8		○	請求データの対象期間(至) (西暦 YYYYMMDD)		日付	○	○		7	対象期間(至)	36	9	8	
	16	請求先コード	122	X	13		○	統一取引先コード(8桁)			○	前詰8桁+空白5桁	○	属性+桁数	8	請求先コード	44	9	8
	17	請求元コード	135	X	13		○	統一取引先コード(8桁)			○	前詰8桁+空白5桁	○	属性+桁数	9	請求元コード	52	9	8
	18	請求元事業所コード	148	X	13			統一取引先コード(8桁)/プライベートコード(3~8桁)/GLN(13桁)			○	属性初期値	◎						
	19	請求先名	161	X/N	40		○	請求先名 (英数カナは30文字、漢字は20文字)			○	○	○	属性+桁数	12	請求先カナ名	100	X	20
	20	請求元名	201	X/N	40		○	請求元名 (英数カナは30文字、漢字は20文字)			○	○	○	属性+桁数	13	請求元カナ名	120	X	20
	21	請求元事業所名	241	X/N	40			事業所名 (英数カナは30文字、漢字は20文字)			○	属性初期値	◎						
	22	取引先区分(請求先)	281	X	1			該当項目の取引先の属性区分	△:統一取引先(8桁)	コード	○	属性初期値	◎						
	23	取引先区分(請求元)	282	X	1			"	"	コード	○	属性初期値	◎						
	24	取引先区分(事業所)	283	X	1			"	△:統一取引先(8桁) 6: GLN(13桁) 7/8:プライベートコード(卸/メーカ)	コード	○	属性初期値	◎						
	25	日本語区分(請求先)	284	X	1			該当項目の日本語区分	△/0:英数カナ 1:漢字(S-JIS/JIS/JEF/IBM)	コード	○	属性初期値	◎						
	26	日本語区分(請求元)	285	X	1			"	"	コード	○	属性初期値	◎						
	27	日本語区分(事業所)	286	X	1			"	"	コード	○	属性初期値	◎						
1.1	28	請求先カナ名	287	X	30			請求先(卸)のカナ名称 (請求先名に漢字を設定する場合、必須)			○	属性初期値	◎						
1.1	29	請求元カナ名	317	X	30			請求元(メーカ)のカナ名称 (請求元名に漢字を設定する場合、必須)			○	属性初期値	◎						
1.2	30	支払日	347	9	8			(未使用)			○	属性初期値	◎						
1.2	31	支払予定時間	355	9	4			(未使用)			○	属性初期値	◎						
1.1	32	予備	359	X	822			レイアウト拡張用の予備領域 (利用禁止)			○	属性初期値	◎						
	33	連携エリア	1181	X	20			旧フォーマット予備連携データ (新フォーマット間:相対利用可能エリア)			○	予備21~30バイト →連携エリア1~10バイト 予備84~88バイト →連携エリア11~15バイト	◎	17	予備	169	X	88	

② ヘッダー/明細レコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V2→V1・V2 センタチェック	V2←V2 コンバート	V2←V1 コンバート	V1フォーマット						
													比較・変更点	項番	項目	開始	属性	整数	小数
	1	データ種別	1	9	2		◎	35:請求(明細)データ	35	共通部チェック (コントロール同値、 軽症エリア)	○	"35"固定	○	コード					
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(卸)の統一取引先コード			○	○		2	送信先コード	3	9	8	
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(メーカ)の統一取引先コード			○	○		3	送信元コード	11	9	8	
	4	レコード区分	19	9	1		◎	3:ヘッダー/明細レコード	3		○	"3"固定	○	コード					
	5	漢字コード区分	20	X	1			センターにて漢字コード区分をセットする	1:S-JIS 3:JEF 2:JIS 4:IBM		センター設定	センター設定	◎						
	6	卸発注伝票NO	21	9	8		○	受発注データの卸伝票No. (6桁→8桁に拡張、6桁運用の時は上2桁ゼロ埋め)		属性	○	予備上2桁(不正時"00") +卸伝票NO	○	桁数	22	予備1 卸伝票NO	136 64	X 9	2 6
	7	メーカ伝票NO	29	9	8		○	メーカ発行伝票No. (6桁→8桁に拡張、6桁運用の時は上2桁ゼロ埋め)		属性	○	○	○	桁数	12	メーカ伝票NO	50	9	6
	8	店入直送区分	37	9	1		○	店(倉)入れまたは直送等の区分	1:店入 3:店引取 2:直送 4:直送引取	コード	○	○	○	コード	9	店入直送区分	39	9	1
	9	取引コード	38	9	2		○	業界統一取引コード	11:店入売上 41:直送返品 12:店入売上訂正 42:直送返品訂正 21:店入返品 51:割戻し金 22:店入返品訂正 52:相殺 31:直送売上 32:直送売上訂正	コード	○	○		10	取引コード	40	9	2	
	10	卸伝票年月日	40	9	8			納品年月日 (西暦 YYYYMMDD)		日付	○	○		13	卸伝票年月日	56	9	8	
	11	メーカ伝票年月日	48	9	8		○	メーカ出荷日 (西暦 YYYYMMDD)		日付	○	○		11	メーカ伝票年月日	42	9	8	
	12	倉庫コード	56	X	4			(未使用)			○	属性初期値	◎						

(次頁に続く)

(前頁の続き)

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V2 → V1・V2	V2 ← V2	V2 ← V1	V1フォーマット							
										センタチェック	コンバート	コンバート	比較・変更点	項番	項目	開始	属性	整数	小数	
	13	出荷報告以外区分	60	X	1			請求と出荷報告との関係	0:提供 1:未提供	2:再請求 △:無指定	J-T*	○	属性初期値	◎						
	14	請求締日	61	9	8			提供企業の請求最終締日 (西暦 YYYYMMDD)			日付	○	属性初期値	◎						
	15	請求口座	69	X	10			提供企業の請求口座コード				○	属性初期値	◎						
	16	請求支払区分	79	9	2		○	請求・支払データのデータの発生区分	00:今回分請求・支払 10:前回分請求・今回未払分 20:請求控除		J-T*(請求)	○	○		8	請求支払区分	37	9	2	
	17	明細行数	81	9	2			伝票内明細数	00~06		J-T*	○	"01"固定	◎						
	18	一次店コード	83	X	13			統一取引先コード(8桁)				○	前詰8桁+空白5桁	○	名称+属性+桁数	6	事業所コード	28	9	8
	19	二次店コード	96	X	13			統一取引先コード(8桁)/プライベート・コード(3~8桁)/GLN(13桁)				○	前詰8桁+空白5桁	○	属性+桁数	19	二次店コード	95	9	8
	20	三次店コード	109	X	13			統一取引先コード(8桁)/プライベート・コード(3~8桁)/GLN(13桁)				○	属性初期値	◎						
	21	届け先コード	122	X	13		○	統一取引先コード(8桁)/プライベート・コード(3~8桁)/GLN(13桁)				○	前詰8桁+空白5桁	○	属性+桁数	5	届け先コード	20	9	8
	22	チェーン店コード	135	X	13			統一取引先コード(8桁)/プライベート・コード(3~8桁)/GLN(13桁)				○	属性初期値	◎						
	23	専用伝票日付	148	9	8			納品伝票が専用伝票の場合にセット (西暦 YYYYMMDD)			日付	○	属性初期値	◎						
	24	専用伝票NO	156	9	9			" (専用伝票No、左ゼロ埋め)			属性	○	属性初期値	◎						
	25	元伝年月日	165	9	8			メーカーで訂正した元伝票の納品日 (西暦 YYYYMMDD)			日付	○	○		15	元伝年月日	70	9	8	
	26	元伝NO	173	9	8			メーカーで訂正した元伝票の伝票No (6桁運用の時は上2桁ゼロ埋め)			属性	○	桁数	○	16	元伝NO	78	9	6	
	27	請求金額合計符号	181	X	1		○	請求合計金額の符号	△/+ :正数 - :負数		J-T*	○	不正コード値 → "△"	◎	17	請求金額符号	84	X	1	
1.2	28	請求金額合計	182	9	10		○	請求合計金額 (集計明細区分 = 集計時は、請求金額と同値設定)			属性	○	○	◎	18	請求金額	85	9	10	
	29	支払金額合計符号	192	X	1			(未使用)				○	属性初期値	◎						
1.2	30	支払金額合計	193	9	10			(未使用)				○	属性初期値	◎						
	31	一次店名	203	X/N	40			一次店名 (英数カナは30文字、漢字は20文字)				○	属性初期値	◎						
	32	二次店名	243	X/N	40			二次店名 (英数カナは30文字、漢字は20文字)				○	属性初期値	◎						
	33	三次店名	283	X/N	40			三次店名 (英数カナは30文字、漢字は20文字)				○	属性初期値	◎						
	34	届け先名	323	X/N	40		○	届け先名 (英数カナは30文字、漢字は20文字)				○	○	○	属性+桁数	21	届け先カナ名	106	X	30
	35	チェーン店名	363	X/N	40			チェーン店名 (英数カナは30文字、漢字は20文字)				○	属性初期値	◎						
	36	電話番号	403	X	15			通常は届け先の電話番号 (局番区切り(-)あり)				○	属性初期値	◎						
	37	住所	418	X/N	80			通常は届け先の住所 (英数カナは60文字、漢字は40文字)				○	属性初期値	◎						
	38	摘要	498	X/N	50			伝票の摘要欄の内容 (英数カナは50文字、漢字は25文字)				○	属性初期値	◎						
	39	メーカーコード	548	X	9			7桁の場合は後ろスペース (49xxxxx / 45xxxxxxx)				○	属性初期値	◎						
	40	メーカー所属組織名	557	X	10			スペース				○	属性初期値	◎						
	41	伝票区分	567	9	1			(未使用)				○	属性初期値	◎						
	42	登録店区分	568	X	1		○	メーカー登録店区分を指定	0:登録店以外 1:登録店	△:無指定	J-T*	○	○	○	J-T*	7	登録店区分	36	X	1
	43	定番特売区分	569	X	1			定番発注/特売発注の区分	0:定番 1:特売	△:分類不能	J-T*	○	属性初期値	◎						
2.0	44	消費税区分	570	X	1		○	税区分	1:外税 2:内税	3:非課税 △:個別判断	J-T*	○	属性初期値	◎						
2.0	45	消費税率	571	9	2	1	○	消費税率(99.9%)、ゼロ:個別判断 (小数点以下1桁)			属性	○	属性初期値	◎						
	46	ロット不足運賃負担区分	574	X	1			(未使用)				○	属性初期値	◎						
	47	取引先区分 (一次店)	575	X	1			該当項目の取引先の属性区分	△:統一取引先(8桁)		J-T*	○	属性初期値	◎						
	48	取引先区分 (二次店)	576	X	1			"	△:統一取引先(8桁) 6: GLN(13桁) 7/8:プライベートコード(卸/メカ)		J-T*	○	属性初期値	◎						
	49	取引先区分 (三次店)	577	X	1			"	"		J-T*	○	属性初期値	◎						
	50	取引先区分 (届け先)	578	X	1			"	"		J-T*	○	属性初期値	◎						
	51	取引先区分 (チェーン店)	579	X	1			"	"		J-T*	○	属性初期値	◎						
	52	日本語区分 (一次店)	580	X	1			該当項目の日本語区分	△/0:英数カナ 1: 漢字(S-JIS/JIS/JEF/IBM)		J-T*	○	属性初期値	◎						
	53	日本語区分 (二次店)	581	X	1			"	"		J-T*	○	属性初期値	◎						
	54	日本語区分 (三次店)	582	X	1			"	"		J-T*	○	属性初期値	◎						
	55	日本語区分 (届け先)	583	X	1			"	"		J-T*	○	属性初期値	◎						
	56	日本語区分 (チェーン店)	584	X	1			"	"		J-T*	○	属性初期値	◎						
	57	日本語区分 (住所)	585	X	1			"	"		J-T*	○	属性初期値	◎						
	58	日本語区分 (摘要)	586	X	1			"	"		J-T*	○	属性初期値	◎						
1.1	59	一次店カナ名	587	X	30			一次店カナ名 (一次店名 に漢字を設定する場合、必須)				○	属性初期値	◎						
1.1	60	二次店カナ名	617	X	30			二次店カナ名 (二次店名 に漢字を設定する場合、必須)				○	属性初期値	◎						
1.1	61	届け先カナ名	647	X	30			届け先カナ名 (届け先名 に漢字を設定する場合、必須)				○	属性初期値	◎						
1.1	62	摘要カナ	677	X	30			摘要カナ (摘要 に漢字を設定する場合、必須)				○	属性初期値	◎						
1.1	63	ヘッダー予備	707	X	74			レイアウト拡張用の予備領域 (利用禁止)				○	属性初期値	◎						
	64	ヘッダー連携エリア	781	X	20			旧フォーマット予備連携データ (新フォーマット間: 相対利用可能エリア)				○	属性初期値	◎						

(次頁に続く)

(前頁の続き)

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V2 → V1・V2 センタチェック	V2 ← V2 コンバート	V2 ← V1 コンバート	V1フォーマット						
													比較・変更点	項番	項目	開始	属性	整数	小数
		明細部 (400バイト)																	
2.0 1.5	65	明細行NO	801	9	2		◎*1	明細行NO (*1 集計明細区分 = 明細時: 必須 + コード チェック、 *2 " " = 集計時: 属性 チェック)	01~06	*1 必須 + コード *2 属性	○	"01"固定	◎						
	66	専用伝票行NO	803	9	2			専用伝票の行No. (00~99)		属性	○	属性初期値	◎						
	67	商品コード識別区分	805	9	1			品番(商品コード)の識別区分	0:統一商品コード 1:ITFコード (14桁) 3:JANコード (標準:13桁) 4:JANコード (短縮:8桁) 6:GTINコード (14桁)	コード	○	"0"固定	◎						
	68	品番	806	X	16			統一商品コード、ITFコード、JANコード、GTINコード (左詰め)			○	ALL"9"固定	◎						
	69	商品名	822	X/N	40			商品名 (英数カナは25文字、漢字は20文字)			○	"テンポヨコウカイ"固定	◎						
1.5	70	包装区分	862	9	1		◎*1	数量の発注単位の区分 (*1 集計明細区分 = 明細時: 必須 + コード チェック、 *2 " " = 集計時: 属性 チェック) (1:ケース発注時) (2:ボール発注時) (3:バラ発注時)	1:ケース発注 3:バラ発注 2:ボール発注	*1 必須 + コード *2 属性	○	"1"固定	◎						
	71	内容	ボール内バラ数	863	9	4	2	包装区分に準じた設定 (ボール内バラ数 /ボール内バラ数 /ゼロ)		属性	○	属性初期値	◎						
	72	内容	ケース内ボール数	869	9	2		包装区分に準じた設定 (ケース内ボール数 /ゼロ /ゼロ)		属性	○	属性初期値	◎						
	73	数量符号	871	X	1		○	数量の符号	△/+ :正数 - :負数	コード	○	不正コード値 → "△"	◎	17	請求金額符号	84	X	1	
	74	数量	ケース数量	872	9	7		包装区分に準じた設定 (ケース数量 /ゼロ /ゼロ)		属性	○	"000001"固定	◎						
	75	数量	ボール数量	879	9	7		包装区分に準じた設定 (ゼロ /ボール数量 /ゼロ)		属性	○	属性初期値	◎						
	76	数量	バラ数量	886	9	7	2	包装区分に準じた設定 (バラ数量 /バラ数量 /バラ数量)		属性	○	属性初期値	◎						
	77	単価	請求単価	895	9	6	2	請求単価 (卸店入価格(バラ単価))		属性	○	"00000100"固定	◎						
	78	単価	支払単価	903	9	6	2	支払単価 (卸店入価格(バラ単価))		属性	○	属性初期値	◎						
1.2	79	請求金額符号	911	X	1		○	請求金額の符号	△/+ :正数 - :負数	コード	○	不正コード値 → "△"	◎	17	請求金額符号	84	X	1	
1.2	80	請求金額	912	9	10		○	請求金額 (卸店入価格換算)		属性	○	○	◎	18	請求金額	85	9	10	
1.2	81	支払金額符号	922	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎						
1.2	82	支払金額	923	9	10			(未使用)			○	属性初期値	◎						
	83	商品添付区分	933	X	1			添付商品扱いの区分 (相対運用)	△:売上げ 2:見本 1:現物添付 3:景品	コード(新)	○	属性初期値	◎						
	84	支払区分	934	9	2			(未使用)			○	属性初期値	◎						
	85	入荷単位ケース数	936	9	2			荷合せ品の場合の1梱包ケース数を指定する	00~20	コード	○	属性初期値	◎						
	86	単価計算区分	938	X	1			単価×数量の計算方法を指定する (小数点以下端数の計算処理方法)	△:切捨て 2:四捨五入 1:切上げ	コード	○	属性初期値	◎						
	87	卸発注行番号	939	9	2			卸売業での発注伝票行NO (00~99)		属性	○	属性初期値	◎						
1.9	88	資産譲渡日付区分	941	X	1			資産譲渡日付の形式区分	△:年月日形式 1:年月形式	コード	○	属性初期値	◎						
1.9	89	資産譲渡日付	942	9	8			返品時の資産譲渡日付(仕入日)を日付区分指定の形式「YYYYMMDD」または「YYYYMM00」で設定		日付	○	属性初期値	◎						
	90	在庫許容日付区分	950	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎						
	91	在庫許容日付	951	9	8			(未使用)			○	属性初期値	◎						
	92	実在庫製品日付区分	959	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎						
	93	実在庫製品日付	960	9	8			(未使用)			○	属性初期値	◎						
	94	製造ロット番号	968	X	10			(未使用)			○	属性初期値	◎						
	95	温度管理区分	978	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎						
	96	製品容器区分	979	9	1			(未使用)			○	属性初期値	◎						
	97	外箱GTIN(ITF)コード	980	X	14			(未使用)			○	属性初期値	◎						
	98	摘要	994	X/N	50			任意使用 (英数カナは50文字、漢字は25文字)			○	属性初期値	◎						
	99	日本語区分 (商品名)	1044	X	1			該当項目の日本語区分	△/0:英数カナ 1:漢字(S-JIS/JIS/JEF/IBM)	コード	○	属性初期値	◎						
	100	日本語区分 (摘要)	1045	X	1			" "	" "	コード	○	属性初期値	◎						
	101	菓子業界商品分類コード	1046	X	6			菓子業界の新商品分類コード (JICFSの機能分類コードとして登録)			○	属性初期値	◎						
	102	割戻1 割戻計算区分	1052	X	1			割戻計算の小数点以下端数処理の計算区分	△:切捨て 2:四捨五入 1:切上げ	コード	○	属性初期値	◎						
	103	割戻区分	1053	X	1			割戻の条件区分 (相対で設定)			○	属性初期値	◎						
	104	割戻基準	1054	X	1			割戻の基準の区分	△:割戻率 2:割戻金額 1:割戻単価	コード	○	属性初期値	◎						
	105	割戻率/単価	1055	9	4	2		割戻率/割戻単価/金額の時はゼロ (小数点以下2桁)		属性	○	属性初期値	◎						
	106	割戻金額符号	1061	X	1			割戻金額の符号	△/+ :正数 - :負数	コード	○	属性初期値	◎						
	107	割戻金額	1062	9	9			割戻計算結果を金額で指定 (円単位)		属性	○	属性初期値	◎						
	108	割戻コード	1071	X	5			割戻の種類を表す			○	属性初期値	◎						
	109	割戻2 割戻計算区分	1076	X	1			割戻1と同じ	割戻1と同じ	コード	○	属性初期値	◎						
	110	割戻区分	1077	X	1						○	属性初期値	◎						
	111	割戻基準	1078	X	1					コード	○	属性初期値	◎						
	112	割戻率/単価	1079	9	4	2				属性	○	属性初期値	◎						
	113	割戻金額符号	1085	X	1					コード	○	属性初期値	◎						
	114	割戻金額	1086	9	9					属性	○	属性初期値	◎						
	115	割戻コード	1095	X	5						○	属性初期値	◎						

(次頁に続く)

(前頁の続き)

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V2 → V1・V2 センタチェック	V2 ← V2 コンバート	V2 ← V1 コンバート	V1フォーマット					
													比較・変更点	項番	項目	開始	属性	整数
	116	割戻3 割戻計算区分	1100	X	1			割戻1に同じ	割戻1に同じ	コード	○	属性初期値	◎					
	117	割戻区分	1101	X	1					○	属性初期値	◎						
	118	割戻基準	1102	X	1					○	属性初期値	◎						
	119	割戻率/単価	1103	9	4	2				属性	○	属性初期値	◎					
	120	割戻金額符号	1109	X	1					コード	○	属性初期値	◎					
	121	割戻金額	1110	9	9					属性	○	属性初期値	◎					
	122	割戻コード	1119	X	5					○	属性初期値	◎						
1.1	123	商品名カナ	1124	X	25			商品名カナ (商品名に漢字を設定する場合、必須)			○	属性初期値	◎					
1.1	124	明細予備	1149	X	42			レイアウト拡張用の予備領域 (利用禁止)			○	属性初期値	◎					
	125	明細連携エリア	1191	X	10			旧フォーマット予備連携データ (新フォーマット間：相対利用可能エリア)			○	○	◎	20	予備	103	X	3

③ トレーラレコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V2 → V1・V2 センタチェック	V2 ← V2 コンバート	V2 ← V1 コンバート	V1フォーマット						
													比較・変更点	項番	項目	開始	属性	整数	小数
	1	データ種別	1	9	2		◎	35：請求(明細)データ	35	共通部チェック	○	"35"固定	○	コード					
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(卸)の統一取引先コード		(コントロール同値、軽症エラー)	○	○	○	2	送信先コード	3	9	8	
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(メーカ)の統一取引先コード			○	○	○	3	送信元コード	11	9	8	
	4	レコード区分	19	9	1		◎	9：トレーラレコード	9		○	○	○	4	レコード区分	19	9	1	
1.9	5	レコード件数	20	9	6		○	レコードの総件数 ・データ送信側では、自身のフォーマットのレコード件数を設定する。 ・データ受信側では、当項目と実際のレコード件数の整合性チェックには利用しない。※下記【トレーラレコード連携時の留意事項】を参照のこと		属性	○	○		5	レコード件数	20	9	6	
1.9	6	伝票枚数	26	9	6			伝票枚数(明細型：明細行NO=01の総数、集計型：ヘッダー/明細レコード件数=レコード件数と同値)		属性	○	○		6	伝票枚数	26	9	6	
1.2	7	前回請求残高符号	32	X	1			前回請求残高符号	△/+：正数 -：負数	コード	○	不正コード値 → "△"	○	コード	7	前回請求残高符号	32	X	1
1.2	8	前回請求残高	33	9	11			前回請求残高 (税込み金額)		属性	○	○		8	前回請求残高	33	9	11	
1.9	9	今回請求金額符号	44	X	1			今回請求金額符号 ※税率別内訳の集計値	△/+：正数 -：負数	コード	○	不正コード値 → "△"	○	コード	9	今回請求金額符号	44	X	1
1.9	10	今回請求金額	45	9	11			今回請求金額 (税抜き金額) ※税率別内訳の集計値		属性	○	○		10	今回請求金額	45	9	11	
1.9	11	請求基本控除符号	56	X	1			請求基本控除符号 ※税率別内訳の集計値	△/+：正数 -：負数	コード	○	不正コード値 → "△"	○	コード	11	請求基本控除符号	56	X	1
1.9	12	請求基本控除	57	9	11			請求基本控除 ※税率別内訳の集計値		属性	○	○		12	請求基本控除	57	9	11	
1.9	13	請求品種控除符号	68	X	1			請求品種控除符号 ※税率別内訳の集計値	△/+：正数 -：負数	コード	○	不正コード値 → "△"	○	コード	13	請求品種控除符号	68	X	1
1.9	14	請求品種控除	69	9	11			請求品種控除 ※税率別内訳の集計値		属性	○	○		14	請求品種控除	69	9	11	
1.9	15	請求機能控除符号	80	X	1			請求機能控除符号 ※税率別内訳の集計値	△/+：正数 -：負数	コード	○	不正コード値 → "△"	○	コード	15	請求機能控除符号	80	X	1
1.9	16	請求機能控除	81	9	11			請求機能控除 ※税率別内訳の集計値		属性	○	○		16	請求機能控除	81	9	11	
1.9	17	請求控除その他符号	92	X	1			請求控除その他符号 ※税率別内訳の集計値	△/+：正数 -：負数	コード	○	不正コード値 → "△"	○	コード	17	請求控除その他符号	92	X	1
1.9	18	請求控除その他	93	9	11			請求控除その他 ※税率別内訳の集計値		属性	○	○		18	請求控除その他	93	9	11	
1.9	19	請求消費税符号	104	X	1			請求消費税符号 ※税率別内訳の集計値	△/+：正数 -：負数	コード	○	不正コード値 → "△"	○	コード	19	請求消費税符号	104	X	1
1.9	20	請求消費税	105	9	11			請求消費税 ※税率別内訳の集計値		属性	○	○	○	桁数	20	請求消費税	105	9	10
1.9	21	請求金額合計符号	116	X	1			請求金額合計符号 ※税率別内訳の集計値	△/+：正数 -：負数	コード	○	不正コード値 → "△"	○	コード	21	請求金額合計符号	116	X	1
1.9	22	請求金額合計	117	9	11			請求金額合計 ※税率別内訳の集計値		属性	○	○		22	請求金額合計	116	9	11	
1.2	23	前回支払残高符号	128	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎						
1.2	24	前回支払残高	129	9	11			(未使用)			○	属性初期値	◎						
1.2	25	今回支払金額符号	140	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎						
1.2	26	今回支払金額	141	9	11			(未使用)			○	属性初期値	◎						
1.2	27	支払基本控除符号	152	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎						
1.2	28	支払基本控除	153	9	11			(未使用)			○	属性初期値	◎						
1.2	29	支払品種控除符号	164	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎						
1.2	30	支払品種控除	165	9	11			(未使用)			○	属性初期値	◎						
1.2	31	支払機能控除符号	176	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎						
1.2	32	支払機能控除	177	9	11			(未使用)			○	属性初期値	◎						
1.2	33	支払控除その他符号	188	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎						
1.2	34	支払控除その他	189	9	11			(未使用)			○	属性初期値	◎						
1.2	35	支払消費税符号	200	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎						
1.2	36	支払消費税	201	9	11			(未使用)			○	属性初期値	◎						
1.2	37	支払金額合計符号	212	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎						
1.2	38	支払金額合計	213	9	11			(未使用)			○	属性初期値	◎						

(次頁に続く)

(前頁の続き)

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V2 → V1・V2 センタチェック	V2 ← V2 コンバート	V2 ← V1 コンバート	V1フォーマット						
													比較・変更点	項番	項目	開始	属性	整数	小数
1.9	39	登録番号	224	X	14			"T"+法人番号13桁 ※2021.10以降、税務署への申告により取得のうえ設定				○	属性初期値						
1.9		税率別内訳 (200バイト × 3 明細) ※未使用ブロックはALL SPACEを設定する。																	
2.0	40	消費税率	238	9	2	1		消費税の税率(99.9%)、ゼロ:個別判断 (小数点以下1桁)		属性	○		ALL SPACE	◎					
2.0	41	今回請求金額符号	241	X	1			今回請求金額符号	△/+ :正数 - :負数	コード	○			◎					
2.0	42	今回請求金額	242	9	11			今回請求金額 (税抜き金額)		属性	○			◎					
2.0	43	請求基本控除符号	253	X	1			請求基本控除符号	△/+ :正数 - :負数	コード	○			◎					
2.0	44	請求基本控除	254	9	11			請求基本控除		属性	○			◎					
2.0	45	請求品種控除符号	265	X	1			請求品種控除符号	△/+ :正数 - :負数	コード	○			◎					
2.0	46	請求品種控除	266	9	11			請求品種控除		属性	○			◎					
2.0	47	請求機能控除符号	277	X	1			請求機能控除符号	△/+ :正数 - :負数	コード	○			◎					
2.0	48	請求機能控除	278	9	11			請求機能控除		属性	○			◎					
2.0	49	請求控除その他符号	289	X	1			請求控除その他符号	△/+ :正数 - :負数	コード	○			◎					
2.0	50	請求控除その他	290	9	11			請求控除その他		属性	○			◎					
2.0	51	請求消費税符号	301	X	1			請求消費税符号	△/+ :正数 - :負数	コード	○			◎					
2.0	52	請求消費税	302	9	11			請求消費税 (42 - 44 - 46 - 48 - 50) × 40 ※制度により変更の可能性あり		属性	○			◎					
2.0	53	税込請求金額符号	313	X	1			税込請求金額符号	△/+ :正数 - :負数	コード	○			◎					
2.0	54	税込請求金額	314	9	11			税込請求金額 (42 - 44 - 46 - 48 - 50 + 52) ※制度により変更の可能性あり		属性	○			◎					
2.0	55	今回支払金額符号	325	X	1			(未使用)			○			◎					
2.0	56	今回支払金額	326	9	11			(未使用)			○			◎					
2.0	57	支払基本控除符号	337	X	1			(未使用)			○			◎					
2.0	58	支払基本控除	338	9	11			(未使用)			○			◎					
2.0	59	支払品種控除符号	349	X	1			(未使用)			○			◎					
2.0	60	支払品種控除	350	9	11			(未使用)			○			◎					
2.0	61	支払機能控除符号	361	X	1			(未使用)			○			◎					
2.0	62	支払機能控除	362	9	11			(未使用)			○			◎					
2.0	63	支払控除その他符号	373	X	1			(未使用)			○			◎					
2.0	64	支払控除その他	374	9	11			(未使用)			○			◎					
2.0	65	支払消費税符号	385	X	1			(未使用)			○			◎					
2.0	66	支払消費税	386	9	11			(未使用)			○			◎					
2.0	67	税込支払金額符号	397	X	1			(未使用)			○			◎					
2.0	68	税込支払金額	398	9	11			(未使用)			○			◎					
2.0	69	予備	397	X	29			レイアウト拡張用の予備領域 (利用禁止)			○			◎					
1.9	70	予備	838	X	343			レイアウト拡張用の予備領域 (利用禁止)			○		属性初期値						
	71	連携エリア	1181	X	20			旧フォーマット予備連携データ (新フォーマット間: 相対利用可能エリア)			○		○	◎	23	予備	127	X	130

◎:システムチェック有り
○:業務必須

※【トレーラレコード連携時の留意事項】
 ・データ受信企業は、異なるフォーマット(例: 卸様V2・EDI⇔メーカー様V1・EDI)でデータ連携する場合、「レコード件数」項目と実際のレコード件数で不一致が発生し、自社システムへ取り込めない場合があります。
 ・データ受信企業は、トレーラレコードの「レコード件数」項目と実際のレコード件数(物理レコード件数)の整合性チェックを行っている場合は、整合性チェックを除外して下さい。また、データの整合性チェックが必要な場合は、「レコード件数」項目ではなく「伝票枚数」項目をご利用下さい。

スペース混在 全スペース 数値以外混在(サイン付)
 属性 : 軽症エラー 軽症エラー 軽症エラー ※V1レイアウト時
 重症エラー 重症エラー 重症エラー ※V2レイアウト時
 属性(サ) : 軽症エラー 軽症エラー 重症エラー
 属性(ス) : 重症エラー 正常 重症エラー
 属性(ズ) : 正常 正常 重症エラー

(7) V2・36支払明細
① コントロールレコード

※ 2019年10月1日の軽減税率制度実施後は、V1フォーマットは利用停止となります。

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V2→V1・V2 センタチェック	V2←V2 コンバート	V2←V1 コンバート	V1フォーマット						
													比較・変更点	項番	項目	開始	属性	整数	小数
	1	データ種別	1	9	2		◎	36:支払(明細)データ	36	コード	○	"36"固定	○	コード					
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(メーカ)の統一取引先コード		センター登録	○	○		2	送信先コード	3	9	8	
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(卸)の統一取引先コード		センター登録	○	○		3	送信元コード	11	9	8	
	4	レコード区分	19	9	1		◎	1:コントロールレコード	1	コード	○	○		4	レコード区分	19	9	1	
	5	データ作成日	20	9	8		◎	データ作成日付 (西暦 YYYYMMDD)		必須+日付	○	○		5	データ作成日	20	9	8	
	6	データ作成時刻	28	9	6			データ作成時刻 (HHMMSS)		時刻	○	属性初期値	◎						
	7	送信先名	34	X	20		○	送信先(メーカ)名 (英数カナのみ)			○	○		10	送信先カナ名	60	X	20	
	8	送信元名	54	X	20		◎	送信元(卸)名 (英数カナのみ)		必須	○	○		11	送信元カナ名	80	X	20	
	9	直接送信先コード	74	9	8			送信先コードと異なる場合にセット (通常はゼロ)		センター登録	○	○		14	直接送信先コード	140	9	8	
	10	直接送信先名	82	X	20			直接送信先名 (英数カナのみ、通常はスペース)			○	○		15	直接送信先カナ名	148	X	20	
	11	送信ファイルNO	102	9	2			同時送信時の問合せNo. (00~99)		属性	○	属性初期値	◎						
1.2	12	伝送区分	104	X	1		○	請求データの伝送区分	1:全部送信 △:無指定 2:違算分送信	コード	○	○		16	伝送区分	168	X	1	
1.2	13	集計明細区分	105	X	1			請求データを明細または伝票集計での作成区分	△:明細 1:集計	コード ※V1連携は "1"のみ可	○	"1"固定	◎						
	14	対象期間(自)	106	9	8		○	請求データの 対象期間(自) (西暦 YYYYMMDD)		日付	○	○		6	対象期間(自)	28	9	8	
	15	対象期間(至)	114	9	8		○	請求データの 対象期間(至) (西暦 YYYYMMDD)		日付	○	○		7	対象期間(至)	36	9	8	
	16	支払元コード	122	X	13		○	統一取引先コード(8桁)			○	前詰8桁+空白5桁	○	属性+桁数	9	支払元コード	52	9	8
	17	支払先コード	135	X	13		○	統一取引先コード(8桁)			○	前詰8桁+空白5桁	○	属性+桁数	8	支払先コード	44	9	8
	18	支払先事業所コード	148	X	13			統一取引先コード(8桁)/プライベートコード(3~8桁)/GLN(13桁)			○	属性初期値	◎						
	19	支払元名	161	X/N	40		○	支払元名 (英数カナは30文字、漢字は20文字)			○	○	○	属性+桁数	13	支払元カナ名	120	X	20
	20	支払先名	201	X/N	40		○	支払先名 (英数カナは30文字、漢字は20文字)			○	○	○	属性+桁数	12	支払先カナ名	100	X	20
	21	支払先事業所名	241	X/N	40			事業所名 (英数カナは30文字、漢字は20文字)			○	属性初期値	◎						
	22	取引先区分(支払元)	281	X	1			該当項目の取引先の属性区分	△:統一取引先(8桁)	コード	○	属性初期値	◎						
	23	取引先区分(支払先)	282	X	1			"	"	コード	○	属性初期値	◎						
	24	取引先区分(事業所)	283	X	1			"	△:統一取引先(8桁) 6:GLN(13桁) 7/8:プライベートコード(卸/メーカ)	コード	○	属性初期値	◎						
	25	日本語区分(支払元)	284	X	1			該当項目の日本語区分	△/0:英数カナ 1:漢字(S-JIS/JIS/JEF/IBM)	コード	○	属性初期値	◎						
	26	日本語区分(支払先)	285	X	1			"	"	コード	○	属性初期値	◎						
	27	日本語区分(事業所)	286	X	1			"	"	コード	○	属性初期値	◎						
1.1	28	支払元カナ名	287	X	30			支払元(卸)のカナ名称 (支払元名に漢字を設定する場合、必須)			○	属性初期値	◎						
1.1	29	支払先カナ名	317	X	30			支払先(メーカ)のカナ名称 (支払先名に漢字を設定する場合、必須)			○	属性初期値	◎						
1.2	30	支払日	347	9	8			支払予定日 (西暦 YYYYMMDD)		日付	○	○	◎	17	支払日	169	9	8	
1.2	31	支払予定時間	355	9	4			(未使用)			○	属性初期値	◎						
1.9	32	支払確認期限区分	359	X	1			支払確認期限の区分	△:日付指定 1:日数指定	コード	○	属性初期値	◎						
1.9	33	支払確認期限日付	360	9	8			支払確認期限日付 (YYYYMMDD)		日付	○	属性初期値	◎						
1.9	34	支払確認期限日数	368	9	2			支払確認期限日数		属性	○	属性初期値	◎						
1.9	35	予備	370	X	811			レイアウト拡張用の予備領域 (利用禁止)			○	属性初期値	◎						
	36	連携エリア	1181	X	20			旧フォーマット予備連携データ (新フォーマット間:相対利用可能エリア)			○	○	◎	18	予備	177	X	80	

② ヘッダー/明細レコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V2→V1・V2 センタチェック	V2←V2 コンバート	V2←V1 コンバート	V1フォーマット						
													比較・変更点	項番	項目	開始	属性	整数	小数
	1	データ種別	1	9	2		◎	36:支払(明細)データ	36	共通部チェック	○	"36"固定	○	コード					
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(メーカ)の統一取引先コード		(コントロール同値、 軽症エリア)	○	○		2	送信先コード	3	9	8	
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(卸)の統一取引先コード			○	○		3	送信元コード	11	9	8	
	4	レコード区分	19	9	1		◎	3:ヘッダー/明細レコード			○	"3"固定	○	コード					
	5	漢字コード区分	20	X	1			センターにて漢字コード区分をセットする	1:S-JIS 2:JIS 3:JEF 4:IBM		センター設定	センター設定	◎						
	6	卸発注伝票NO	21	9	8		○	受発注データの卸伝票No. (6桁→8桁に拡張、6桁運用の時は上2桁ゼロ埋め)		属性	○	予備上2桁(不正時"00") +卸伝票NO	○	桁数	22	予備1 卸伝票NO	136 64	X 9	2 6
	7	メーカ伝票NO	29	9	8		○	メーカ発行伝票No. (6桁→8桁に拡張、6桁運用の時は上2桁ゼロ埋め)		属性	○	○	○	桁数	12	メーカ伝票NO	50	9	6
	8	店入直送区分	37	9	1		○	店(倉)入れまたは直送等の区分	1:店入 2:直送 3:店引取 4:直送引取	コード	○	○	○	コード	9	店入直送区分	39	9	1
	9	取引コード	38	9	2		○	業界統一取引コード	11:店入売上 12:店入売上訂正 21:店入返品 22:店入返品訂正 31:直送売上 32:直送売上訂正 41:直送返品 42:直送返品訂正 51:割戻し金 52:相殺	コード	○	○		10	取引コード	40	9	2	
	10	卸伝票年月日	40	9	8		○	納品年月日 (西暦 YYYYMMDD)		日付	○	○		13	卸伝票年月日	56	9	8	
	11	メーカ伝票年月日	48	9	8		○	メーカ出荷日 (西暦 YYYYMMDD)		日付	○	○		11	メーカ伝票年月日	42	9	8	
	12	倉庫コード	56	X	4			(未使用)			○	属性初期値	◎						

(次頁に続く)

(前頁の続き)

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V2 → V1・V2 センタチェック	V2 ← V2 コンバート	V2 ← V1 コンバート	V1フォーマット						
													比較・変更点	項番	項目	開始	属性	整数	小数
	13	出荷報告以外区分	60	X	1			請求と出荷報告との関係	0:提供 1:未提供	2:再請求 △:無指定	J-T*	○	属性初期値	◎					
	14	請求締日	61	9	8			提供企業の請求最終締日 (西暦 YYYYMMDD)			日付	○	属性初期値	◎					
	15	請求口座	69	X	10			提供企業の請求口座コード				○	属性初期値	◎					
	16	請求支払区分	79	9	2		○	請求・支払データのデータの発生区分	00:今回分請求・支払 10:前回数請求・今回未払分 20:請求控除	J-T*(請求)	○	○			8	請求支払区分	37	9	2
	17	明細行数	81	9	2			伝票内明細数	00~06	J-T*	○	"01"固定	◎						
	18	一次店コード	83	X	13			統一取引先コード(8桁)			○	前詰8桁+空白5桁	◎ 名称+属性+桁数	6	事業所コード	28	9	8	
	19	二次店コード	96	X	13			統一取引先コード(8桁)/プライベート・コード(3~8桁)/GLN(13桁)			○	属性初期値	◎						
	20	三次店コード	109	X	13			統一取引先コード(8桁)/プライベート・コード(3~8桁)/GLN(13桁)			○	属性初期値	◎						
	21	届け先コード	122	X	13		○	統一取引先コード(8桁)/プライベート・コード(3~8桁)/GLN(13桁)			○	前詰8桁+空白5桁	◎ 属性+桁数	5	届け先コード	20	9	8	
	22	チェーン店コード	135	X	13			統一取引先コード(8桁)/プライベート・コード(3~8桁)/GLN(13桁)			○	属性初期値	◎						
	23	専用伝票日付	148	9	8			納品伝票が専用伝票の場合にセット (西暦 YYYYMMDD)		日付	○	属性初期値	◎						
	24	専用伝票NO	156	9	9			" (専用伝票No、左ゼロ埋め)		属性	○	属性初期値	◎						
	25	元伝年月日	165	9	8			メーカーで訂正した元伝票の納品日 (西暦 YYYYMMDD)		日付	○	○			15	元伝年月日	70	9	8
	26	元伝NO	173	9	8			メーカーで訂正した元伝票の伝票No (6桁運用の時は上2桁ゼロ埋め)		属性	○	○	◎ 桁数	16	元伝NO	78	9	6	
	27	請求金額合計符号	181	X	1		○	請求合計金額の符号	△/+ :正数 - :負数	J-T*	○	不正コード値 → "△"	◎	17	請求金額符号	84	X	1	
1.2	28	請求金額合計	182	9	10		○	請求合計金額 (集計明細区分=集計時は、請求金額と同値設定)		属性	○	○	◎	18	請求金額	85	9	10	
	29	支払金額合計符号	192	X	1		○	支払合計金額の符号	△/+ :正数 - :負数	J-T*	○	不正コード値 → "△"	◎	19	支払金額符号	95	X	1	
1.2	30	支払金額合計	193	9	10		○	支払合計金額 (集計明細区分=集計時は、支払金額と同値設定)		属性	○	○	◎	20	支払金額	96	9	10	
	31	一次店名	203	X/N	40			一次店名 (英数カナは30文字、漢字は20文字)			○	属性初期値	◎						
	32	二次店名	243	X/N	40			二次店名 (英数カナは30文字、漢字は20文字)			○	属性初期値	◎						
	33	三次店名	283	X/N	40			三次店名 (英数カナは30文字、漢字は20文字)			○	属性初期値	◎						
	34	届け先名	323	X/N	40		○	届け先名 (英数カナは30文字、漢字は20文字)			○	○	◎ 属性+桁数	21	届け先カナ名	106	X	30	
	35	チェーン店名	363	X/N	40			チェーン店名 (英数カナは30文字、漢字は20文字)			○	属性初期値	◎						
	36	電話番号	403	X	15			通常は届け先の電話番号 (局番区切り(-)あり)			○	属性初期値	◎						
	37	住所	418	X/N	80			通常は届け先の住所 (英数カナは60文字、漢字は40文字)			○	属性初期値	◎						
	38	摘要	498	X/N	50			伝票の摘要欄の内容 (英数カナは50文字、漢字は25文字)			○	属性初期値	◎						
	39	メーカーコード	548	X	9			7桁の場合は後ろスペース (49xxxxx / 45xxxxxxx)			○	属性初期値	◎						
	40	メーカー所属組織名	557	X	10			スペース			○	属性初期値	◎						
	41	伝票区分	567	9	1			(未使用)			○	属性初期値	◎						
	42	登録店区分	568	X	1		○	メーカー登録店区分を指定	0:登録店以外 1:登録店	△:無指定	J-T*	○	○	◎ J-T*	7	登録店区分	36	X	1
	43	定番特売区分	569	X	1			定番特売/特売特注の区分	0:定番 1:特売	△:分類不能	J-T*	○	属性初期値	◎					
2.0	44	消費税区分	570	X	1		○	税区分	1:外税 2:内税	3:非課税 △:個別判断	J-T*	○	属性初期値	◎					
2.0	45	消費税率	571	9	2	1	○	消費税の税率(99.9%)、ゼロ:個別判断 (小数点以下1桁)			属性	○	属性初期値	◎					
	46	ロット不足運賃負担区分	574	X	1			(未使用)			○	属性初期値	◎						
	47	取引先区分 (一次店)	575	X	1			該当項目の取引先の属性区分	△:統一取引先(8桁)		J-T*	○	属性初期値	◎					
	48	取引先区分 (二次店)	576	X	1			"	△:統一取引先(8桁) 6: GLN(13桁) 7/8:プライベートコード(卸/メカ)		J-T*	○	属性初期値	◎					
	49	取引先区分 (三次店)	577	X	1			"	"		J-T*	○	属性初期値	◎					
	50	取引先区分 (届け先)	578	X	1			"	"		J-T*	○	属性初期値	◎					
	51	取引先区分 (チェーン店)	579	X	1			"	"		J-T*	○	属性初期値	◎					
	52	日本語区分 (一次店)	580	X	1			該当項目の日本語区分	△/0:英数カナ 1: 漢字(S-JIS/JIS/JEF/IBM)		J-T*	○	属性初期値	◎					
	53	日本語区分 (二次店)	581	X	1			"	"		J-T*	○	属性初期値	◎					
	54	日本語区分 (三次店)	582	X	1			"	"		J-T*	○	属性初期値	◎					
	55	日本語区分 (届け先)	583	X	1			"	"		J-T*	○	属性初期値	◎					
	56	日本語区分 (チェーン店)	584	X	1			"	"		J-T*	○	属性初期値	◎					
	57	日本語区分 (住所)	585	X	1			"	"		J-T*	○	属性初期値	◎					
	58	日本語区分 (摘要)	586	X	1			"	"		J-T*	○	属性初期値	◎					
1.1	59	一次店カナ名	587	X	30			一次店カナ名 (一次店名 に漢字を設定する場合、必須)			○	属性初期値	◎						
1.1	60	二次店カナ名	617	X	30			二次店カナ名 (二次店名 に漢字を設定する場合、必須)			○	属性初期値	◎						
1.1	61	届け先カナ名	647	X	30			届け先カナ名 (届け先名 に漢字を設定する場合、必須)			○	属性初期値	◎						
1.1	62	摘要カナ	677	X	30			摘要カナ (摘要 に漢字を設定する場合、必須)			○	属性初期値	◎						
1.1	63	ヘッダー予備	707	X	74			レイアウト拡張用の予備領域 (利用禁止)			○	属性初期値	◎						
	64	ヘッダー連携エリア	781	X	20			旧フォーマット予備連携データ (新フォーマット間: 相対利用可能エリア)			○	○	◎	23	予備2	256	X	1	

(次頁に続く)

(前頁の続き)

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V2 → V1・V2 センタチェック	V2 ← V2 コンバート	V2 ← V1 コンバート	V1フォーマット						
													比較・変更点	項番	項目	開始	属性	整数	小数
		明細部 (400バイト)																	
2.0 1.5	65	明細行NO	801	9	2		◎*1	明細行NO (*1 集計明細区分 = 明細時: 必須 + コード チェック、 *2 " " = 集計時: 属性 チェック)	01~06	*1 必須 + コード *2 属性	○	"01"固定	◎						
	66	専用伝票行NO	803	9	2			専用伝票の行No. (00~99)		属性	○	属性初期値	◎						
	67	商品コード識別区分	805	9	1			品番(商品コード)の識別区分	0:統一商品コード 1:ITFコード (14桁) 3:JANコード (標準:13桁) 4:JANコード (短縮:8桁) 6:GTINコード (14桁)	コード	○	"0"固定	◎						
	68	品番	806	X	16			統一商品コード、ITFコード、JANコード、GTINコード (左詰め)			○	ALL"9"固定	◎						
	69	商品名	822	X/N	40			商品名 (英数カナは25文字、漢字は20文字)			○	"テンポヨウカイ"固定	◎						
1.5	70	包装区分	862	9	1		◎*1	数量の発注単位の区分 (*1 集計明細区分 = 明細時: 必須 + コード チェック、 *2 " " = 集計時: 属性 チェック) (1:ケース発注時) (2:ボール発注時) (3:バラ発注時)	1:ケース発注 3:バラ発注 2:ボール発注	*1 必須 + コード *2 属性	○	"1"固定	◎						
	71	内容	ボール内バラ数	863	9	4	2	包装区分に準じた設定 (ボール内バラ数 /ボール内バラ数 /ゼロ)		属性	○	属性初期値	◎						
	72	内容	ケース内ボール数	869	9	2		包装区分に準じた設定 (ケース内ボール数 /ゼロ /ゼロ)		属性	○	属性初期値	◎						
	73	数量	数量符号	871	X	1		数量の符号	△/+ :正数 - :負数	コード	○	不正コード値 → "△"	◎	17	請求金額符号	84	X	1	
	74	数量	ケース数量	872	9	7		包装区分に準じた設定 (ケース数量 /ゼロ /ゼロ)		属性	○	"000001"固定	◎						
	75	数量	ボール数量	879	9	7		包装区分に準じた設定 (ゼロ /ボール数量 /ゼロ)		属性	○	属性初期値	◎						
	76	数量	バラ数量	886	9	7	2	包装区分に準じた設定 (バラ数量 /バラ数量 /バラ数量)		属性	○	属性初期値	◎						
	77	単価	請求単価	895	9	6	2	請求単価 (卸店入価格(バラ単価))		属性	○	"00000100"固定	◎						
	78	単価	支払単価	903	9	6	2	支払単価 (卸店入価格(バラ単価))		属性	○	属性初期値	◎						
1.2	79	請求金額	請求金額符号	911	X	1		請求金額の符号	△/+ :正数 - :負数	コード	○	不正コード値 → "△"	◎	17	請求金額符号	84	X	1	
1.2	80	請求金額	請求金額	912	9	10		請求金額 (卸店入価格換算)		属性	○	○	◎	18	請求金額	85	9	10	
1.2	81	支払金額	支払金額符号	922	X	1		支払金額の符号	△/+ :正数 - :負数	コード	○	不正コード値 → "△"	◎	19	支払金額符号	95	X	1	
1.2	82	支払金額	支払金額	923	9	10		支払金額 (卸店入価格換算)		属性	○	○	◎	20	支払金額	96	9	10	
	83	商品	商品添付区分	933	X	1		添付商品扱いの区分 (相対運用)	△:売上げ 2:見本 1:現物添付 3:景品	コード(新)	○	属性初期値	◎						
	84	支払	支払区分	934	9	2		支払データのデータの発生区分	00:今回分支払 01:今回未払分	コード	○	○	◎	8	請求支払区分	37	9	2	
	85	入荷	入荷単位ケース数	936	9	2		荷合せ品の場合の1梱包ケース数を指定する	00~20	コード	○	属性初期値	◎						
	86	単価	単価計算区分	938	X	1		単価×数量の計算方法を指定する (小数点以下端数の計算処理方法)	△:切捨て 2:四捨五入 1:切上げ	コード	○	属性初期値	◎						
	87	卸	卸発注行番号	939	9	2		卸売業での発注伝票行NO (00~99)		属性	○	属性初期値	◎						
1.9	88	資産	資産譲渡日付区分	941	X	1		資産譲渡日付の形式区分	△:年月日形式 1:年月形式	コード	○	属性初期値	◎						
1.9	89	資産	資産譲渡日付	942	9	8		返品時の資産譲渡日付(仕入日)を日付区分指定の形式「YYYYMMDD」または「YYYYMM00」で設定		日付	○	属性初期値	◎						
	90	入庫	入庫許容日付区分	950	X	1		(未使用)			○	属性初期値	◎						
	91	入庫	入庫許容日付	951	9	8		(未使用)			○	属性初期値	◎						
	92	実入	実入庫製品日付区分	959	X	1		(未使用)			○	属性初期値	◎						
	93	実入	実入庫製品日付	960	9	8		(未使用)			○	属性初期値	◎						
	94	製造	製造ロット番号	968	X	10		(未使用)			○	属性初期値	◎						
	95	温度	温度管理区分	978	X	1		(未使用)			○	属性初期値	◎						
	96	製品	製品容器区分	979	9	1		(未使用)			○	属性初期値	◎						
	97	外箱	外箱GTIN(ITF)コード	980	X	14		(未使用)			○	属性初期値	◎						
	98	摘要	摘要	994	X/N	50		任意使用 (英数カナは50文字、漢字は25文字)			○	属性初期値	◎						
	99	日本	日本語区分 (商品名)	1044	X	1		該当項目の日本語区分	△/0:英数カナ 1:漢字(S-JIS/JIS/JEF/IBM)	コード	○	属性初期値	◎						
	100	日本	日本語区分 (摘要)	1045	X	1		" "	" "	コード	○	属性初期値	◎						
	101	菓子	菓子業界商品分類コード	1046	X	6		菓子業界の新商品分類コード (JICFSの機能分類コードとして登録)			○	属性初期値	◎						
	102	割戻	割戻1 割戻計算区分	1052	X	1		割戻計算の小数点以下端数処理の計算区分	△:切捨て 2:四捨五入 1:切上げ	コード	○	属性初期値	◎						
	103	割戻	割戻区分	1053	X	1		割戻の条件区分 (相対で設定)			○	属性初期値	◎						
	104	割戻	割戻基準	1054	X	1		割戻の基準の区分	△:割戻率 2:割戻金額 1:割戻単価	コード	○	属性初期値	◎						
	105	割戻	割戻率/単価	1055	9	4	2	割戻率/割戻単価/金額の時はゼロ (小数点以下2桁)		属性	○	属性初期値	◎						
	106	割戻	割戻金額符号	1061	X	1		割戻金額の符号	△/+ :正数 - :負数	コード	○	属性初期値	◎						
	107	割戻	割戻金額	1062	9	9		割戻計算結果を金額で指定 (円単位)		属性	○	属性初期値	◎						
	108	割戻	割戻コード	1071	X	5		割戻の種類を表す			○	属性初期値	◎						
	109	割戻	割戻2 割戻計算区分	1076	X	1		割戻1に同じ	割戻1に同じ	コード	○	属性初期値	◎						
	110	割戻	割戻区分	1077	X	1					○	属性初期値	◎						
	111	割戻	割戻基準	1078	X	1				コード	○	属性初期値	◎						
	112	割戻	割戻率/単価	1079	9	4	2			属性	○	属性初期値	◎						
	113	割戻	割戻金額符号	1085	X	1				コード	○	属性初期値	◎						
	114	割戻	割戻金額	1086	9	9				属性	○	属性初期値	◎						
	115	割戻	割戻コード	1095	X	5					○	属性初期値	◎						

(次頁に続く)

(前頁の続き)

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V2 → V1・V2 センタチェック	V2 ← V2 コンバート	V2 ← V1 コンバート	V1フォーマット						
													比較・変更点	項番	項目	開始	属性	整数	小数
	116	割戻3 割戻計算区分	1100	X	1			割戻1に同じ	割戻1に同じ		○	属性初期値	◎						
	117	割戻区分	1101	X	1						○	属性初期値	◎						
	118	割戻基準	1102	X	1						○	属性初期値	◎						
	119	割戻率/単価	1103	9	4	2					○	属性初期値	◎						
	120	割戻金額符号	1109	X	1						○	属性初期値	◎						
	121	割戻金額	1110	9	9						○	属性初期値	◎						
	122	割戻コード	1119	X	5						○	属性初期値	◎						
1.1	123	商品名カナ	1124	X	25			商品名カナ (商品名に 漢字を設定する場合、必須)			○	属性初期値	◎						
1.1	124	明細予備	1149	X	42			レイアウト拡張用の予備領域 (利用禁止)			○	属性初期値	◎						
	125	明細連携エリア	1191	X	10			新フォーマット間：相対利用可能エリア			○	属性初期値	◎						

③ トレーラレコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V2 → V1・V2 センタチェック	V2 ← V2 コンバート	V2 ← V1 コンバート	V1フォーマット						
													比較・変更点	項番	項目	開始	属性	整数	小数
	1	データ種別	1	9	2		◎	36：支払(明細)データ	36		○	"36"固定	○	コード					
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(メーカ) の統一取引先コード		共通部チェック (コントロール同値、 軽症エリア)	○	○			2	送信先コード	3	9	8
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(卸) の統一取引先コード			○	○			3	送信元コード	11	9	8
	4	レコード区分	19	9	1		◎	9：トレーラレコード	9		○	○			4	レコード区分	19	9	1
1.9	5	レコード件数	20	9	6		○	レコードの総件数 ・データ送信側では、自身のフォーマットのレコード件数を設定する。 ・データ受信側では、当項目と実際のレコード件数の整合性チェックには利用しない。※下記【トレーラレコード連携時の留意事項】を参照のこと		属性	○	○			5	レコード件数	20	9	6
1.9	6	伝票枚数	26	9	6			伝票枚数(明細型：明細行NO=01の総数、集計型：ヘッダー/明細レコード件数=レコード件数と同値)		属性	○	○			6	伝票枚数	26	9	6
1.2	7	前回請求残高符号	32	X	1			請求データの 前回請求残高符号	△/+：正数 --：負数	コード	○	不正コード値 → "△"	○	コード	7	前回請求残高符号	32	X	1
1.2	8	前回請求残高	33	9	11			請求データの 前回請求残高 (税込み金額)		属性	○	○			8	前回請求残高	33	9	11
1.9	9	今回請求金額符号	44	X	1			請求データの 今回請求金額符号 ※税率別内訳の集計値	△/+：正数 --：負数	コード	○	不正コード値 → "△"	○	コード	9	今回請求金額符号	44	X	1
1.9	10	今回請求金額	45	9	11			請求データの 今回請求金額 (税抜き金額) ※税率別内訳の集計値		属性	○	○			10	今回請求金額	45	9	11
1.9	11	請求基本控除符号	56	X	1			請求データの 請求基本控除符号 ※税率別内訳の集計値	△/+：正数 --：負数	コード	○	不正コード値 → "△"	○	コード	11	請求基本控除符号	56	X	1
1.9	12	請求基本控除	57	9	11			請求データの 請求基本控除 ※税率別内訳の集計値		属性	○	○			12	請求基本控除	57	9	11
1.9	13	請求品種控除符号	68	X	1			請求データの 請求品種控除符号 ※税率別内訳の集計値	△/+：正数 --：負数	コード	○	不正コード値 → "△"	○	コード	13	請求品種控除符号	68	X	1
1.9	14	請求品種控除	69	9	11			請求データの 請求品種控除 ※税率別内訳の集計値		属性	○	○			14	請求品種控除	69	9	11
1.9	15	請求機能控除符号	80	X	1			請求データの 請求機能控除符号 ※税率別内訳の集計値	△/+：正数 --：負数	コード	○	不正コード値 → "△"	○	コード	15	請求機能控除符号	80	X	1
1.9	16	請求機能控除	81	9	11			請求データの 請求機能控除 ※税率別内訳の集計値		属性	○	○			16	請求機能控除	81	9	11
1.9	17	請求控除その他符号	92	X	1			請求データの 請求控除その他符号 ※税率別内訳の集計値	△/+：正数 --：負数	コード	○	不正コード値 → "△"	○	コード	17	請求控除その他符号	92	X	1
1.9	18	請求控除その他	93	9	11			請求データの 請求控除その他 ※税率別内訳の集計値		属性	○	○			18	請求控除その他	93	9	11
1.9	19	請求消費税符号	104	X	1			請求データの 請求消費税符号 ※税率別内訳の集計値	△/+：正数 --：負数	コード	○	不正コード値 → "△"	○	コード	19	請求消費税符号	104	X	1
1.9	20	請求消費税	105	9	11			請求データの 請求消費税 ※税率別内訳の集計値		属性	○	○			20	請求消費税	105	9	10
1.9	21	請求金額合計符号	116	X	1			請求データの 請求金額合計符号 ※税率別内訳の集計値	△/+：正数 --：負数	コード	○	不正コード値 → "△"	○	コード	21	請求金額合計符号	116	X	1
1.9	22	請求金額合計	117	9	11			請求データの 請求金額合計 ※税率別内訳の集計値		属性	○	○			22	請求金額合計	117	9	11
1.2	23	前回支払残高符号	128	X	1			前回支払残高符号	△/+：正数 --：負数	コード	○	不正コード値 → "△"	○	コード	23	前回支払残高符号	128	X	1
1.2	24	前回支払残高	129	9	11			前回支払残高 (税込み金額)		属性	○	○			24	前回支払残高	129	9	11
1.9	25	今回支払金額符号	140	X	1			今回支払金額符号 ※税率別内訳の集計値	△/+：正数 --：負数	コード	○	不正コード値 → "△"	○	コード	25	今回支払金額符号	140	X	1
1.9	26	今回支払金額	141	9	11			今回支払金額 (税抜き金額) ※税率別内訳の集計値		属性	○	○			26	今回支払金額	141	9	11
1.9	27	支払基本控除符号	152	X	1			支払基本控除符号 ※税率別内訳の集計値	△/+：正数 --：負数	コード	○	不正コード値 → "△"	○	コード	27	支払基本控除符号	152	X	1
1.9	28	支払基本控除	153	9	11			支払基本控除 ※税率別内訳の集計値		属性	○	○			28	支払基本控除	153	9	11
1.9	29	支払品種控除符号	164	X	1			支払品種控除符号 ※税率別内訳の集計値	△/+：正数 --：負数	コード	○	不正コード値 → "△"	○	コード	29	支払品種控除符号	164	X	1
1.9	30	支払品種控除	165	9	11			支払品種控除 ※税率別内訳の集計値		属性	○	○			30	支払品種控除	165	9	11
1.9	31	支払機能控除符号	176	X	1			支払機能控除符号 ※税率別内訳の集計値	△/+：正数 --：負数	コード	○	不正コード値 → "△"	○	コード	31	支払機能控除符号	176	X	1
1.9	32	支払機能控除	177	9	11			支払機能控除 ※税率別内訳の集計値		属性	○	○			32	支払機能控除	177	9	11
1.9	33	支払控除その他符号	188	X	1			支払控除その他符号 ※税率別内訳の集計値	△/+：正数 --：負数	コード	○	不正コード値 → "△"	○	コード	33	支払控除その他符号	188	X	1
1.9	34	支払控除その他	189	9	11			支払控除その他 ※税率別内訳の集計値		属性	○	○			34	支払控除その他	189	9	11
1.9	35	支払消費税符号	200	X	1			支払消費税符号 ※税率別内訳の集計値	△/+：正数 --：負数	コード	○	不正コード値 → "△"	○	コード	35	支払消費税符号	200	X	1
1.9	36	支払消費税	201	9	11			支払消費税 ※税率別内訳の集計値		属性	○	○			36	支払消費税	201	9	10
1.9	37	支払金額合計符号	212	X	1			支払金額合計符号 ※税率別内訳の集計値	△/+：正数 --：負数	コード	○	不正コード値 → "△"	○	コード	37	支払金額合計符号	212	X	1
1.9	38	支払金額合計	213	9	11			支払金額合計 ※税率別内訳の集計値		属性	○	○			38	支払金額合計	213	9	11
1.2	39	振込ID	224	X	20			当面スペース			○	○			39	振込ID	224	X	20

(次頁に続く)

(前頁の続き)

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V2 → V1・V2 センタチェック	V2 ← V2 コンバート	V2 ← V1 コンバート	V1フォーマット						
													比較・変更点	項番	項目	開始	属性	整数	小数
1.9	40	登録番号	244	X	14			"T"+法人番号13桁 ※2021.10以降、税務署申告への申告により取得のうえ設定			○		属性初期値						
1.9		税率別内訳 (200バイト × 3 明細) ※未使用ブロックはALL SPACEを設定する。																	
2.0	41	消費税率	258	9	2	1		消費税の税率(99.9%)、ゼロ:個別判断 (小数点以下1桁)		属性	○		ALL SPACE	◎					
2.0	42	今回請求金額符号	261	X	1			今回請求金額符号	△/+ :正数 - :負数	コード	○			◎					
2.0	43	今回請求金額	262	9	11			今回請求金額 (税抜き金額)		属性	○			◎					
2.0	44	請求基本控除符号	273	X	1			請求基本控除符号	△/+ :正数 - :負数	コード	○			◎					
2.0	45	請求基本控除	274	9	11			請求基本控除		属性	○			◎					
2.0	46	請求品種控除符号	285	X	1			請求品種控除符号	△/+ :正数 - :負数	コード	○			◎					
2.0	47	請求品種控除	286	9	11			請求品種控除		属性	○			◎					
2.0	48	請求機能控除符号	297	X	1			請求機能控除符号	△/+ :正数 - :負数	コード	○			◎					
2.0	49	請求機能控除	298	9	11			請求機能控除		属性	○			◎					
2.0	50	請求控除その他符号	309	X	1			請求控除その他符号	△/+ :正数 - :負数	コード	○			◎					
2.0	51	請求控除その他	310	9	11			請求控除その他		属性	○			◎					
2.0	52	請求消費税符号	321	X	1			請求消費税符号	△/+ :正数 - :負数	コード	○			◎					
2.0	53	請求消費税	322	9	11			請求消費税 (43 - 45 - 47 - 49 - 51) × 41 ※制度により変更の可能性あり		属性	○			◎					
2.0	54	税込請求金額符号	333	X	1			税込請求金額符号	△/+ :正数 - :負数	コード	○			◎					
2.0	55	税込請求金額	334	9	11			税込請求金額 (43 - 45 - 47 - 49 - 51 + 53) ※制度により変更の可能性あり		属性	○			◎					
2.0	56	今回支払金額符号	345	X	1			今回支払金額符号	△/+ :正数 - :負数	コード	○			◎					
2.0	57	今回支払金額	346	9	11			今回支払金額 (税抜き金額)		属性	○			◎					
2.0	58	支払基本控除符号	357	X	1			支払基本控除符号	△/+ :正数 - :負数	コード	○			◎					
2.0	59	支払基本控除	358	9	11			支払基本控除		属性	○			◎					
2.0	60	支払品種控除符号	369	X	1			支払品種控除符号	△/+ :正数 - :負数	コード	○			◎					
2.0	61	支払品種控除	370	9	11			支払品種控除		属性	○			◎					
2.0	62	支払機能控除符号	381	X	1			支払機能控除符号	△/+ :正数 - :負数	コード	○			◎					
2.0	63	支払機能控除	382	9	11			支払機能控除		属性	○			◎					
2.0	64	支払控除その他符号	393	X	1			支払控除その他符号	△/+ :正数 - :負数	コード	○			◎					
2.0	65	支払控除その他	394	9	11			支払控除その他		属性	○			◎					
2.0	66	支払消費税符号	405	X	1			支払消費税符号	△/+ :正数 - :負数	コード	○			◎					
2.0	67	支払消費税	406	9	11			支払消費税 (57 - 59 - 61 - 63 - 65) × 41 ※制度により変更の可能性あり		属性	○			◎					
2.0	68	税込支払金額符号	417	X	1			税込支払金額符号	△/+ :正数 - :負数	コード	○			◎					
2.0	69	税込支払金額	418	9	11			税込支払金額 (57 - 59 - 61 - 63 - 65 + 67) ※制度により変更の可能性あり		属性	○			◎					
2.0	70	予備	429	X	29			レイアウト拡張用の予備領域 (利用禁止)			○			◎					
1.9	71	予備	858	X	323			レイアウト拡張用の予備領域 (利用禁止)			○		属性初期値						
	72	連携エリア	1181	X	20			旧フォーマット予備連携データ (新フォーマット間：相対利用可能エリア)			○		○	◎	23	前回支払残高符号	127	X	1

◎ : システムチェック有り
○ : 業務必須

※【トレーラレコード連携時の留意事項】
 ・データ受信企業は、異なるフォーマット (例：卸様V2・EDI⇔メーカー様V1・EDI) でデータ連携する場合、「レコード件数」項目と実際のレコード件数で不一致が発生し、自社システムへ取り込めない場合があります。
 ・データ受信企業は、トレーラレコードの「レコード件数」項目と実際のレコード件数 (物理レコード件数) の整合性チェックを行っている場合は、整合性チェックを除外して下さい。また、データの整合性チェックが必要な場合は、「レコード件数」項目ではなく「伝票枚数」項目をご利用下さい。

スペース混在 全スペース 数値以外混在(サイン付)
 属性 : 軽症エラー 軽症エラー 軽症エラー ※V1レイアウト時
 重症エラー 重症エラー 重症エラー ※V2レイアウト時
 属性(サ) : 軽症エラー 軽症エラー 重症エラー
 属性(ス) : 重症エラー 正常 重症エラー
 属性(サス) : 正常 正常 重症エラー

(8) V2・43 販売報告

① コントロールレコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V2 → V1・V2 センタチェック	V2 ← V2 コンバート	V2 ← V1 コンバート	V1フォーマット					
													比較・変更点	項番	項目	開始	属性	整数
	1	データ種別	1	9	2		◎	43：販売報告データ	43	コード	○	"43"固定	○	コード				
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(メーカ)の統一取引先コード		センター登録	○	○		2	送信先コード	3	9	8
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(卸)の統一取引先コード		センター登録	○	○		3	送信元コード	11	9	8
	4	レコード区分	19	9	1		◎	1：コントロールレコード	1	コード	○	○		4	レコード区分	19	9	1
	5	データ作成日	20	9	8		◎	データ作成日付 (西暦 YYYYMMDD)		必須+日付	○	○		5	データ作成日	20	9	8
	6	データ作成時刻	28	9	6			データ作成時刻 (HHMMSS)		時刻	○	属性初期値	◎					
	7	送信先名	34	X	20		○	送信先(メーカ)名 (英数カナのみ)			○	○		6	送信先名	28	X	20
	8	送信元名	54	X	20		◎	送信元(卸)名 (英数カナのみ)		必須	○	○		7	送信元名	48	X	20
	9	直接送信先コード	74	9	8			送信先コードと異なる場合にセット (通常はゼロ)		センター登録	○	○		8	直接送信先コード	68	9	8
	10	直接送信先カナ名	82	X	20			直接送信先名 (英数カナのみ、通常はスペース)			○	○		9	直接送信先カナ名	76	X	20
	11	送信ファイルNO	102	9	2			同時送信時の問合せNo. (00~99)		属性	○	属性初期値	◎					
	12	予備	104	X	1077			レイアウト拡張用の予備領域 (利用禁止)			○	属性初期値						
	13	連携エリア	1181	X	20			新フォーマット間：相対利用可能エリア			○	属性初期値	◎					

② ヘッダー/明細レコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V2 → V1・V2 センタチェック	V2 ← V2 コンバート	V2 ← V1 コンバート	V1フォーマット							
													比較・変更点	項番	項目	開始	属性	整数	小数	
	1	データ種別	1	9	2		◎	43：販売報告データ	43	共通部チェック	○	"43"固定	○	コード						
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(メーカ)の統一取引先コード		(コントロール同値、軽症エラー)	○	○		2	送信先コード	3	9	8		
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(卸)の統一取引先コード			○	○		3	送信元コード	11	9	8		
	4	レコード区分	19	9	1		◎	3：ヘッダー/明細レコード	3		○	"3"固定	○	コード						
	5	漢字コード区分	20	X	1			センターにて漢字コード区分をセットする	1:S-JIS 3:JEF		センター設定	センター設定	◎							
	6	対象期日(自)	21	9	8		◎	販売実績の該当年月日(開始日) (西暦 YYYYMMDD)		必須+日付	○	○		5	対象期日(自)	20	9	8		
	7	対象期日(至)	29	9	8		○	販売実績の該当年月日(終了日) (西暦 YYYYMMDD)		日付	○	○		6	対象期日(至)	28	9	8		
	8	取引コード	37	9	2		○	業界統一取引コード	11:店入売上 41:直送返品 12:店入売上訂正 42:直送返品訂正 21:店入返品 51:割戻し金 22:店入返品訂正 52:相殺 31:直送売上 32:直送売上訂正	コード	○	○		7	取引コード	36	9	2		
	9	一次店コード	39	X	13		○	統一取引先コード(8桁) (後方スペース埋め)			○	○	○	属性+桁数	8	一次店コード	38	9	8	
	10	二次店コード	52	X	13			統一取引先コード(8桁)/プライベート・コード(3~8桁)/GLN(13桁) (後方スペース埋め)			○	○	○	属性+桁数	9	二次店コード	46	9	8	
	11	三次店コード	65	X	13			統一取引先コード(8桁)/プライベート・コード(3~8桁)/GLN(13桁) (後方スペース埋め)			○	属性初期値	◎							
	12	届け先コード	78	X	13		○	統一取引先コード(8桁)/プライベート・コード(3~8桁)/GLN(13桁) (後方スペース埋め)			○	○	○	属性+桁数	10	届け先コード	54	9	8	
	13	チェーン店コード	91	X	13			統一取引先コード(8桁)/プライベート・コード(3~8桁)/GLN(13桁) (後方スペース埋め)			○	属性初期値	◎							
	14	一次店名	104	X/N	40			一次店名 (英数カナは30文字、漢字は20文字)			○	○	○	属性+桁数	11	一次店カナ名	62	X	30	
	15	二次店名	144	X/N	40			二次店名 (英数カナは30文字、漢字は20文字)			○	○	○	属性+桁数	12	二次店カナ名	92	X	30	
	16	三次店名	184	X/N	40			三次店名 (英数カナは30文字、漢字は20文字)			○	属性初期値	◎							
	17	届け先名	224	X/N	40			届け先名 (英数カナは30文字、漢字は20文字)			○	○	○	属性+桁数	13	届け先カナ名	122	X	30	
	18	チェーン店名	264	X/N	40			チェーン店名 (英数カナは30文字、漢字は20文字)			○	属性初期値	◎							
	19	消費税区分	304	X	1			税区分	1:外税 3:非課税 2:内税 △:個別判断	コード	○	"1"."2"."△"以外 → "△"	○	名称+コード	14	税区分	152	X	1	
	20	消費税率	305	9	2	1		消費税の税率(99.9%)、ゼロ:個別判断 (小数点以下1桁)		属性	○	税区分が "1"."2"."△"以外 → 属性初期化	○	名称	15	税率	153	9	2	1
	21	取引先区分(一次店)	308	X	1			該当項目の取引先の属性区分	△:統一取引先(8桁)	コード	○	属性初期値	◎							
1.3	22	取引先区分(二次店)	309	X	1			"	△:統一取引先(8桁) 6:GLN(13桁) 7/8:プライベートコード(卸/メーカ)	コード	○	属性初期値	◎							
	23	取引先区分(三次店)	310	X	1			"	"	コード	○	属性初期値	◎							
1.3	24	取引先区分(届け先)	311	X	1			"	"	コード	○	属性初期値	◎							
	25	取引先区分(チェーン店)	312	X	1			"	"	コード	○	属性初期値	◎							
	26	日本語区分(一次店)	313	X	1			該当項目の日本語区分	△/0:英数カナ 1:漢字(S-JIS/JIS/JEF/IBM)	コード	○	属性初期値	◎							
	27	日本語区分(二次店)	314	X	1			"	"	コード	○	属性初期値	◎							
	28	日本語区分(三次店)	315	X	1			"	"	コード	○	属性初期値	◎							
	29	日本語区分(届け先)	316	X	1			"	"	コード	○	属性初期値	◎							
	30	日本語区分(チェーン店)	317	X	1			"	"	コード	○	属性初期値	◎							
1.1	31	一次店カナ名	318	X	30			一次店カナ名 (一次店名に漢字を設定する場合、必須)			○	属性初期値	◎							
1.1	32	二次店カナ名	348	X	30			二次店カナ名 (二次店名に漢字を設定する場合、必須)			○	属性初期値	◎							
1.1	33	届け先カナ名	378	X	30			届け先カナ名 (届け先名に漢字を設定する場合、必須)			○	属性初期値	◎							
1.1	34	ヘッダー予備	408	X	23			レイアウト拡張用の予備領域 (利用禁止)			○	属性初期値								
	35	ヘッダー連携エリア	431	X	20			旧フォーマット予備連携データ (新フォーマット間：相対利用可能エリア)			○	○	◎	16	予備	156	X	101		

(次頁に続く)

(前頁の続き)

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V2 → V1・V2 センタチェック	V2 ← V2 コンバート	V2 ← V1 コンバート	V1フォーマット							
													比較・変更点	項番	項目	開始	属性	整数	小数	
		明細部繰返 (150バイト × 5明細)						※明細レコードがショートブロック (レコード中5商品未満) の場合、ALL SPACEを設定する。												
2.0	36	明細行NO	451	9	3		◎	明細行NO (001~999)		必須+属性	○	属性初期値	◎							
	37	商品コード識別区分	454	9	1		○	品番(商品コード)の識別区分	0:統一商品コード 1:ITFコード(14桁) 2:ITFコード(16桁)【利用停止化】 3:JANコード (標準:13桁) 4:JANコード (短縮:8桁) 6:GTINコード (14桁)	コード(新)	○	○	○ 属性+コード 2:利用停止	5	商品コード識別区分	20	X		1	
	38	品番	455	X	16		○	統一商品コード、ITFコード、JANコード、GTINコード (左詰め)			○	○	○ ITF(16) 利用停止	6	品番	21	X		16	
	39	商品名	471	X/N	40			商品名 (英数カナは25文字、漢字は20文字)			○	属性初期値	◎							
	40	バラ総数符号	511	X	1		○	数量の符号	△/+ :正数 - :負数	コード	○	○	○ コード	7	バラ総数符号	37	X		1	
	41	バラ総数	512	9	9		○	届け先への販売数量計		属性	○	○	○	8	バラ総数	38	9		9	
	42	ケース(ボール)当り入数	521	9	4			ケース(ボール)当りのバラ個数 (総バラ換算の場合はゼロ)		属性	○	属性初期値	◎							
	43	ケース(ボール)数	525	9	7			ケース(ボール)数の値 (総バラ換算の場合はゼロ)		属性	○	属性初期値	◎							
	44	販売単価区分	532	X	1			販売単価の区分	1:ケース単価 △/3:バラ単価 2:ボール単価	コード	○	属性初期値	◎							
	45	単価	533	9	7	2	○	届け先への販売単価 (ケース/ボール/バラ)		属性	○	○	○ 桁数	9	単価	47	9		6	2
	46	金額符号	542	X	1		○	金額の符号	△/+ :正数 - :負数	コード	○	○	○ コード	10	金額符号	55	X		1	
	47	金額	543	9	10		○	届け先への販売金額		属性	○	○	○	11	金額	56	9		10	
	48	特売区分	553	X	1			定番納品/特売納品を指定	△/0:分類不能 2:特売納品 1:定番納品	コード	○	属性初期値	◎							
	49	納品日	554	9	8			実際の納品日 (西暦 YYYYMMDD)		日付	○	属性初期値	◎							
	50	倉出・合計区分	562	X	1			実績が倉出しを含むか、直送のみかを指定	△:無指定 1:倉出のみ 0:倉出+直送	コード	○	属性初期値	◎							
	51	日本語区分(商品名)	563	X	1			該当項目の日本語区分	△/0:英数カナ 1:漢字(S-JIS/JIS/JEF/IBM)	コード	○	属性初期値	◎							
	52	菓子業界商品分類コード	564	X	6			菓子業界の新品分類コード (JICFSの機能分類コードとして登録)			○	属性初期値	◎							
1.1	53	商品名カナ	570	X	25			商品名カナ (商品名に漢字を設定する場合、必須)			○	属性初期値	◎							
1.1	54	明細予備	595	X	6			レイアウト拡張用の予備領域 (利用禁止)			○	属性初期値	◎							

③ トレーラレコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	コード	V2 → V1・V2 センタチェック	V2 ← V2 コンバート	V2 ← V1 コンバート	V1フォーマット						
													比較・変更点	項番	項目	開始	属性	整数	小数
	1	データ種別	1	9	2		◎	43:販売報告データ	43	共通部チェック	○	"43"固定	○ コード						
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(メーカー)の統一取引先コード		(コントロール同値、 軽症エラー)	○	○	○	2	送信先コード	3	9		8
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(卸)の統一取引先コード			○	○	○	3	送信元コード	11	9		8
	4	レコード区分	19	9	1		◎	9:トレーラレコード	9		○	○	○	4	レコード区分	19	9		1
1.7	5	レコード件数	20	9	6		○	レコードの総件数 ・データ送信側では、自身のフォーマットのレコード件数を設定する。 ・データ受信側では、当項目と実際のレコード件数の整合性チェックには利用しない。※下記【トレーラレコード連携時の留意事項】を参照のこと		属性	センター集計値	センター集計値		5	レコード件数	20	9		6
1.5	6	明細件数	26	9	6			商品明細数(有効明細数)		属性	センター集計値	センター集計値		6	明細件数	26	9		6
	7	合計金額符号	32	X	1			合計金額の符号	△/+ :正数 - :負数	コード	センター設定	センター設定	○ コード	7	合計金額符号	32	X		1
	8	合計金額	33	9	10			卸店入金額の全明細行の金額合計		属性	センター集計値	センター集計値		8	合計金額	33	9		10
	9	予備	43	X	1138			レイアウト拡張用の予備領域 (利用禁止)			○	属性初期値							
	10	連携エリア	1181	X	20			新フォーマット間:相対利用可能エリア			○	属性初期値	◎						

◎:システムチェック有り
○:業務必須

※【トレーラレコード連携時の留意事項】
・データ受信企業は、異なるフォーマット(例:卸様V2・EDI⇔メーカー様V1・EDI)でデータ連携する場合、「レコード件数」項目と実際のレコード件数で不一致が発生し、自社システムへ取り込めない場合があります。
・データ受信企業は、トレーラレコードの「レコード件数」項目と実際のレコード件数(物理レコード件数)の整合性チェックを行っている場合は、整合性チェックを除外して下さい。また、データの整合性チェックが必要な場合は、「レコード件数」項目ではなく「伝票枚数」項目をご利用下さい。

スペース混在 全スペース 数値以外混在(サイン付)
属性 : 軽症エラー 軽症エラー 軽症エラー ※V1レイアウト時
重症エラー 重症エラー 重症エラー ※V2レイアウト時
時
属性(サ) : 軽症エラー 軽症エラー 重症エラー
属性(入) : 重症エラー 正常 重症エラー